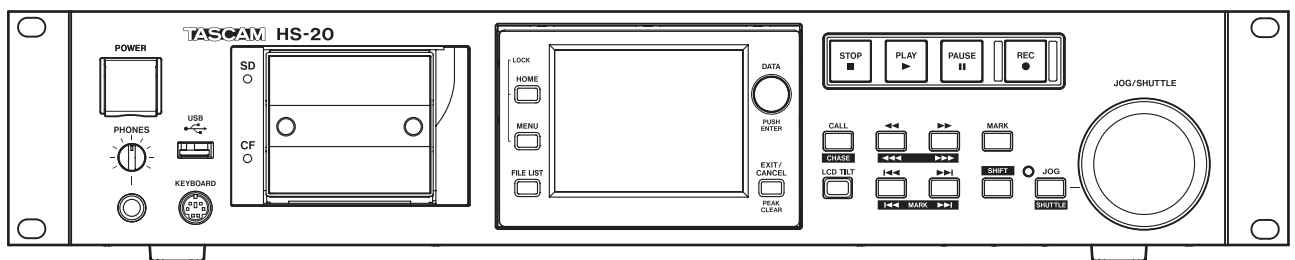
TASCAM

D01235601A

HS-20

2 Channel Audio Recorder

取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年１回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

分解禁止

この機器のカバーは絶対に外さない
カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しない
火災・感電の原因となります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す
コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてケガの原因になることがあります

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。

指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
また、接続は指定のコードを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、付属の電源コードを使用する
それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない
火災・感電やケガの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

注意

5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については、ご相談ください。

目次

安全にお使いいただくために.......2

第1章　はじめに.......7

本機の概要.......7
本製品の構成.......7
本書の表記.......7
商標および著作権に関して.......8
設置上の注意.......8
結露について.......8
製品のお手入れ.......8
ディスプレーのお手入れ.......8
USBメモリー／ SDカード／ CFカードについて.......9
取り扱い上の注意.......9
動作確認メディアについて.......9
SDカードのライトプロテクトについて.......9
FORMATについて.......9
アフターサービス.......9

第2章　各部の名称と働き.......10

フロントパネル.......10
リアパネル.......12
PARALLEL端子について.......13
RS-232C端子について.......13
RS-422端子(オプションSY-2ボードに付属)について.......13
ホーム画面.......14
タイムラインモード時.......14
テイクモード / プレイリストモード時.......18
フラッシュスタート画面.......19

第3章　準備.......20

SDカード / CFカードを挿入する / 取り出す.......20
SDカード / CFカードを挿入する.......20
SDカード / CFカードを取り出す.......20
セキュリティービスについて.......20
SDカードのプロテクトスイッチについて.......21
ディスプレーについて.......21
ディスプレーの角度を調節する.......21
ディスプレーとインジケーターの輝度調節.......21
ディスプレーについての注意.......21
電源のオン / オフ.......22
内蔵時計の時刻を設定する.......22
ロック機能.......23
録音時間について.......24

第4章　基本操作.......25

SDカード / CFカードの準備をする.......25
カードの選択.......25
SDカード / CFカードのフォーマット.......26
マスタークロックを設定する.......27
入出力を設定する.......27
入力の設定.......27
基準レベルの設定.......28
ヘッドホンの接続.......28
録音動作での制約事項.......28

第5章　FILE LIST.......29

フォルダー構成について.......29
フォルダー構成.......29
ファイル名.......29
ファイルフォーマットについて.......29
FILE LIST画面について.......29
ルート内のフォルダー選択画面.......29
フォルダー選択画面.......30
AES31ファイル選択画面.......30
テイク選択画面.......31
プレイリスト選択画面.......31
ルート内のフォルダー名を編集する.......32
ルート内のフォルダーをロードする.......32
ルート内のフォルダーを再構築する.......33
ルート内のフォルダーを削除する.......33
フォルダーの操作.......34
新規フォルダーを作成する.......34
フォルダーをロードする.......34
フォルダーを再構築する.......35
フォルダーをエクスポートする.......35
フォルダーを削除する.......36
FILE LIST 画面の遷移.......36

第6章　オペレーションモード.......37

タイムラインモードでの機能.......37
テイクモードでの機能.......37
プレイリストモードでの機能.......37
オペレーションモードを選択する.......37

第7章　タイムラインモード.......38

録音の準備をする.......38
基本的な準備.......38
新規フォルダーの作成.......38
録音モードの設定.......38
ファイルフォーマットの設定.......38
その他の録音設定.......39
録音する.......39
録音開始位置へのロケート.......39
録音.......39
録音の停止.......39
再生する.......40
フォルダーの選択.......40
インプットモニターの設定.......40
再生開始位置へのロケート.......40
再生.......40
コール.......40
AES31編集情報の読み出し / 保存 / 作成.......41
AES31編集情報をロードする.......41
AES31編集情報をセーブする.......41
AES31編集情報を名前を付けて保存する.......42
新規AES31編集情報を作成する.......42
全テイクをインポートする.......43
AES31ファイル名を編集する.......44
AES31ファイルを削除する.......44
タイムラインの編集.......45
コピー / カット / 消去の範囲を選択する.......45
編集開始点を指定する.......45
編集終了点を指定する.......46
編集開始点 / 終了点を破棄する.......46
編集するリージョン全体を選択する.......46
選択範囲のデータをコピーする (Copy).......47
選択範囲のデータをカットする (Cut).......47

選択範囲のデータを消去する (Erase)....48
指定位置でデータを分割する (Divide)....48
指定位置にコピーバッファのデータを挿入する (Insert)....49
指定位置に指定ファイルのデータを挿入する (Insert File)....49
指定範囲に無音データを挿入する (Insert Mute)....50
指定位置にコピーバッファのデータを貼り付ける (Paste)....51
指定位置に指定ファイルのデータを貼り付ける (Paste File)....51
指定リージョンにフェードイン / アウトを設定する (Fade IN / Fade Out)....52
指定フェードを削除する (Remove Fade IN / Remove Fade Out)....53
指定リージョンに再生レベルを設定する (Level)....53
直前の編集を取り消す (UNDO)....54
取り消した編集をやり直す (REDO)....54
バウンス....55

第8章　テイクモード....56

録音の準備をする....56
基本的な準備....56
新規フォルダーの作成....56
録音モードの設定....56
ファイルフォーマットの設定....56
その他の録音設定....56
録音する....57
録音....57
録音の停止....57
再生する....57
フォルダー / テイクの選択....57
インプットモニターの設定....58
再生....58
コール....58
フラッシュスタート機能を使う....58
テイクの操作....59
テイクのスタートタイムを編集する....59
テイクをエクスポートする....60
テイクをFTPサーバーにアップロードする....60
テイクを削除する....61
テイクをソートする....61
テイクを移動する....62
テイク名を編集する....62
テイクを分割する(Divide)....63
テイクを結合する(Combine)....64
直前のテイクの編集を取り消す(UNDO)....65
取り消したテイクの編集をやり直す(REDO)....65

第9章　プレイリストモード....66

プレイリストの操作....66
フォルダーのロード....66
新規プレイリストを作成する....67
後からプレイリスト名を編集する....67
プレイリストをロードする....68
プレイリストを削除する....68
プレイリストの編集 (エントリーの登録、解除、編集)....69
エントリーリスト画面....69
ファイルアサイン画面....70
テイクをエントリーに登録する....71
エントリー番号一覧....71
エントリーへの登録を解除する....72
エントリーのタイトルを編集する....72
再生開始 / 終了位置の編集....73
数字ボタン / マークリスト画面を使って再生開始/終了位置を編集する....73
再生開始時刻を編集する....74
フェードイン / アウト長、レベルの編集....75
リハーサル再生操作 / 動作....75
プレイリストを保存する....76
プレイリストに名前をつけて保存する....76
再生する....77
プレイリストの選択....77
再生....77
コール....77
フラッシュスタート機能を使う....77

第10章　内部設定詳細....78

メニュー画面....78
録音設定 (REC SETUP)....78
REC MODEタブ画面....78
REC MODE....78
FILE FORMATタブ画面....81
OPTIONSタブ画面....81
再生設定 (PLAY SETUP)....82
GENERALタブ画面....82
CONTROLタブ画面....82
シンク、タイムコード設定 (SYNC T/C)....83
CLOCKタブ画面....83
SYNCタブ画面....84
T/Cタブ画面....84
SETUPタブ画面....85
I/Oタブ画面....85
リモート設定 (REMOTE SETUP)....86
GENERALタブ画面....86
PARALLELタブ画面....86
RS-232Cタブ画面....87
RS-422タブ画面....87
NETWORK タブ画面....88
FTPタブ画面....89
ネットワーク機能(FTPサーバー / telnet / VNC)....89
音声信号の入出力設定 (AUDIO I/O)....92
INPUTタブ画面....92
OUTPUTタブ画面....92
レベルメーター設定 (METER SETUP)....92
システム設定 (SYSTEM SETUP)....93
PREFERENCESタブ画面....93
ANALOG Ref LVL ADJUSTタブ画面....93
システム設定のバックアップ機能およびプリセット機能....93
CLOCK ADJUSTタブ画面....94
DAYLIGNT SAVING TIME SETUP画面....94
SNTP SETUP設定画面....94
バージョン表示 (VERSION INFO)....96
フォルダー / ファイルの表示 / 操作 (BROWSE)....96
フォルダー / ファイルを表示する....96
フォルダー / ファイルの情報を表示する....97
フォルダー / ファイルをコピーする....98
フォルダー / ファイルを削除する....99
メディアの管理 (MEDIA MANAGE)....101

TIMER EVENT LIST 画面 102
TIMER EVENT SETUP 画面 103
再生対象ファイル選択画面 105
動作モード選択 (OPERATION MODE) 107

第11章　マーク機能とロケート機能 108

マーク機能 108
マークポイントを付ける 108
キー操作によるマークポイントへのロケート 108
マークポイントリスト画面 108
マークポイントにロケートする 109
マークポイントの情報を見る 109
マークポイントを削除する 109
マークポイントの位置を編集する 110
マークポイントの名前を編集する 110
マニュアルロケート機能 111

第12章　その他の機能 112

フラッシュスタート機能 112
コンピューターキーボードを使った操作 112
キーボードタイプの設定 112
キーボードを使って名前を入力する 112
キーボード操作一覧 113

第13章　タイムコード同期運転 114

タイムコード同期再生について 114
タイムラインモード 114
テイクモード 114
プレイリストモード 114
基本的な操作手順 114
タイムコードオフセット 114
リチェイス 114
タイムコード同期録音について 114
タイムラインモード 114
テイクモード 114
プレイリストモード 114

第14章　外部機器で録音したファイルを取り込む 115

取り込み前の準備 115
取り込んだファイルを本機で扱う 115

第15章　トラブルシューティング 116

第16章　メッセージ 117

第17章　仕様 127

定格 127
入出力定格 127
アナログオーディオ入出力定格 127
デジタルオーディオ入出力定格 128
コントロール入出力定格 128
オーディオ性能 129
一般 129
寸法図 129
ブロックダイヤグラム 130

第 1 章　はじめに

このたびは、TASCAM 2 Channel Audio Recorder HS-20をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（**http : //tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- 記録メディアにSDカードとCFカード(UltraDMA対応)を採用
- デュアルスロットを搭載し、2枚のカードでのミラー録音が可能
- 192kHz、24ビットまでの2トラック 同時録音
- タイムラインモード、テイクモードおよびプレイリストモードの三つの動作モード
- タイムラインモードでは、テープレコーダーのような時間軸ベースの録音再生が可能
- テイクモードでは、テイク単位での再生とフラッシュスタートが可能
- プレイリストモードでは、テイクをリストに登録し、リスト順の再生やフラッシュスタートが可能
- ファイルフォーマット: BWF (Broadcast Wave Format)
WAV (Waveform Audio Format)
- 別売のリモートコントローラー (TASCAM RC-HS20PD、RC-SS20)によるフラッシュスタートが可能
- 別売のリモートコントローラーの他にPARALLELコントロール、キーボードによるフラッシュスタートが可能
- オートキュー、オートレディ、インクリメンタルプレイ機能搭載
- タイムラインモードでのAES31編集情報の取り込み / 書き出しに対応
- プレイリストモードでのプレイリスト機能搭載 (JPPAポン出しプレイリストファイルの取り込み / 書き出しに対応)
- JOG/SHUTTLE 機能搭載
- グラフィカルなデザインのTFTカラータッチパネル採用により、直感的な操作が可能
- XLRアナログバランス入出力
- RCAアナログアンバランス入出力
- XLR AES / EBUデジタル入出力
- COAXIAL S / PDIFデジタル入出力
- ヘッドホン出力
- オプションSY-2を用いたBNCタイムコード入出力
- BNCビデオリファレンス (NTSC/PALブラックバースト信号、またはHDTV Tri-level信号)、またはワードクロック入力および出力/スルー出力
- USBメモリーを接続して、ファイルのコピーが可能
- LAN (Gigabit Ethernet)機能を搭載し、ネットワーク経由でファイル転送、リモートコントロールが可能
- パラレルリモートコントロールに対応
- RS-232C シリアルリモートコントロールに対応
- オプションSY-2を用いたRS-422 (9ピンシリアルプロトコル準拠)シリアルリモートコントロールに対応
- ラックマウント可能(2U)
- TASCAM HS Editorに対応
- NTPサーバーを用いた、時刻合わせが可能なSNTP機能
- 録音したファイルをネットワーク経由で、指定サーバーへ自動で転送が可能
- タイマーイベントリストによる、テイクモードでの自動再生、自動録音、ファイル転送が可能
- SDカード/CFカードを挿入すると、録音/再生に必用なフォルダーを自動で作成

本製品の構成

本機の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。
梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- 電源コード　x1
- ラックマウントビスキット　x1
- セキュリティービス　x3
- 取扱説明書(本書、巻末に保証書付き)　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー / 端子などを「**MENU**キー 」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を **“ON”** のように **“__”** で括って表記します。
- ホーム画面の下側にある各ボタンを押して、ホーム表示される画面を **【NEXT TAKE NAME】** 画面のように **【__】** で括って表記します。
- 「コンパクトフラッシュカード」のことを「CFカード」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メ モ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注 意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- CompactFlash(コンパクトフラッシュ)は、米国およびその他の国におけるサンディスク社の商標または登録商標です。
- SDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは、各社の商標または登録商標です。

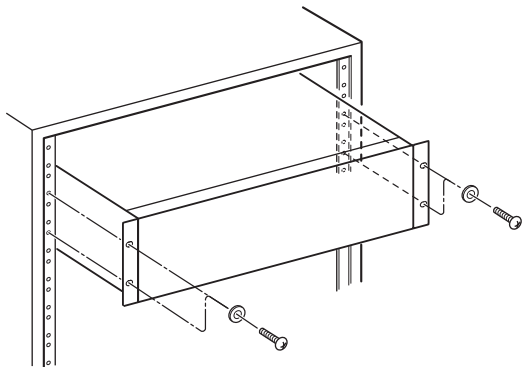
ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。

  なお、ラック内部では、本機の上に1U以上（5cm以上）のスペースを開けてください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。
表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

ディスプレーのお手入れ

ディスプレーは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布（クリーニングクロスなど）で軽く拭きます。
硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷がつきますので注意してください。また、ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。

USBメモリー／ SDカード／ CFカードについて

本機では、SDカード / CFカードを使って再生 / 録音を行います。

また、USBメモリーを使って、SDカード / CFカード内のデータをバックアップしたり、SDカード / CFカードへファイルを保存したりします。

TASCAMのウェブサイト(**http://tascam.jp/**)には、当社で動作確認済みのUSBメモリー / SDカード / CFカードのリストが掲載されています。

取り扱い上の注意

USBメモリー / SDカード / CFカードは、精密にできています。メモリーおよびカードの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高い、あるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などUSBメモリー / SDカード / CFカードにアクセス中に抜き差しはしないこと。
- 持ち運ぶ際、端子むき出しのままにせず、カバーを被せて運ぶこと。

動作確認メディアについて

本機は、SDカード / CFカードを使って再生 / 録音を行ったり、USBメモリーを使ってSDカード / CFカード内のデータをバックアップしたり、SDカード / CFカードへファイルを保存したりします。

CFカードについてはTASCAM純正のCFカードをご使用になることをお勧めいたしますが、一般に市販されているCFカードを使用することができます。

マイクロドライブは、使うことができません。

なお、古いSDカード / CFカードや一部のSDカード / CFカードのなかには、動作スピードの遅いメモリー部品を使っていたり、内部バッファー容量の小さいものがあります。こうしたSDカード / CFカードを使うと、本機の録音性能に影響を及ぼす可能性があります。

また、古いUSBメモリーのなかには、動作スピードの遅いメモリー部品を使っていたり、内部バッファー容量の小さいものがあります。こうしたUSBメモリーを使うと、データの読み出し / 書き込みに時間が掛かる場合があります。

TASCAMのウェブサイトには、当社で動作確認済みのUSBメモリー / SDカード / CFカードのリストが掲載されていますのでご参照ください。または、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。(**http://tascam.jp/**)

SDカードのライトプロテクトについて

本機は動作上のパフォーマンスを向上のために、トラック情報をメディアに書込みます。ライトプロテクトをされたSDカードにはトラック情報の書込みが出来ないため、メディアの読込み時間が長くなるなどの影響が出ます。

FORMATについて

必ず本機にてフォーマットを行ってください。本機でフォーマットされたメディアは性能向上のために最適化されています。

他の機器、パソコンなどでフォーマットしたメディアを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。

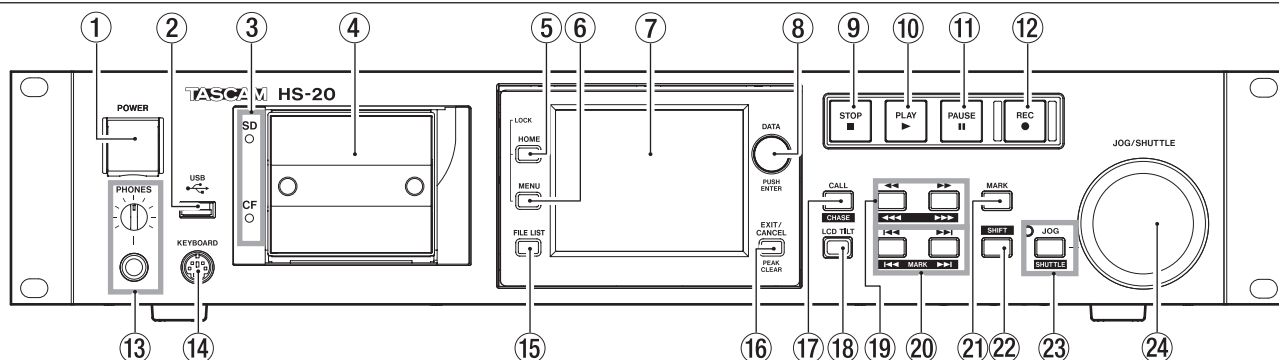
アフターサービス

- この製品には、保証書が添付(巻末に記載)しておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、巻末の保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。

  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。

  本機を使ったUSBメモリー / SDカード / CFカードなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

  - 型名、型番（HS-20）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル

① POWER スイッチ
電源をオン / オフします。
スイッチ表面には、誤操作防止の為のカバーが付いています。
カバーを下から開き、スイッチを操作してください。

② USB端子
USBメモリーなどを接続し、SDカード / CFカード内のデータをバックアップしたり、SDカード / CFカード内へファイルを保存したりします。
また、USBキーボードを接続し、フォルダー名などの入力に使用します。
初期設定は、日本語用キーボードに設定されています。
USキーボードは、日本語用キーボードと配列が異なるため、USキーボードを使う場合には、**"SYSTEM SETUP"** 画面の **"PREFERENCES"** タブ画面で設定を変更してください。
(→ 93 ページ「PREFERENCESタブ画面」)

メモ

USBメモリーを使ってファイルコピー操作を行っているときは、USBメモリーを抜かないでください。
それ以外のときは、いつでもUSBメモリーを抜き差しできます。
キーボードのUSB接続は、いつでも抜き差しできます。
USBハブおよび USBハブ機能を持つデバイスには、対応していません。

③ SDカード / CFカード インジケーター
現在選択されているカードスロットのインジケーターが点灯します。
録音中、コピー中、FTPダウンロード/アップロード中は、早く点滅します。
カレントスロットにカードが挿入されていないときは、遅く点滅します。

注 意

SDおよび**CF**のインジケーターが早く点滅しているときは、対応するカードを抜かないでください。

④ SDカード / CFカードスロット
SDカード / CFカードを挿入 / 取り出します。(→ 20 ページ「SDカード / CFカードを挿入する / 取り出す」)

⑤ HOMEキー
ホーム画面を表示します。**HOME**キーを押しながら**MENU**キーを押すと、**"LOCK SETUP"** 画面を表示します。(→ 23 ページ「ロック機能」)
このキーを押しながら**DATA**ダイヤルを回すと、カラーディスプレー、**PAUSE**キー、**REC**キー、**PLAY**キー、**ON LINE**キー、**JOG[SHUTTLE]**インジケーター、**SD**および**CF**インジケーターの輝度が調節できます。
このキーを押しながら**DATA**ダイヤルを押し回しすると、カラーディスプレーのみの輝度が調節できます。

⑥ MENUキー
"MENU" 画面を表示します。
HOMEキーを押しながら**MENU**キーを押すと、**"LOCK SETUP"** 画面を表示します。(→ 23 ページ「ロック機能」)

⑦ カラーディスプレー
解像度320x240ドットのタッチセンサー付き3.5インチTFTカラーディスプレーです。
各種情報を表示したり各種操作をします。

⑧ DATAダイヤル
回すと**DATA**ダイヤルとして働き、押すと**ENTER**キーとして機能します。パラメーターの値を設定するときに、押しながら回すと大まかな設定ができます。(COARSEモード)
テイクモードのホーム画面表示中、フラッシュページ操作ノブ / **"NEXT TAKE NAME"** 画面の数字部を選択していない状態で回すと、テイクの選択を行ないます。
ポップアップウィンドウ表示中は、**"OK"** または **"CLOSE"** ボタンと同じ動作をします。
HOMEキーを押しながらこのダイヤルを回すと、カラーディスプレー、**PAUSE**キー、**REC**キー、**PLAY**キー、**ON LINE**キー、**JOG [SHUTTLE]**インジケーター、**SD**および**CF**インジケーターの輝度が調節できます。
HOMEキーを押しながらこのダイヤルを押し回しするとカラーディスプレーのみの輝度が調節できます。

⑨ STOP キー
録音や再生を停止します。

⑩ PLAYキー / インジケーター
停止または再生待機中にこのキーを押すと再生を開始し、キーが点灯します。
録音待機中にこのキーを押すと、録音を開始し、キーが**REC**キーと共に点灯します。
タイムラインモードでは、**REC**キーを押しながらこのキーを押すとその時点から録音を開始し、キーが**REC**キーと共に点灯します。

⑪ PAUSEキー / インジケーター
再生中または停止中にこのキーを押すと、再生待機状態になり、キーが点灯します。
録音中にこのキーを押すと、録音待機状態になり、キーが**REC**キーと共に点灯します。

⑫ RECキー / インジケーター
録音可能なカードが挿入されていて、停止しているときにこのキーを押すと、録音待機状態になり、キーが**PAUSE**キーと共に点灯します。
タイムラインモードでは、このキーを押しながら **PLAY**キーを押すとその時点から録音を開始し、キーが **PLAY**キーと共に点灯します。

⑬ PHONESつまみ / 端子

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。

内部モニターミキサーの音声を出力します。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注 意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑭ KEYBOARD端子

IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを接続します。

フォルダー名などの入力に使用します。

初期設定は、日本語用キーボードに設定されています。USキーボードは、日本語用キーボードと配列が異なるため、USキーボードを使う場合には、**“SYSTEM SETUP”** 画面の **“PREFERENCES”** タブ画面で設定を変更してください。

(→ 93 ページ「PREFERENCESタブ画面」)

⑮ FILE LISTキー

FILE LIST画面を表示します。

(→ 29 ページ「FILE LIST画面について」)

⑯ EXIT/CANCEL [PEAK CLEAR] キー

入力や項目の選択をキャンセルします。

プルアップ / プルダウンメニューが表示されている際は、プルアップ / プルダウンメニューを閉じます。

ホーム画面で、プルアップ / プルダウンメニューが表示されていない状態では、レベルメーターのピークホールド表示のリセットボタンとして動作します。

“MENU” 画面やFILE LIST画面で押すと、ホーム画面に戻ります。

それ以外の画面では、呼び出し元の画面に戻ります。

ポップアップウィンドウ表示中は、**“CANCEL”** ボタンと同じ動作をします。

⑰ CALL [CHASE] キー

最後に再生待機状態から再生を開始したポイント（コールポイント）にロケートし、再生待機状態となります。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、タイムコード同期運転のオン / オフが設定できます。

⑱ LCD TILTボタン

このボタンを押すと、カラーディスプレーのロックが解除されます。

カラーディスプレーの角度を変更するには、このボタンを押してロックを解除し、ディスプレーの下部を手前に引き出します。

ディスプレーを収納するときは、このボタンを押してロックを解除し、ディスプレーの下部を押し込みます。

⑲ ◀◀ [◀◀◀] / ▶▶ [▶▶▶] キー (サーチ)

このキーを押している間、サーチを行います。

◀◀ [◀◀◀] キー : 早戻し

▶▶ [▶▶▶] キー : 早送り

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、高速サーチを行います。

⑳ I◀◀ / ▶▶I [MARK I◀◀ / ▶▶I] キー (スキップ)

リージョン、テイクやエントリーをスキップします。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、マークポイントに移動します。移動後は、前の状態（停止、再生待機、または再生）になります。

㉑ MARKキー

このキーを押すと、現在ロケートしている時刻にマークポイントを付けます。

マークポイントは、オートマークポイントと合わせて 1 つのタイムラインもしくは 1 つのテイクあたり、最大99個まで付けることができます。

(→ 108 ページ「マーク機能」)

㉒ SHIFTキー

停止中 / 再生待機中 / 再生中に

- このキーを押しながらI◀◀キーを押すと、一つ手前のマークポイントに移動し、停止 / 再生待機、または再生を開始します。
- このキーを押しながら▶▶Iキーを押すと、一つ先のマークポイントに移動し、停止 / 再生待機、または再生を開始します。
- このキーを押しながら◀◀[◀◀◀] キーまたは▶▶ [▶▶▶] キーを押すと、高速サーチを行います。
- このキーを押しながら**JOG [SHUTTLE]** キーを押すと、シャトル動作モードになります。
- このキーを押しながら**CALL[CHASE]** キーを押すと、タイムコード同期運転のオン / オフが設定できます。

㉓ JOG [SHUTTLE] キー / インジケーター

ジョグ / シャトル機能をオンにします。

このキーを押すとジョグ動作モードになり、**JOG/SHUTTLE** ダイヤルはジョグダイヤルとして機能します。また、このとき**JOG/SHUTTLE** インジケーターが点灯します。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとシャトル動作モードになり、**JOG/SHUTTLE** ダイヤルはシャトルダイヤルとして機能します。また、このとき**JOG/SHUTTLE** インジケーターが点滅します。

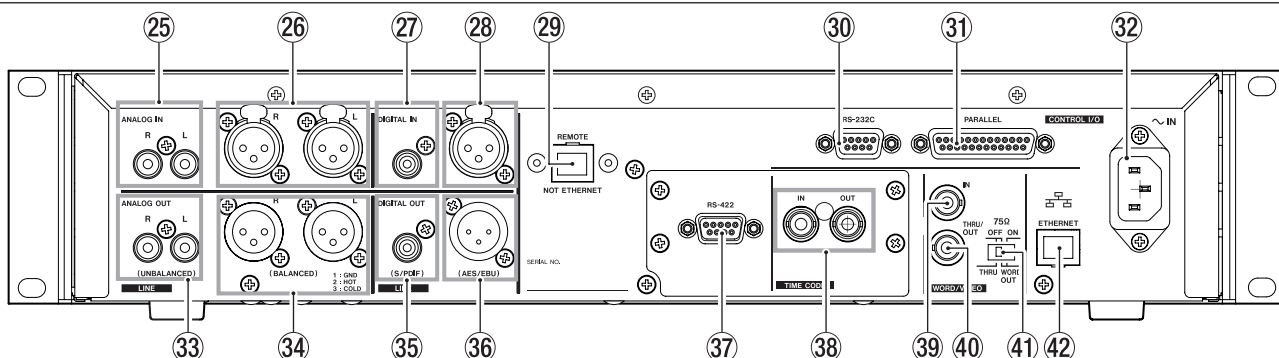
再度このキーを押すと、それぞれのモードから抜けます。

㉔ JOG/SHUTTLE ダイヤル

ジョグ動作モード時は、回した量に応じてジョグ再生位置を移動します。

シャトル動作モード時は、回した角度に応じた速度でシャトル再生します。

シャトル動作モードにしたとき、元の位置に戻すとシャトル再生開始前の状態になります。

リアパネル

㉕ **ANALOG INPUTS L / R (UNBALANCED) 端子**
アナログアンバランス入力端子L-R (RCAピンジャック)です。
規定入力レベルは、 −10dBVです。

㉖ **ANALOG INPUTS L / R (BALANCED) 端子**
アナログバランス入力端子L-R（XLRバランス）です。
規定入力レベルは、 ＋4dBuです。（1 : GND、2 : HOT、3 : COLD）

㉗ **DIGITAL IN (S / PDIF) 端子**
IEC60958-3(S / PDIF)およびAES3-2003 / IEC60958-4(AES / EBU)フォーマットのデジタルオーディオ入力端子です。
サンプリング周波数が88.2 / 96kHz時はダブルスピード、176.4 / 192kHz時はクワッドスピードでの転送になります。
32k 〜 192kHzに対応したサンプリングレートコンバーターを搭載しています。

㉘ **DIGITAL IN (AES/EBU) 端子**
XLRバランスのAES3-2003 / IEC60958-4（AES / EBU）フォーマットおよび IEC60958-3（S / PDIF）フォーマットのデジタルオーディオ入力端子です。
サンプリング周波数が88.2 / 96kHz時はダブルスピード、176.4 / 192kHz時はクワッドスピードでの転送になります。
32k 〜 192kHzに対応したサンプリングレートコンバーターを搭載しています。

㉙ **REMOTE端子**
別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）を接続します。

メモ

出荷状態ではフタがされております。取り外して、ご使用ください。

注 意

イーサネット端子（LAN など）ではありませんので、絶対にイーサネットケーブルを使ってネットワークには、接続しないでください。
本機やネットワーク機器の故障の原因となります。

㉚ **RS-232C端子**
D-sub 9ピンの**RS-232C**シリアルコントロール端子です。
外部コントローラーなどを接続します。

メモ

RS-422端子と同時には、使用できません。
(→ 87 ページ「RS-232Cタブ画面」)

㉛ **PARALLEL端子**
D-sub 25ピンのパラレルコントロール端子です。
外部コントローラー (TASCAM RC-SS20など)を接続します。

㉜ **AC IN端子**
付属の電源コードを接続します。

㉝ **ANALOG OUTPUTS L / R (UNBALANCED) 端子**
アナログアンバランス出力端子L-R (RCAピンジャック)です。
規定出力レベルは、 −10dBVです。

㉞ **ANALOG OUTPUTS L / R (BALANCED) 端子**
アナログバランス出力端子L-R（XLRバランス）です。
規定出力レベルは、Digital Ref.Levelを−9dBFsに設定時は＋6dBu、それ以外の場合は＋4dBuです。（1 : GND、2 : HOT、3 : COLD）

㉟ **DIGITAL OUT (S / PDIF) 端子**
IEC60958-3(S / PDIF)フォーマットのデジタルオーディオ出力端子です。
サンプリング周波数が88.2 / 96kHz時はダブルスピード、176.4 / 192kHz時はクワッドスピードでの転送になります。

㊱ **DIGITAL OUT (AES/EBU) 端子**
XLRバランスのAES3-2003 / IEC60958-4 (AES / EBU)フォーマットのデジタルオーディオ出力端子です。
サンプリング周波数が88.2 / 96kHz時はダブルスピード、176.4 / 192kHz時はクワッドスピードでの転送になります。

㊲ **RS-422端子 (オプション SY-2ボードに付属)**
D-sub 9ピンの**RS-422**シリアルコントロール端子です。外部コントローラーなどを接続します。

メモ

RS-232C端子と同時には、使用できません。
(→ 87 ページ「RS-422タブ画面」)

㊳ **TIMECODE IN / OUT 端子 (オプション SY-2ボードに付属)**
BNCタイプのSMPTEタイムコード入力 / 出力端子です。

㊴ **WORD/VIDEO IN端子**
BNCタイプのワードクロック、ビデオリファレンス信号入力端子です。ワードクロック信号（44. 1k、48k、88. 2k、96k、176. 4k、192kHz）、ビデオリファレンス信号（NTSC / PALのブラックバースト信号、HDTV Tri-Level信号）を入力します。
また、切り換えスイッチで75Ωのターミネート（終端）をするかどうかを選択できます。

㊵ **WORD/VIDEO THRU/WORD OUT端子**
BNCタイプのワードクロック（スルー / 出力）、ビデオリファレンス信号スルー出力端子です。
ワードクロック信号（スルー、もしくは44.1k、48k、88.2k、96k、176.4k、192kHzの出力）、ビデオリファレンス信号（IN端子の信号をスルー ）を出力します。
スルー / ワード出力の切り換えは、切り換えスイッチで行います。

㊶ **75Ω ON / OFF / THRU/WORD OUT切り換えスイッチ**
スイッチの選択で、以下の設定が行えます。
- WORD/VIDEO IN端子の終端抵抗（75Ω）の有無
- WORD/VIDEO出力のTHRU/OUT設定（OUTはWORDのみ）

㊷ **ETHERNET端子**
イーサネット端子です。ネットワーク接続し、ファイルの転送や、外部から本機を制御するのに使用します。

PARALLEL端子について

リアパネルにある**PARALLEL**端子は、本機器を外部制御するためのパラレルコントロール端子です。(TASCAM RC-SS20を接続することも出来ます。)

ピンアサインは、以下の通りです。

Pin No.	Normal	TASCAM RC-SS20 PonMode	I / O
1	GND	GND	
2	PLAY	FLASH 1	I
3	STOP	FLASH 2	I
4	RECORD	FLASH 3	I
5	SKIP FWD	FLASH 4	I
6	SKIP BWD	FLASH 5	I
7	(Reserved)	STOP	I
8	FADER_START	FADER_START	I
9	(Reserved)	(Reserved)	O
10	TALLY_PAUSE	TALLY_PAUSE	O
11	TALLY_RECORD	RESERVED	O
12	TALLY_STOP	TALLY_STOP	O
13	TALLY_PLAY	TALLY_PLAY	O
14	REMOTE_SELECT, H or Open	REMOTE_SELECT, L	I
15	PAUSE	FLASH 6	I
16	(Reserved)	FLASH 7	I
17	AUX1, FF	FLASH 8	I
18	AUX2, REW	FLASH 9	I
19	AUX3, MARK	FLASH 10	I
20	(Reserved)	FLASH_PAGE	I
21	(Reserved)	(Reserved)	O
22	TALLY_SD	TALLY_SD *1	O
23	(Reserved)	(Reserved)	O
24	TALLY_CF	TALLY_CF *2	O
25	+5V *3	+5V *3	

I　: コマンド入力、トランスポートコントロール用
　内部回路で、+5Vでプルアップ
　50msec以上のローコマンドで動作

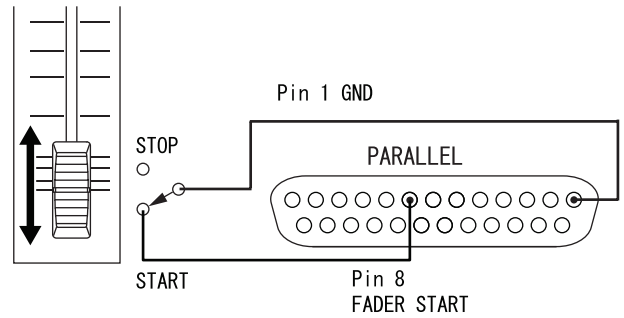
O　: コマンド出力、タリー出力用
　内部回路は、オープンコレクタ
　（出力インピーダンス : 10Ω）
　動作時にローコマンドを出力
　耐圧20V、最大電流35mA

*1 RC-SS20ではCFインジゲーターにアサインされます。
*2 RC-SS20ではCDインジゲーターにアサインされます。
*3 +5V : 最大供給電流50mA

REMOTE Select（ピン14）がハイのときは、通常のパラレルコントローラーとして使用することができます。

ローのときは、フラッシュスタートモードとして機能します。また、Flash Page（ピン20）のハイ / ローの状態によってキーアサインが、以下のようになります。

ピン14	ピン20	フラッシュスタートのテイク
ロー	ハイ	1～10
ロー	ロー	11～20

以下は、フェーダースタート / ストップによって本機の再生をコントロールする場合の接続例です。

AUX1-3（ピン17-19）の機能の割り当てについては、86 ページ「リモート設定 (REMOTE SETUP)」の「**PARALLEL**タブ画面」をご参照ください。

メモ

パラレル接続した外部機器から本機を外部制御する場合には、本機が停止中にPLAY信号とRECORD信号を同時に入力することで、即時録音を開始させることができます。また、タイムラインモードで再生中にはPLAY信号とRECORD信号の同時に入力でオーバーライト録音をさせることができます。

RS-232C端子について

リアパネルにある**RS-232C**端子をパソコンの**RS-232C**端子と接続することにより、パソコンから本機の制御を行うことができます。

通信に関する設定は、**"REMOTE SETUP"** 画面の **"RS-232C"** タブ画面で行います。（→ 87 ページ「RS-232Cタブ画面」）

メモ

本機の**RS-232C**コマンドプロトコルについては、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

RS-422端子(オプションSY-2ボードに付属)について

オプションのSY-2ボードには、RS-422端子が搭載されています。

SY-2ボードを本機に装着して、RS-422端子をSONY P2プロトコル（RS-422）対応のコントローラーやエディターと接続することにより、外部から制御を行うことができます。

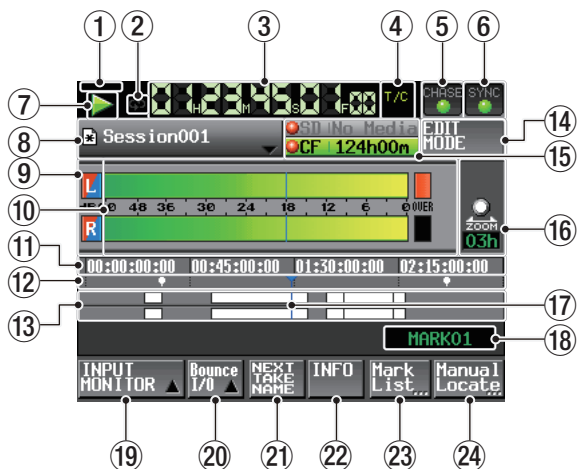
動作に関する設定は、**"REMOTE SETUP"** 画面の **"RS-422"** タブ画面で行います。（→ 87 ページ「RS-422タブ画面」）

メモ

本機のプロトコルへの対応については、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

ホーム画面

HOMEキーを押すと、ホーム画面を表示します。

タイムラインモード時

① **NTPサーバーとの時刻同期状態表示**
NTPサーバーとの同期エラーが発生した場合にエラーアイコンが ⇄ のようにこのエリアで点滅表示します。

② **リピート状態表示**
: リピート再生がオンのときは、"" アイコンが緑色に点灯します。
: リピート再生がオフのときは、"" アイコンは消灯します。

③ **タイムカウンター表示 (ボタン)**
現在の時間を経過時間、またはタイムコード時刻で表示します。
この部分を押すと、時間表示モードを切り換えます。

④ **タイムモード表示 (ボタン)**
現在の時間表示モードをアイコン表示します。
この部分を押すと、時間表示モードを切り換えます。

ABS : タイムライン先頭からの経過時間を表示します。
T/C : タイムラインのタイムコード時刻を表示します。

⑤ **タイムコード状態表示 (ボタン / インジケーター)**
: 正しいタイムコードが入力され、認識が正常なときは、**TC**インジケーターが緑色に点灯します。
: 入力タイムコードの認識が正常でないときは、消灯します。

タイムコード同期運転時は、同期運転状態表示となります。
: 外部タイムコードまたは内蔵タイムコードジェネレーター（選択可能）と同期運転しているときは、**"CHASE"** インジケーターが緑色に点灯します。
: タイムコード同期運転していないとき、または同期運転時に同期がとれていないときは、**"CHASE"** インジケーターが点滅します。

この部分を押すと、**"SYNC T/C"** 画面を表示します。
(→ 83 ページ「シンク、タイムコード設定 (SYNC T/C)」)

⑥ **オーディオ同期の状態表示 (ボタン / インジケーター)**
: マスタークロックに同期中、**"SYNC"** インジケーターが緑色に点灯します。
: マスタークロックに同期していないときは、**"SYNC"** インジケーターが点滅します。

この部分を押すと、**"SYNC T/C"** 画面を表示します。
(→ 83 ページ「シンク、タイムコード設定 (SYNC T/C)」)

⑦ **トランスポートステータス表示 (ボタン)**
現在のトランスポートの状態をアイコン表示します。

: 再生 / ジョグ再生（順方向）時
: ジョグ再生（逆方向）時
: 再生待機時
: 停止時
: 早戻し時
: 早送り時
: 早戻し時（高速サーチ）
: 早送り時（高速サーチ）
: 早戻し時（シャトル動作）表示の数値は、そのときの速度によりx2、x4、x8、x16、x32に変化します。
: 早送り時（シャトル動作）表示の数値は、そのときの速度によりx2、x4、x8、x16、x32に変化します。
: 録音時
: 録音待機時

この部分を押すと、**"PLAY SETUP"** 画面を表示します。

⑧ **AES31ファイル名表示 (ボタン)**
現在呼び出しているAES31ファイル(AES31編集情報のファイル)名を表示します。
また、タイムラインの編集やマークの追加 / 削除などを行って、保存していない場合、**"*"** をアイコンの中に表示します。
この部分を押すとプルダウンメニューが表示されます。

<START TIME EDIT ボタン>
タイムラインモードのスタート時刻を設定する **"START TIME"** 画面を表示します。停止状態以外では選択できません。

<REBUILD ボタン>
FTPにより本機のファイルを削除した際などにリビルド(再構成)を実施します。
停止状態以外では選択できません。

<SAVE ボタン>
タイムラインの内容を保存します。
停止状態以外では選択できません。

<SAVE AS ボタン>
タイムラインの内容を名前を付けて保存します。
停止状態以外では選択できません。
(→ 41 ページ「AES31編集情報をセーブする」)

<CREATE AES31 ボタン>

新規AES31ファイルを作成するための **"AES31 NAME"** 画面を表示します。
停止状態以外では選択できません。
(→ XX ページ「新規AES31ファイルを作成する」)

<IMPORT ALL TAKES ボタン>

カレントフォルダーの全テイクを取り込みます。
停止状態以外では選択できません。
(→43 ページ「全テイクをインポートする」)

⑨ インプットモニターのインジケーター

レベルメーターの左部は、インプットモニターのインジケーターになっています。インプットモニターの状態に応じて、背景表示は以下のようになります。

	プレイリストモード	タイムラインモード / テイクモード
MON OFF	L	L
MON ON		L

⑩ レベルメーター

インプットモニターがオン、録音待機中、または録音中に入力信号のレベルを表示します。
また、各チャンネルの一番右にオーバーロードインジケーターがあり、オーバーロード時は赤くなります。
再生時でインプットモニターがオフの時は、再生レベルを表示します。
入力ソースにデジタル入力が選択されているときは、該当するデジタル入力に入力が無い場合、あるいは入力信号が内部設定と異なっている場合に、チャンネルメーター表示部が灰色表示となり、以下の表示をします。

表示内容	表示内容
"D-IN NO SIGNAL"	入力信号がない場合
"D-IN UNLOCK"	入力信号がシステムと同期していない場合
"D-IN NOT AUDIO"	入力信号のCbit情報が非オーディオの場合
"D-IN Cbit ERROR"	入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う場合

[**"D-IN NO SIGNAL"** 表示の場合]

レベルメーター表示は、**"MENU"** 画面内の **"METER SETUP"** メニュー画面で以下の設定が行えます。

- メータリングポイント
- ピークホールド時間
- リリース時間
- オーバーロードインジケーター点灯レベル
- リファレンスレベル線表示のオン / オフ設定

⑪ 時刻表示エリア

表示範囲を4等分した区切りの良いタイムライン時刻を設定された時間表示モードで４つ表示します。
このエリアはタイムカウンター時刻に合わせて横スクロールします。

⑫ マーク表示エリア

タイムラインマークを表示します。
このエリアはタイムカウンター時刻に合わせて横スクロールします。

: IN マーク

: OUT マーク

: 上記以外のマーク

⑬ トラック表示エリア

各トラックのリージョンを表示します。
表示するトラックは、上からトラック L / R です。
リージョンのフェードイン・フェードアウト・クロスフェード範囲は水色で表示されます。
リージョンの状態により下記のように色分けして表示されます。

通常時	白色	
録音中	赤色	
フェードイン フェードアウト クロスフェード範囲	水色	
選択されたリージョン	濃い水色	
選択された無音部分	青	

このエリアはタイムカウンター時刻に合わせて横スクロールします。

⑭ EDIT MODE ボタン

リージョンの分割、削除、切り取りなどを行う編集モードをオン / オフします。(→ 45 ページ「タイムラインの編集」)

⑮ **記録メディア表示 (ボタン)**

現在使用中のカードスロットと、録音可能残り時間表示を行います。

使用中の記録メディア表示の背景は、再生中は緑、録音中は赤色表示になります。

カードスロットにメディアが装着されていない場合は、**"No Media"** と表示し薄い灰色になります。

該当カードにフォルダーが無い場合には、**"NoProject"** と表示します。

未フォーマットのカード装着時は、**"UNFORMAT"** と表示します。

録音中に使用していない方のカードスロットにカードを装着した場合は、**"UNMOUNT"** と表示され、録音を停止すると通常の表示に更新されます。

フォルダー内のファイル、フォルダーなどの総数が約20,000を超えたため録音ができなくなった場合には、**"Rec Limit"** と表示されます。詳細は、28 ページ「録音動作での制約事項」を参照ください。

この部分を押すと、**"MEDIA SELECT"** 画面を表示します。

(→ 25 ページ「カードの選択」)

メディア状態インジケーター

メディアの録音可/不可/対象外の状態を示すインジケータです。

タイムラインモードとテイクモードのときに表示されます。

(プレイリストモードでは表示されません。)

- インジケーター表示

/録音可　　/録音不可　　/録音対象外

- メディア残量表示ボタンの表示例

① **"REC MODE"** : **"Single"** 設定時

録音時	録音時以外	録音不可時 (*1)
SD 124h00m CF No Media	SD 124h00m CF No Media	

② **"REC MODE"** : **"Mirror"** 設定時

録音時	録音時以外
SD 124h00m CF 124h00m	SD 124h00m CF 124h00m

③ **"REC MODE"** : **"Mirror"** 設定時 / **"Mirror"** 無効 (*2)

録音時	録音時以外	録音不可時 (*1)
SD 124h00m CF No Media		

*1、*2 録音不可時 / **"Mirror"** 無効時については、79 ページ「設定ボタンの表示」を参照してください。

⑯ **ズームレート表示**

トラックエリア表示のズーム率 / 表示範囲を表示します。

DATAダイヤルを右回り方向に操作するとズームイン(表示範囲を狭く)し、左回り方向に操作するとズームアウト(表示範囲を広く)します。

⑰ **タイムラインカーソル**

録音・再生位置を示すカーソルです。常に画面中央部に固定されています。

⑱ **マーク名表示**

現在時刻または直前のマーク名が表示されます。

オートマーク以外のマーク名が表示されているときに、この部分を押すとマーク名編集画面が表示されます。

⑲ **INPUT MONITOR ボタン**

このボタンを押すと、インプットモニターのON / OFF設定を行うボタンがプルアップ表示されます。

この設定をオンにすると、常に音声入力端子からの音声が本機から出力されます。

⑳ **BOUNCE I/O ボタン**

このボタンを押すと、バウンス用プルアップメニューが表示されます。

<Bounce ボタン>

バウンスを実行します。以下のときは、グレーで表示され選択(実行)できません。

- 開始点(IN点)と終了点(OUT点)の両方が指定されていないとき
- 再生中もしくは録音中

<SET IN ボタン>

現在の位置をバウンスの開始点(IN点)に設定します。

<SET OUT ボタン>

現在の位置をバウンスの終了点(OUT点)に設定します。

<CLEAR ボタン>

現在設定されているバウンスの開始点(IN点)と終了点(OUT点)を破棄します。

これらボタンの詳細は、55 ページ「バウンス」を参照してください。

㉑ NEXT TAKE NAME ボタン

このボタンを押すと、次に録音するテイクまたはファイルの名前を設定する【NEXT TAKE NAME】画面を表示します。

- **テイク名の前半部**

テイク名の前半部は **"User Word"**、**"Folder Name"**、**"Date/Time"** の3種類から付けることができます。

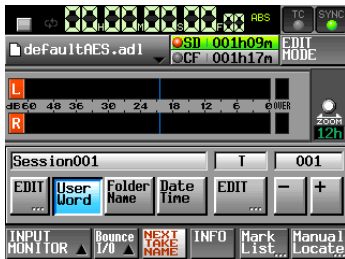
（初期値 : **"Date/Time"** ）

注 意

テイク名の前半部は、停止中のみ編集が可能です。

- **"User Word" モード (ボタン)**

テイク名の前半部にユーザーワードを使用します。

ユーザーワードは、"EDIT" ボタンを押してユーザーワード編集画面に移動して行います。(ルートにあるフォルダー名の編集画面と同様です)。

- **"Folder Name" (フォルダー名)モード (ボタン)**

テイク名の前半部にフォルダー名名を使用します。

- **"Date/Time" モード (ボタン)**

テイク名の前半部に録音待機状態にした時の本体内蔵時計の日時情報を使用します。（表示は "yyyymmdd-hhmmss" 形式）

例）: [2014 年 7月 1日 15時 10分 20秒]の場合、テイク名の前半部は、**"20140701-151020"**となります。

- **テイク名の後半部**

テイク名の後半部は、アルファベット1文字と 3 桁の数字で作られています。アルファベット1文字は、**"EDIT"** ボタンを押して編集画面に移動して行います。

3 桁の数字は、**"－"** ボタンまたは **"＋"** ボタンを使って設定することができます。数字部を押すと黄色く反転し、**DATA**ダイヤルで数字を変更することができます。

以下の場合は **"---"** と表示され、数値の変更はできません。

- カレントフォルダーがロードされていないとき
- 選択されたカードが無効のとき
- 現在のテイクのファイル名の数字部が999のとき

注 意

- "Next Take Name" の設定は、SDカード/CFカードに保存されるため、カードを変えた場合には、それぞれの設定に従います。

（他のHSシリーズで作成されたカードの場合、フォルダーを切り換えた場合にも設定が変わります。）

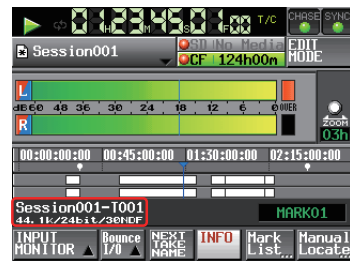
- テイク名の後半部の数値部は、再生中または録音中でも変更可能です。

（テイク名の前半部と後半部のアルファベット部は、停止中のみ編集が可能です）

メ モ

テイク名の前半部や後半部のアルファベット部が異なれば、後半部の数字3桁が同じテイクを作成できます。

㉒ INFOボタン

このボタンを押すと、タイムラインカーソル下にあるリージョンのファイル名と現在の本機の設定を表示する**【インフォメーション】**画面をトラック表示エリアの下に表示します。

上半分には、タイムラインカーソル下にあるリージョンのファイル名を表示します。

下半分には、現在設定されているFs、録音ビット長、フレームタイプを表示します。

㉓ Mark List ボタン

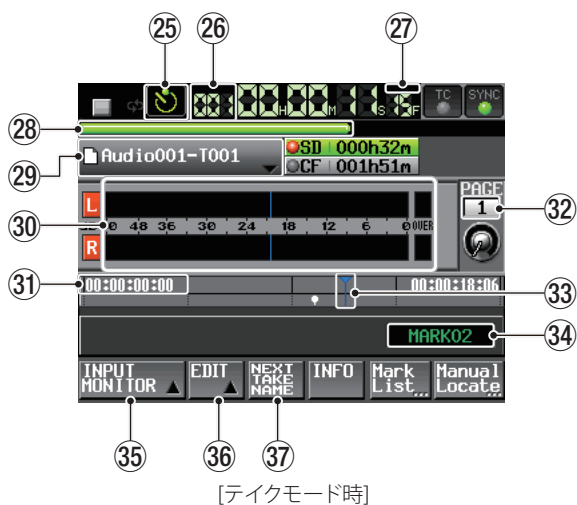
このボタンを押すと、マークポイントのリストを表示します。

（→ 108 ページ「マークポイントリスト画面」）

㉔ Manual Locate ボタン

このボタンを押すと、マニュアルでのロケート画面（ **"MANUAL LOCATE"** 画面）を表示します。

（→ 111 ページ「マニュアルロケート機能」）

テイクモード / プレイリストモード時

[テイクモード時]

メ モ

プレイリストモード時は、**"INPUT MONITOR"** ボタン、**"EDIT"** ボタンおよび **"NEXT TAKE NAME"** ボタンは表示されません

㉕ タイマーイベント機能の状態表示 (ボタン)

タイマーイベント機能の状態を表示します。(テイクモード時のみ)

：　タイマーインベント機能有効状態

：　タイマーインベント機能無効状態

：　タイマーイベントを編集後、保存していない状態

このボタンを押すと、**"TIMER EVENT LIST"** 画面を表示します。
(→ 102 ページ「TIMER EVENT LIST 画面」)

㉖ テイク / エントリー番号

現在選択されているテイクやエントリーの番号を表示します。
録音待機状態にすると、次に録音するテイクのファイル名を表示します。テイク番号は、フォルダー内で録音された順につけられます。

㉗ タイムモード表示(ボタン)

現在の時間表示モードをアイコン表示します。
この部分を押すと、時間表示モードを切り換えます。

モード	表示内容
	テイク先頭からの経過時間を表示します。
REMAIN	テイクの終わりまでの残り時間、録音時は最大ファイルサイズまでの残り時間を表示します。
TOTAL	フォルダーの先頭からの経過時間を表示します。
T.REM TOTAL REMAIN	フォルダーの終わりまでの残り時間、録音時は現在の録音設定で、現在選択されているカードに録音できる残り時間を表示します。
T/C	録音・再生ファイルのタイムコード時刻を表示します。

㉘ タイムバー表示

現在の再生位置を表示します。時間表示モードによって表示内容が異なります。

モード	表示内容	バー表示
	テイクまたはエントリーの長さに対する現在の再生位置を表示。	左端から右端に延びていくように表示
REMAIN		左端から右端に縮んでいくように表示
TOTAL	フォルダー内の全テイク、もしくはプレイリスト全体の長さに対する現在の再生位置を表示。(テイクまたはエントリーの区切り目には、縦の白線を表示。)	左端から右端に延びていくように表示
T.REM TOTAL REMAIN		左端から右端に縮んでいくように表示
T/C		左端から右端に延びていくように表示

メ モ

録音中は約5秒周期で左端から右端まで伸びる赤いプログレスバーが表示されます。

㉙ テイク / エントリー名表示 (ボタン)

現在呼び出しているテイクまたはエントリーのアイコンとテイク名またはエントリー名を表示します。
録音待機状態にすると、次に録音するテイクのファイル名を表示します。
プレイリストモード時は、プレイリストの編集(エントリーを追加 / 削除など)を行って、保存していない場合、**"*"** をアイコンの中に表示します。
この部分を押すとプルダウンメニューが表示されます。

テイクモード時

<TAKE LIST ボタン>

テイク選択画面(**"TAKE"** 画面)を表示します。このボタンで表示したテイク選択画面では、フォルダー名表示部分を押してもフォルダー選択画面は表示されません。
(→ 29 ページ「FILE LIST画面について」)

<CIRCLE @ TAKE ボタン>

現在のテイクの名前の先頭に@を付けるまたは削除します。
(→ 61 ページ「テイクを削除する」)

<REBUILD ボタン>

FTPにより本機のファイルを削除した際などにリビルド(再構成)を実施します。

プレイリストモード時

<ASSIGN FILE ボタン>

ファイルアサイン画面(**“ASSIGN”** 画面)を表示します。

(→ 70 ページ「ファイルアサイン画面」)

<ENTRY LIST ボタン>

エントリーリスト画面(**“ENTRY”** 画面)を表示します。

(→ 69 ページ「エントリーリスト画面」)

<ADJUST ENTRYボタン>

エントリー編集画面(**“ADJUST ENTRY ***”** 画面)を表示します。

(→ 72 ページ「エントリーのタイトルを編集する」、73 ページ「再生開始 / 終了位置の編集」、74 ページ「再生開始時刻を編集する」、75 ページ「フェードイン / アウト長、レベルの編集」)

<REBUILD ボタン>

FTPにより本機のファイルを削除した際などにリビルド(再構成)を実施します。

<SAVE ボタン>

現在のプレイリストを保存します。停止状態以外では選択できません。

(→ 76 ページ「プレイリストを保存する」)

<SAVE AS ボタン>

現在のプレイリストに名前をつけて保存します。停止状態以外では選択できません。

(→ 76 ページ「プレイリストを保存する」)

<CREATE PLAYLIST ボタン>

新規プレイリストを作成するための **“PLAYLIST NAME”** 画面を表示します。

(→ 67 ページ「新規プレイリストを作成する」)

㉚ レベルメーター

内容はタイムラインモード時のホーム画面と同じです。

㉛ 時刻表示エリア

時間表示モードによって表示内容が異なります。

モード	左端	右端
	00 : 00 : 00 : 00	テイクまたはエントリーの全時間
REMAIN	テイクまたはエントリーの全時間	00 : 00 : 00 : 00
TOTAL	00 : 00 : 00 : 00	フォルダーまたはプレイリスト全時間
T.REM TOTAL REMAIN	フォルダーまたはプレイリスト全時間	00 : 00 : 00 : 00
T/C	フォルダーまたはプレイリスト先頭時刻	フォルダーまたはプレイリスト末尾時刻

ただし、録音中および録音待機中は時間および区切り線を表示しません。

㉜ フラッシュページ操作 / 表示ノブ

フラッシュページ番号を表示します。またこの部分に触れて選択状態(黄色背景)にしたときに、**DATA**ダイヤルを回すとページを変更できます(右回り操作で+、左回り操作で−)。

㉝ 現在時刻カーソル

再生位置を示すカーソルです。タイムカウンター時刻に合わせて横スクロールします。

録音中(テイクモードのみ)は表示しません。

㉞ マーク名表示

現在時刻または直前の**MARK**名を表示します。

オートマーク以外のマーク名が表示されているときに、この部分を押すとマーク名編集画面が表示されます。

㉟ INPUT MONITOR ボタン

内容はタイムラインモード時のホーム画面と同じです。

㊱ EDIT ボタン

このボタンを押すと、テイク編集用プルアップメニューが表示されます。

㊲ NEXT TAKE NAME ボタン

内容はタイムラインモード時のホーム画面と同じです。

フラッシュスタート画面

1. ホーム画面が表示されている状態で再度、**HOME**キーを押すと、[フラッシュスタート] 画面を表示します。

2. 再生したいテイクまたはエントリー の含まれているページを、フラッシュページ操作／表示ノブをタッチして選択状態 (黄色背景) にしてから、**DATA**ダイヤルを使って選択します。

メ モ

[フラッシュスタート] 画面は **“PAGE 1”** ～ **“PAGE 5”** まであり、1ページに20テイク表示されます。

3. タッチパネルでオレンジ色のフラッシュスタートインジケーターが点灯しているテイクまたはエントリーのボタンを押すと、フラッシュ再生ができます。また、本機に接続したPS/2キーボード、または本機のリモート端子（**REMOTE**端子、**RS-232C**端子、**PARALLEL**端子）に接続した外部機器からの操作でもフラッシュ再生ができます。
4. **“INFO”** ボタンを押すと、[インフォメーション] 画面を表示します。表示される内容は、ホーム画面で **“INFO”** ボタンを押したときに表示される[インフォメーション]画面と同様です。

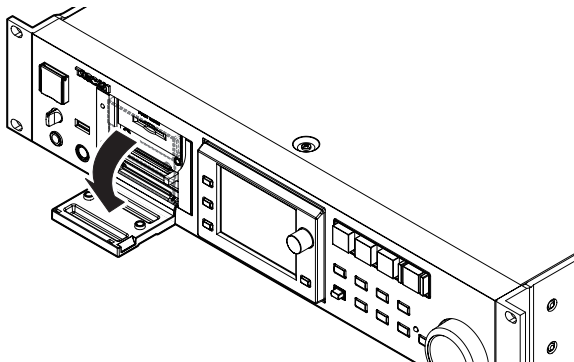
SDカード / CFカードを挿入する / 取り出す

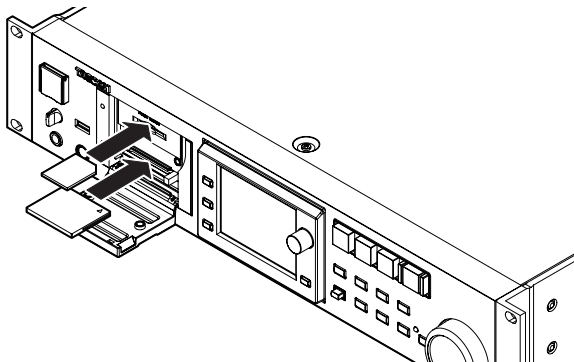
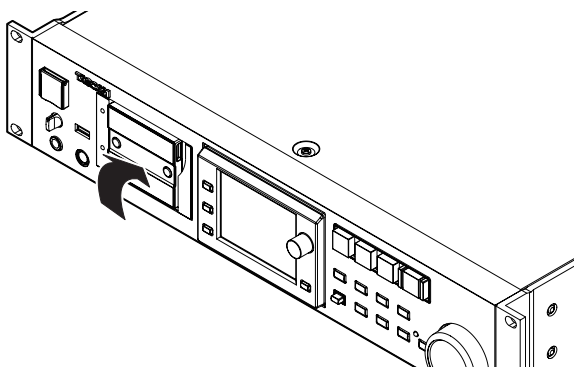
SDカード / CFカードを挿入する

本機で録音 / 再生を行うには、フロントパネルのSDカード / CFカードスロットにSDカード / CFカードを挿入します。

メモ

電源がオン / オフどちらのときもSDカード / CFカードを挿入することができます。

1. カードスロットのカバーを手前に引き開けます。

2. SDカード / CFカードを正しい向きに挿入します。

   ラベル面を上、端子部を奥にして挿入します。

3. カバーを閉じます。

メモ

SDカード / CFカードスロットのカバーが閉まらないとき、SDカードの場合はSDカードを抜き、再度SDカードを入れてください。

CFカードの場合はCFカードを抜き、CFカード挿入口の右にある四角ボタンを押し込んでから、再度CFカードを入れてください。

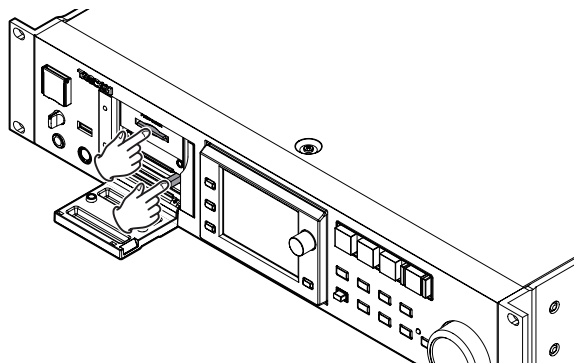
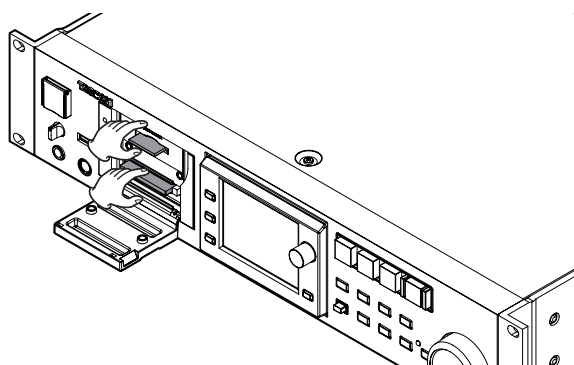
SDカード / CFカードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、SDカード / CFカードを取り出します。

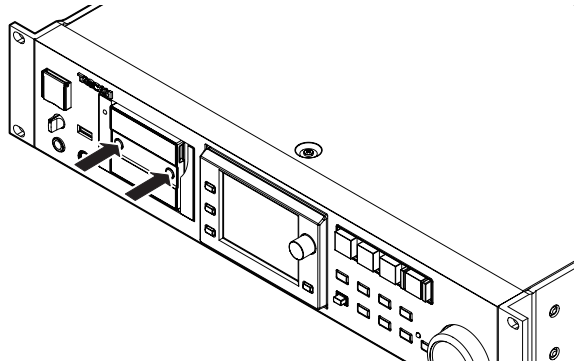
注 意

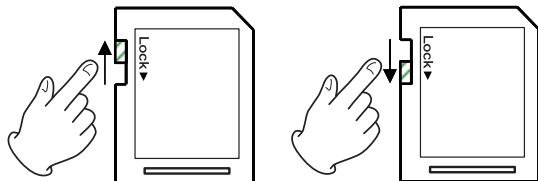
本機が動作中（録音中、再生中、SDカード / CFカードにデータを書き込み中など）は、絶対にSDカード / CFカードを取り出さないでください。録音が正しく行われなかったり、録音したデータが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

1. カードスロットのカバーを手前に引き開けます。
2. SDカードの場合は、SDカードを軽く押し込むと手前に出てきます

   CFカードの場合は、CFカードスロットの右にある四角ボタンを押すと、ボタンが出てきます。出てきた四角ボタンを押し込むと、CFカードが一部排出されます。

3. 手でつまんでSDカード / CFカードを引き出します。

セキュリティービスについて

付属のセキュリティービスを使ってCFカードスロットのカバーをロックすることができます。

セキュリティービスの取り付け / 取り外しは、プラスドライバーを使って行ってください。

SDカードのプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト(書き込み防止)スイッチがついています。

[書き込み可]　[書き込み不可]

プロテクトスイッチを「LOCK」の方向へスライドするとファイルの記録や編集ができなくなります。録音や削除などを行う場合は書き込み禁止を解除してください。

注 意

プロテクトされたSDカードは、デバイス切り換え時に毎回カード内のオーディオファイルの全チェックを行います。そのため、デバイスの切り換えに時間がかかります。また、タイムラインの編集などもできません。

ディスプレーについて

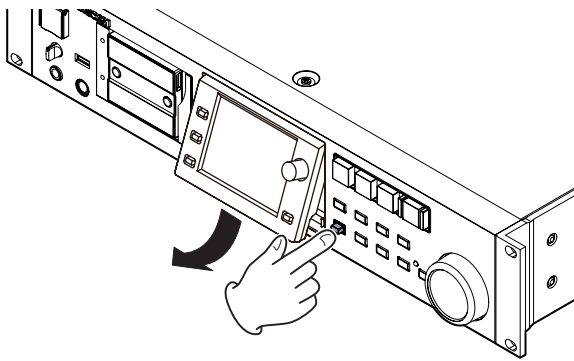
ディスプレーの角度を調節する

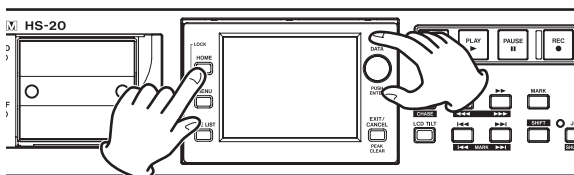
LCD TILTキーを押すと、ディスプレーのロック機構が外れますので、ディスプレーの下部を手前に引くことでディスプレーの角度を変えることができます。

カチッと音がするまでディスプレーの下部を引いてください。

元に戻すには、再度**LCD TILT**キーを押すと、ディスプレーのロック機構が外れますので、ディスプレーの下の部分を押してください。カチッと音がするまでディスプレーの下部を押してください。

注 意

ディスプレー面は、押さないでください。

ディスプレーとインジケーターの輝度調節

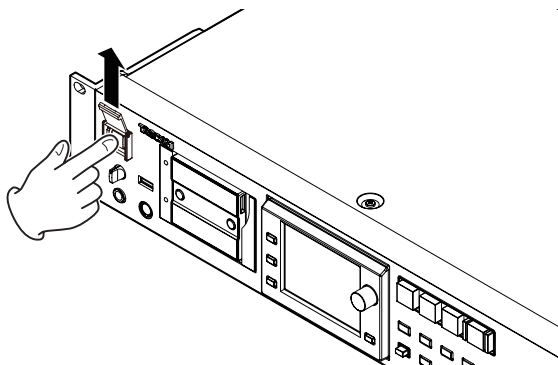
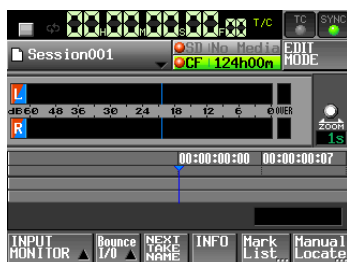
HOMEキーを押しながら**DATA**ダイヤルを回すとカラーディスプレーと**PAUSE**キー、**REC**キー、**PLAY**キー、**ON LINE**キー、**JOG [SHUTTLE]**インジケーター、**SD**および**CF**インジケーターの輝度が調節できます。また、**HOME**キーを押しながら**DATA**ダイヤルを押し回しすると、カラーディスプレーのみの輝度が調節できます。

ディスプレーについての注意

- ディスプレーは傷つきやすいので、先の固いもの(爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。
- ディスプレーは指で強く押したり、ペンやつまようじなどの先の鋭い物で触れないでください。ディスプレーに傷が付く恐れがあります。また、故障の原因になります。
- ディスプレーのタッチパネル部は、フィルムとガラスで構成されています。表面に強い力を与えないでください。ガラスの破損の恐れがあります。
- ディスプレーの操作をするときは、パネル面に手を置いたり、ディスプレーの周囲を強く押さないでください。うまく位置検出ができない場合があります。
- ディスプレーの上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけすぎないようにしてください。パネルのたわみ、位置検出に不具合が生じる場合があります。
- ディスプレーに市販の液晶画面保護フィルムは、使わないでください。正常に動作しないおそれがあります。
- ディスプレーは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布(クリーニングクロスなど)で軽く拭きます。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると液晶の表面に傷が付く恐れがありますので注意してください。また、ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。

メ モ

ディスプレーは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。

電源のオン / オフ

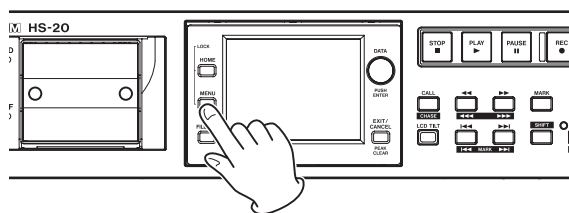
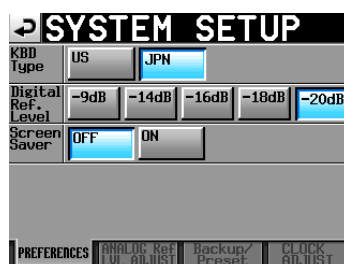
フロントパネルの**POWER** スイッチ表面のカバーを開き、**POWER** スイッチを押します。

[起動画面]

[ホーム画面]

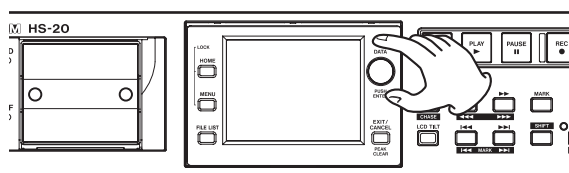
電源をオフにする場合は、フロントパネルの**POWER** スイッチを再度押します。

注 意

本機が動作中（録音中、再生中、SDカード / CFカードにデータを書き込み中など）は、電源をオフにしないでください。録音が正しく行われなかったり、録音したデータが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

内蔵時計の時刻を設定する

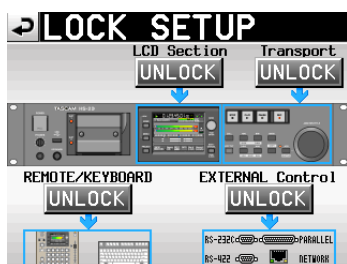
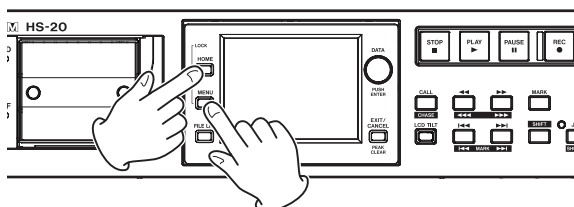
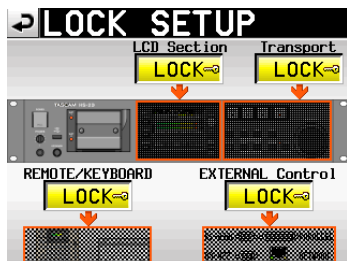
1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**“MENU”** 画面を表示します。

2. **“SYSTEM SETUP”** ボタンを押して、**“SYSTEM SETUP”** 画面を表示します。

3. **“CLOCK ADJUST”** タブを押して、内蔵時計の **“CLOCK ADJUST”** タブ画面を表示します。

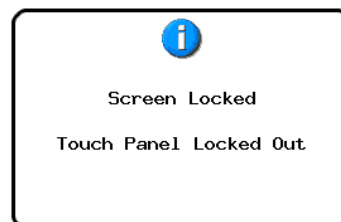
4. 変更したい項目を押して、フロントパネルの**DATA**ダイヤルを回して値を変更します。

5. **“SET”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押して、確定します。

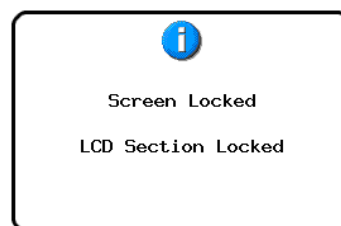
メ モ

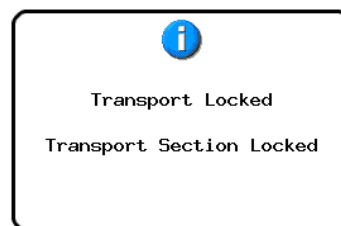
購入後、最初の録音をする前にこの設定を行ってください。この設定を行わないと、録音ファイルのタイムスタンプが正しい状態になりません。

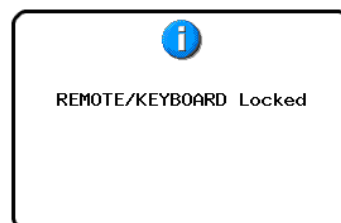
ロック機能

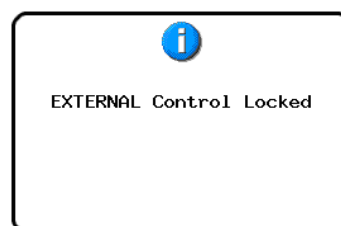
フロントパネルの**HOME**キーを押しながら**MENU**キーを押して、**"LOCK SETUP"** 画面を表示します。この画面では、フロントパネルや外部機器からの操作を受け付けなくするロック機能のオン / オフを設定することができます。

本体操作では、フロントパネルを二つのセクションに分け、それぞれにおいて、ロックするかどうかの設定ができます。
また、外部機器からの操作も二つの系統に分け、それぞれをロックするかの設定ができます。
各セクションのボタンを押すと、ボタンが**"UNLOCK"**（非ロック状態）から黄色い背景の **"LOCK"** に変わり、該当部分が暗く表示されます。

[LOCK SETUP ロック状態]

- **"LCD Section"** を **"LOCK"** にしたときに
  - ディスプレーにふれたときには、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

[ディスプレー部（パネル）ロック状態]

  - ディスプレー周りのキー類を操作したときには、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

[ディスプレー部（キー）ロック状態]

- **"Transport"** セクションを **"LOCK"** にしたときに、トランスポートキーを操作すると以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

[トランスポート部 ロック状態]

- **"REMOTE/KEYBOARD"** セクションを **"LOCK"** にしたときに、リモート端子に接続されたリモコンやキーボードを操作すると以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

[リモート / キーボード部 ロック状態]

- **"EXTERNAL CONTROL"** セクションを **"LOCK"** にしたときに、**RS-232C / RS-422 / PARALLEL / NETWORK**から本機を操作すると以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

[外部入力部 ロック状態]

録音時間について

各録音フォーマットにおけるSDカード / CFカード容量別の録音時間を以下の表に示します。

書き込みファイルフォーマット	カード容量		
	8GB	16GB	32GB
16bit / 44.1kHz	12h34m	25h10m	50h21m
16bit / 48kHz	11h32m	23h07m	46m16m
24bit / 44.1kHz	8h22m	16h46m	33h34m
24bit / 48kHz	7h41m	15h24m	30h50m
24bit / 88.2kHz	4h11m	8h23m	16h47m
24bit / 96kHz	3h50m	7h42m	15h25m
24bit / 176.4kHz	2h05m	4h11m	8h23m
24bit / 192kHz	1h55m	3h51m	7h42m

- 上記録音時間は目安です。ご使用のカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、カードに録音できる時間の合計です。

この章では、各オペレーションモードで共通の基本的な操作方法を説明します。

本機のディスプレーは、タッチパネルとなっています。

本体のキー、スイッチおよびタッチパネルディスプレー上のボタンを操作してください。

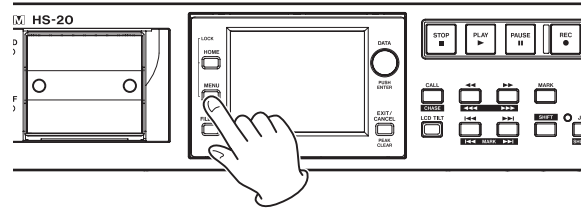
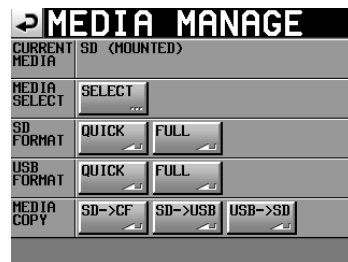
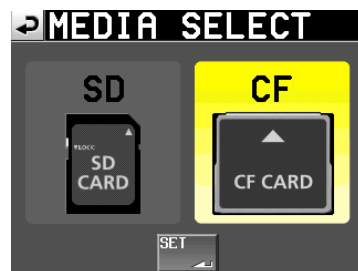
ホーム画面以外では、画面左上に "⮐" ボタンがあります。このボタンを押すことにより、一つ前の画面に戻ることができます。

メモ

EXIT/CANCEL [PEAK CLEAR] キーを押しても一つ前の画面に戻ることができます。

SDカード / CFカードの準備をする

カードの選択

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**"MENU"** 画面を表示します。

2. **"MEDIA MANAGE"** ボタンを押して、**"MEDIA MANAGE"** 画面を表示します。

3. **"MEDIA SELECT"** 項目の **"SELECT"** ボタンを押して、**"MEDIA SELECT"** 画面を表示します。

メモ

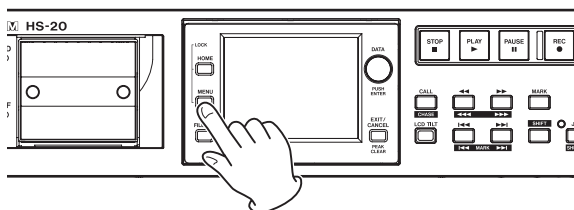
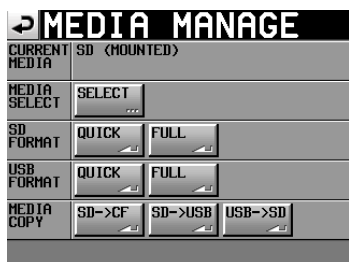
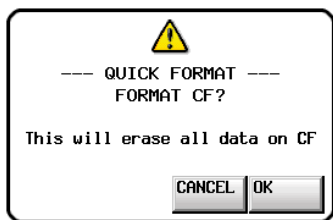
ホーム画面の記録メディア表示ボタンを押すことでも **"MEDIA SELECT"** 画面を表示することが出来ます。

4. 使用するカードのボタンを押して、選択します。
   選択されたカードのボタンの背景が黄色になります。
5. **"SET"** ボタンを押すと、**"MEDIA MANAGE"** 画面に戻ります。
6. 続けてカードのフォーマットを行う場合には、次節の「SDカード / CFカードのフォーマット」の手順**3.**以降に従ってカードをフォーマットしてください。

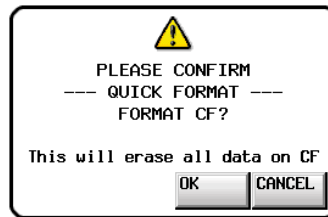
SDカード / CFカードのフォーマット

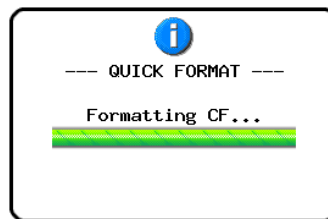
注 意

- フォーマットを行うと、SDカード / CFカード上のデータは全て失われます。
- 必ず本機にてフォーマットを行ってください。他の機器、パソコンなどでフォーマットしたSDカード / CFカードを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。

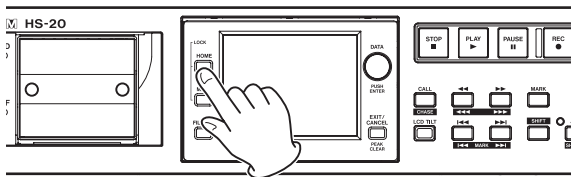
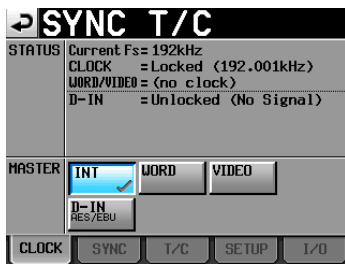
1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**"MENU"** 画面を表示します。

2. **"MEDIA MANAGE"** ボタンを押して、**"MEDIA MANAGE"** 画面を表示します。

3. **"SD FORMAT"** もしくは **"CF FORMAT"** 項目の **"QUICK"** ボタンを押すと、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

メ モ

カードが装着されていない場合は、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

4. ポップアップウィンドウ内の **"OK"** ボタンを押します。再度確認のためのポップアップウィンドウが表示されます。

5. ポップアップウィンドウ内の **"OK"** ボタンを押します。

   フォーマット中は、以下のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

フォーマットが完了すると、自動的にホーム画面に戻ります。

マスタークロックを設定する

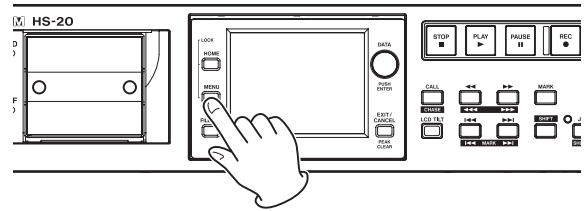
1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **"SYNC"** ボタンを押して、**"SYNC T/C"** 画面を表示します。

メ モ

"MENU" 画面の "**SYNC T/C"** ボタンを押すことでも **"SYNC T/C"** 画面を表示することが出来ます。

3. **"MASTER"** 項目の中から使用するマスタークロックを選択します。（→ 83 ページ「シンク、タイムコード設定 (SYNC T/C)」）

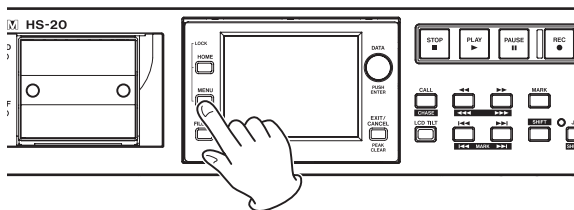
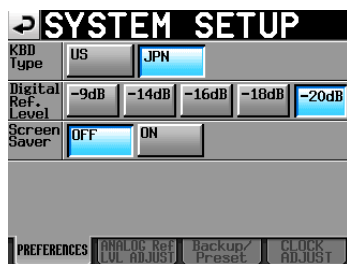
入出力を設定する

入力の設定

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**"MENU"** 画面を表示します。

2. **"AUDIO I/O"** ボタンを押して、**"AUDIO I/O"** 画面を表示します。

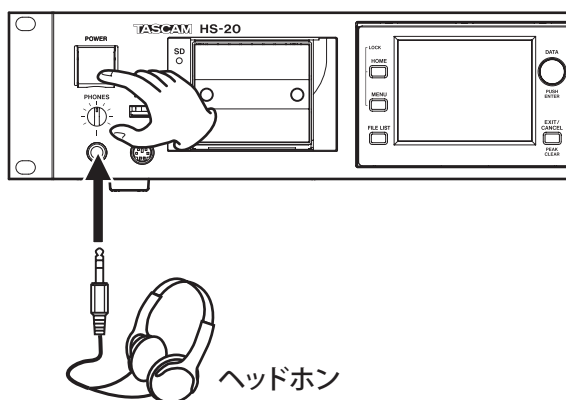
"INPUT" タブ画面では、入力ソースの設定を行います。詳しくは、92 ページ「INPUTタブ画面」をご参照ください。

基準レベルの設定

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**"MENU"** 画面を表示します。

2. **"SYSTEM SETUP"** ボタンを押して、**"SYSTEM SETUP"** 画面を表示します。

"PREFERENCES" タブ画面では、デジタル基準レベル(**"Digital Ref. Level"**)の設定を行います。
（このほかに、キーボードタイプの設定も選択できます。）
詳しくは、93 ページ「PREFERENCESタブ画面」をご参照ください。

ヘッドホンの接続

ヘッドホンをフロントパネルの**PHONES**端子に接続します。
このとき**PHONES**つまみは、まだ最小(左いっぱい)にしておいてください。

注 意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

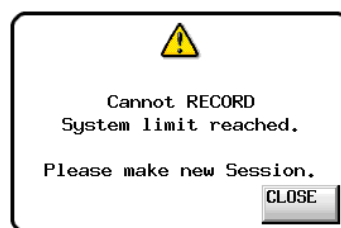
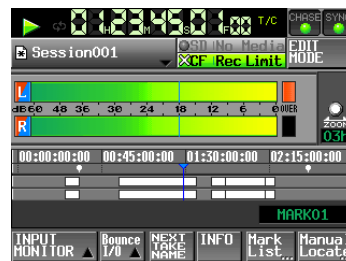
録音動作での制約事項

本機の特性として、一つのフォルダー内のファイル、フォルダーなどの総数が多くなるとそのフォルダーでの録音に制約が発生します。このため、以下のようなことが発生することがあります。

- **一つのフォルダー内のファイル、フォルダーなどの総数が約20,000を超えた場合**

  停止状態から新規テイクの録音ができない場合があります。また、フォルダーをロードした際に、そのフォルダーへ録音できない場合があります。これらのとき、以下のポップアップメッセージが表示されます。

- **タイムラインモードで録音 / 編集を繰り返し、作業メモリの空き容量が不足した場合**

  録音/編集を繰り返すことでリージョンや編集履歴を管理するための作業メモリの空き容量が不足することがあります。この場合、録音が出来なくなり、以下のポップアップメッセージが表示されます。

また、この時にはホーム画面の現在選択されているカードの録音可能残り時間表示部に **"Rec Limit"** と表示されます。

注 意

一つのフォルダー内のファイル、フォルダーなどの総数には、本機外で作成されたファイルやフォルダーも含まれます。
また、管理ファイルやシステムファイルなどの通常見えないファイルやフォルダーも含みます。

フォルダー構成について

本機は、オーディオフォルダーの中で、オーディオファイルを管理します。
SDカード / CFカードの中には"HS Files"フォルダー、"HS Files"フォルダーの中にはテイクをまとめるための、オーディオフォルダー群、オーディオフォルダーの中にテイクと呼ばれるオーディオファイル群があります。

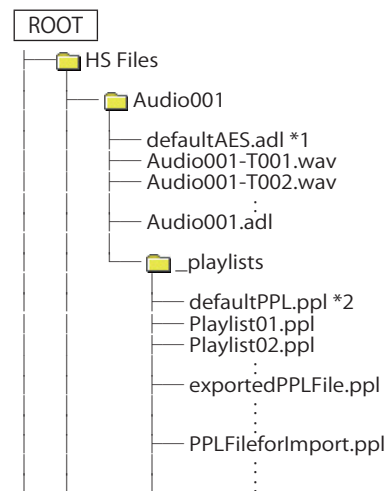
フォルダー構成

フォルダー構成は、下図のようになっています。
SDカードやCFカードをパソコンのカードリーダーなどを使ってアクセスするとフォルダーやファイルの構成を確認することが可能です。
ただし、フォルダー内のファイルの変更や削除をしたり、名前を変更すると本機からそのフォルダーを再生することができなくなる場合があります。ご注意ください。

メ モ

これら以外にも管理用のファイルやフォルダーが作成されます。

ファイル名

ファイルの命名規則は、以下の通りです。
[テイク名前半]-[アルファベット部][テイク番号].wav

*1：自動作成されたAES31ファイル
*2：自動作成されたPPLファイル

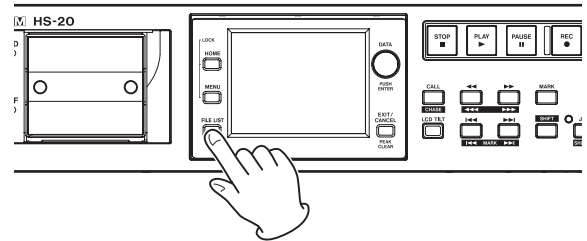
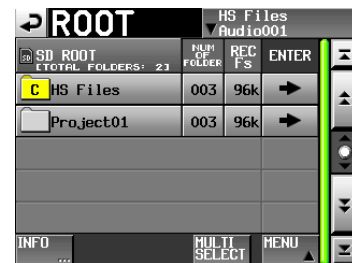
ファイルフォーマットについて

本機で記録再生できるファイルフォーマットは、以下の通りです。

ファイルフォーマット　: BWF / WAV ∗1
サンプリング周波数　: 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz
量子化ビット数　: 16 / 24ビット
トラック数　: 2トラック

*1　WAVファイルの記録は、本機では行えません。
（再生のみ可能です）

FILE LIST画面について

フロントパネルの**FILE LIST**キーを押すと、オペレーションモードに従いAES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。
これらの画面を表示中に**FILE LIST**キーを押すと、オーディオフォルダー選択画面に切り換わります。
オーディオフォルダー選択画面を表示中に**FILE LISTキー**を押すと、**”ルート内のフォルダー選択”** 画面に切り換わります。

ルート内のフォルダー選択画面

- **ディレクトリー 表示**
  現在のディレクトリー階層およびルート内のフォルダー数を表示します。
  （上図の例は、SDカードのルートディレクトリー、ルート内のフォルダー数は2個）

- **NUM OF FOLDER 表示**
  ルート内の各フォルダーに含まれるフォルダー数を表示します。

- **Fs 表示**
  各フォルダーの録音時のサンプリング周波数の設定値を表示します。以下のサンプリング周波数については、省略表示されます。

サンプリング周波数	Fs 省略表記
44.1kHz	44k
47.952kHz（48kHz−0.1% pull-down）∗1	48k−
48.048kHz（48kHz+0.1% pull-up）∗2	48k＋
88.2kHz	88k
176.4kHz	176k

*1、*2　47.952kHz / 48.048kHzでの録音/再生には未対応です。ロードすると **“Unsupported Fs.”** とポップアップ表示され、録音/再生できません。

- **ENTER ボタン**
  カレントフォルダー（ **“C”** アイコンに **“C”** が表示され、黄色くハイライト表示されたフォルダー ）の **“→”** ボタンを押すと、そのフォルダーの中身を表示します。
  カレントフォルダー以外のフォルダーの **“→”** ボタンを押すと、そのフォルダーをロードするかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。**“OK”** ボタンを押すと、ロード完了後にそのフォルダーの中身を表示します。

- **フォルダー名 ボタン**
  該当するフォルダーを選択します。現在ロードされているフォルダーには黄色くハイライト表示された **“C”** アイコンの中に **“C”** と表示されます。

- **INFO ボタン**
  フォルダーを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたフォルダーの情報をポップアップウィンドウに表示します。
  フォルダーを選択していない状態でこのボタンを押すと、選択されたカード全体の情報を表示します。
- **MULTI SELECT ボタン**
  フォルダーを複数選択できるモードにします。
- **MENU ボタン**
  "LOAD"、**"REBUILD"**、**"EDIT NAME"**、**"DELETE"** を選択するプルアップメニュー項目を表示します。
- **スクロール ボタン**
  フォルダーリストの先頭、末尾、1ページ(5行)ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルを使っても、1行ずつフォルダーリストをスクロールすることができます。
- **画面右上のフォルダー名表示**
  この部分を押すと、モードにより以下の画面を表示します。
  タイムラインモード　: カレントフォルダーのAES31ファイル選択画面が表示されます。
  テイクモード　: カレントフォルダーのテイク選択画面が表示されます。
  プレイリストモード　: カレントフォルダーのプレイリスト選択画面が表示されます。

フォルダー選択画面

- **フォルダー 表示**
  現在のフォルダーを表示します。
  この部分を押すと**"ルート内のフォルダー選択"**画面を表示します。
- **NUM OF TAKE 表示 (タイムラインモード、テイクモード)**
  フォルダーに含まれるテイク数を表示します。
- **TOTAL TIME 表示 (タイムラインモード、テイクモード)**
  フォルダーに含まれるテイクの合計時間を表示します。
- **NUM OF PLAYLISTS 表示 (プレイリストモード)**
  フォルダーに含まれるプレイリストの数を表示します。
- **ENTER ボタン**
  カレントフォルダー（ **"C"** アイコンに **"C"** が表示され、黄色くハイライト表示されたフォルダー）の **"→"** ボタンを押すと、そのフォルダーの中身を表示します。
  カレント以外のフォルダーの **"→"** ボタンを押すと、そのフォルダーをロードするかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。**"OK"** ボタンを押すと、そのフォルダーの中身を表示します。
- **フォルダー名 ボタン**
  該当するフォルダーを選択します。現在ロードされているフォルダーには黄色くハイライト表示された **"C"** アイコンの中に **"C"** と表示されます。
- **INFO ボタン**
  フォルダーを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたフォルダーの情報をポップアップウィンドウに表示します。
  フォルダーを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在の選択されているルート内のフォルダーについての情報を表示します。
- **NEW FOLDER ボタン**
  新規フォルダーを作成する画面を表示します。
- **MULTI SELECT ボタン**
  フォルダーを複数選択できるモードにします。
- **MENU ボタン**
  "LOAD"、**"REBUILD"**、**"EXPORT"**、**"DELETE"** を選択するプルアップメニュー項目を表示します。
- **スクロール ボタン**
  フォルダーリストの先頭、末尾、1ページ(5行)ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルを使っても、1行ずつフォルダーリストをスクロールすることができます。
- **画面右上のフォルダー名表示**
  この部分を押すと、モードにより以下の画面を表示します。
  タイムラインモード　: カレントフォルダーのAES31ファイル選択画面が表示されます。
  テイクモード　: カレントフォルダーのテイク選択画面が表示されます。
  プレイリストモード　: カレントフォルダーのプレイリスト選択画面が表示されます。

AES31ファイル選択画面

AES31ファイル選択画面はオペレーションモードがタイムラインモードのときのみ表示されます。

- **フォルダー名 表示**
  現在のフォルダー名を表示します。
  この部分を押すとフォルダー選択画面を表示します。
- **LOAD 表示**
  該当するAES31ファイル(AES31編集情報のファイル)の **"→"** ボタンを押すと、そのAES31ファイルの編集情報を取り込みます。
- **AES31ファイル名 ボタン**
  該当するAES31ファイルを選択します。
- **INFO ボタン**
  AES31ファイルを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたファイルの情報をポップアップウィンドウに表示します。
  AES31ファイルを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のフォルダーについての情報を表示します。
- **CREATE AES31 ボタン**
  新規AES31ファイルを作成する画面を表示します。
- **MENU ボタン**
  "LOAD"、**"EDIT NAME"**、**"DELETE"** を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

テイク選択画面

テイク選択画面はオペレーションモードがテイクモードのときのみ表示されます。

- **フォルダー名 表示**
  現在のフォルダー名を表示します。
  この部分を押すとフォルダー選択画面を表示します。
  ただし、ホーム画面でテイク名表示ボタンのプルダウンメニューから **"TAKE LIST"** ボタンを押して表示されたテイク選択画面では、フォルダー選択画面は表示されません。

- **LENGTH 表示**
  テイクの長さ（時間）を表示します。

- **ENTER 表示**
  該当するテイクの**"→"**ボタンを押すと、そのテイクをロードします。

- **テイク名 ボタン**
  該当するテイクを選択します。
  現在ロードされているテイクには黄色にハイライト表示された " " アイコンの中にカレントを表す **"C"** が表示されます。

- **INFO ボタン**
  テイクを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたテイクの情報をポップアップウィンドウに表示します。
  テイクを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のフォルダーについての情報を表示します。

- **CIRCLE @ TAKE ボタン**
  テイクを選択した状態でこのボタンを押すと、そのテイクの名前の先頭に **"@"** を付加 / 削除します。

- **MULTI SELECT ボタン**
  テイクを複数選択できるモードにします。

- **MENU ボタン**
  "LOAD"、**"REBUILD"**、**"EDIT TC"**、**"EXPORT"**、**"DELETE"**、**"SORT"**、**"MOVE"**、**"EDIT NAME"** を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

- **スクロール ボタン**
  テイクリストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルを使っても、1行ずつテイクリストをスクロールすることができます。

プレイリスト選択画面

プレイリスト選択画面はオペレーションモードがプレイリストモードのときのみ表示できます。

- **フォルダー名 表示**
  現在のフォルダー名を表示します。
  この部分を押すとフォルダー選択画面を表示します。

- **LOAD 表示**
  "→" ボタンを押すと、ロードを行うための確認ポップアップを表示します。

- **プレイリスト名 ボタン**
  該当するプレイリストを選択します。
  現在ロードされているプレイリストの " " アイコンが黄色にハイライト表示され、その中にカレントを表す **"C"** が表示されます。

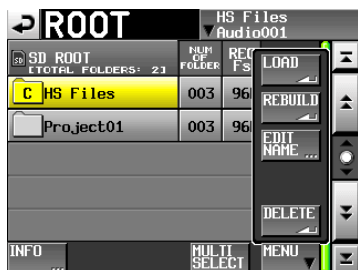
- **INFO ボタン**
  プレイリストを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたプレイリストの情報をポップアップウィンドウに表示します。
  プレイリストを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のフォルダーについての情報を表示します。

- **CREATE PLAYLIST ボタン**
  新規プレイリストを作成する画面を表示します。

- **MENU ボタン**
  "LOAD"、**"EDIT NAME"**、**"DELETE"** を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

- **スクロール ボタン**
  プレイリストのリストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルを使っても1行ずつテイクリストをスクロールすることができます。

ルート内のフォルダー名を編集する

1. **"ルート内のフォルダー選択"** 画面で、名前を編集したいフォルダーを選択します。選択されたフォルダー名の背景が黄色くなります。
2. **"ルート内のフォルダー選択"** 画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

3. プルアップメニュー項目内の **"EDIT NAME"** ボタンを押して、**"FOLDER NAME"** 画面を表示します。

メモ

複数のフォルダーを選択している場合は、プルアップメニュー項目内の "EDIT NAME" ボタン(フォルダー名の編集)は選択できません。

注意

"FOLDER NAME" 画面などの名前入力画面には、英数字および記号以外の文字は表示されません。
英数字および記号以外の文字が名前に含まれていた場合は、**"FOLDER NAME"** 画面などの名前入力画面を表示する際、これらの文字が除去されます。

■ Date ボタン

このボタンを押すと、フォルダー名が **"yyyy-mm-dd"** 形式の本体内蔵時計の日付に置換されます。

同じフォルダー名があるときは、"_"(アンダースコア)に加えてその時点で、存在しない番号が付加されます。

メモ

"Date" ボタンを押して名前を日付に置換した後も、この画面での名前の編集は行えます。

■ フォルダー名表示エリア

入力したフォルダー名を表示します。

最大文字数以内の背景が黄色く表示されます。

■ キャラクター ボタン

フォルダー名を入力します。

■ BS ボタン

カーソルの手前の文字を削除します。

■ DEL ボタン

カーソルの後ろの文字を削除します。

■ Shift ボタン

数字 / 記号ボタンのキャラクターを切り換え、英字の大文字 / 小文字を切り換えます。

■ Caps ボタン

英字を大文字にします。

■ Space ボタン

スペースを挿入します。

■ <−/−> ボタン

カーソルを移動します。

■ Enter ボタン

入力を確定します。

メモ

"FOLDER NAME" 画面を表示しているときは、外付けキーボードを使用して名前を入力することができます。

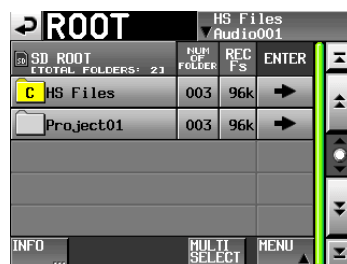
4. **"FOLDER NAME"** 画面の **"Enter"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押して、フォルダー名を確定します。

入力文字数制限について

フォルダー名表示エリアでは、最大文字数以内の背景が黄色く表示されます。最大文字数を超えた部分の背景は灰色で表示され、**"Enter"** ボタンを押すと切り捨てられます。

ルート内のフォルダーをロードする

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。

   その後2回、**FILE LIST**キーを押して、**"ルート内のフォルダー選択"** 画面に切り換えます。

2. ロードしたいルート内のフォルダーを選択します。
3. **"ルート内のフォルダー選択"** 画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。
4. プルアップメニュー項目内の **"LOAD"** ボタンを押します。

メモ

複数のフォルダーを選択している場合は、**"LOAD"** (フォルダーのロード)は選択できません。

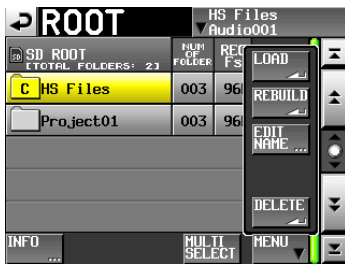
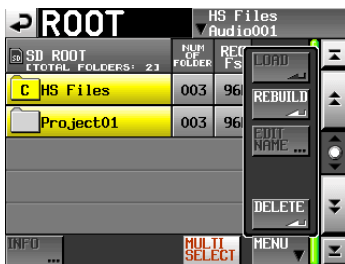
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

   ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

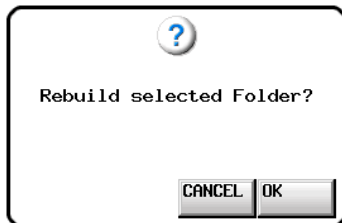
ルート内のフォルダーを再構築する

FTPにより本機のファイルを削除した際など、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じた場合には、リビルド(再構成)を実施します。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。その後2回、**FILE LIST**キーを押して、**"ルート内のフォルダー選択"**画面に切り換えます。
2. 再構築したいフォルダーを選択します。

   "ルート内のフォルダー選択" 画面の **"MULTI SELECT"** ボタンを押して、複数のフォルダーを選択することもできます。
3. **"ルート内のフォルダー選択"** 画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[一つのフォルダーを選択した場合]

[複数のフォルダーを選択した場合]

4. プルアップメニュー項目内の **"REBUILD"** ボタンを押します。
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

再構築中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。再構築が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

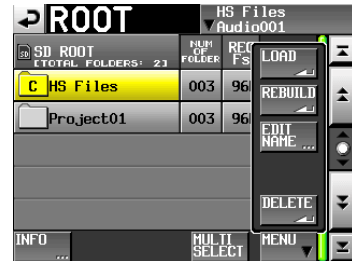
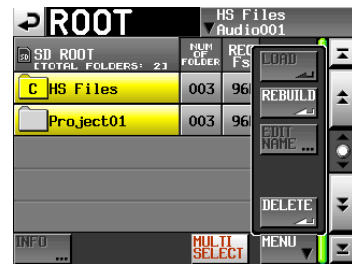
メ モ

"ルート内のフォルダー選択" 画面において、何も選択しない状態で再構築を実行すると、選択されたカード全体を再構築します。

ルート内のフォルダーを削除する

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。

   その後2回、**FILE LIST**キーを押して、**"ルート内のフォルダー選択"**画面に切り換えます。
2. 削除したいフォルダーを選択します。

   "ルート内のフォルダー選択画面" 画面の **"MULTI SELECT"** ボタンを押して、複数のフォルダーを選択することもできます。
3. **"ルート内のフォルダー選択"** 画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[一つのフォルダーを選択した場合]

[複数のフォルダーを選択した場合]

4. プルアップメニュー項目内の **"DELETE"** ボタンを押します。
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

注 意

ルート内のフォルダーを削除すると、フォルダーに含まれる全てのフォルダー、タイムラインデータ、テイク、およびプレイリストも削除されます。

フォルダーの操作

新規フォルダーを作成する

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。

2. **"NEW FOLDER"** ボタンを押してフォルダー名を入力する **"FOLDER NAME"** 画面を表示します。

   フォルダー名を入力します。

   入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」を参照してください。

注 意

- フォルダー名は、後から変更することはできません。
- フォルダー名の先頭に "@" は使えません。

3. **"FOLDER NAME"** 画面の **"Enter"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

4. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、入力された名前で新規フォルダーを作成します。

メ モ

- すでに入力した名前のフォルダーが存在するときは、**"This name already exists"** とポップアップウィンドウが表示されます。**"CLOSE"** ボタンを押して **"FOLDER NAME"** 画面に戻り、別の名前を入力してください。
- 新規フォルダー作成直後は、作成したフォルダーがカレントフォルダー（現在ロード中のフォルダー）になります。

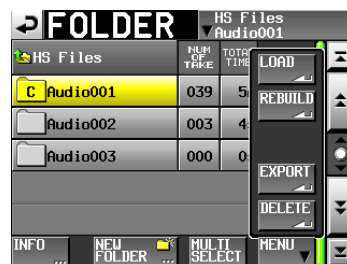
  カレントフォルダーは、フォルダー選択画面にて、フォルダー名の左にある "C" アイコンが黄色にハイライト表示され、その中に **"C"** が表示されます。

フォルダーをロードする

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。

2. ロードしたいフォルダーを含むフォルダーの **"→"** ボタンを押します。

3. ロードしたいフォルダーを選択します。

4. フォルダー選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

5. プルアップメニュー項目内の **"LOAD"** ボタンを押します。

6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

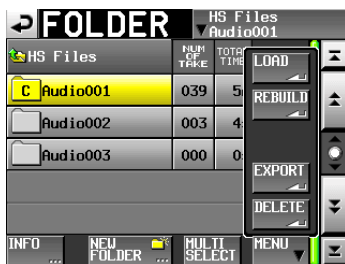
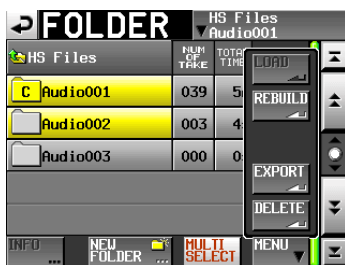
メ モ

カレントフォルダー（現在ロード中のフォルダー）は、フォルダー選択画面にて、フォルダー名の左にある "C" アイコンが黄色にハイライト表示され、その中に **"C"** が表示されます。

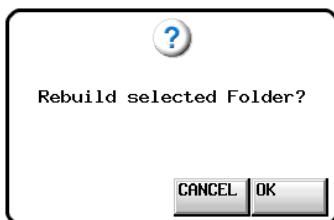
フォルダーを再構築する

FTPにより本機のファイルを削除した際など、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じた場合には、リビルド(再構成)を実施します。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。
2. 再構築したいフォルダーを選択します。

   "MULTI SELECT" ボタンを押して、複数のフォルダーを選択することもできます。
3. フォルダー選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[一つのフォルダーを選択した場合]

[複数のフォルダーを選択した場合]

4. プルアップメニュー項目内の **"REBUILD"** ボタンを押します。
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

再構築中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。
再構築が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

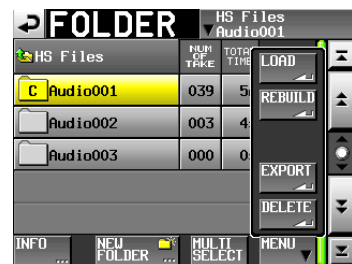
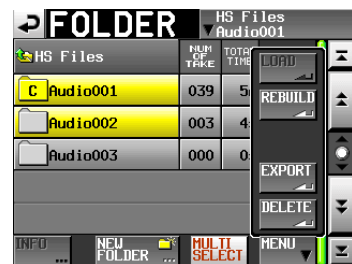
メモ

再構築したいフォルダーのテイク選択画面でも、フォルダーを再構築することができます。

フォルダーをエクスポートする

エクスポートは、選択されているメディアから選択されていないメディアに行います（メディアが2個必要です）。フォルダーのエクスポートをすると、エクスポート先にも同じディレクトリー構造を作ります。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。
2. エクスポートしたいフォルダーを選択します。

   "MULTI SELECT" ボタンを押して、複数のフォルダーを選択することもできます。
3. フォルダー選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[一つのフォルダーを選択した場合]

[複数のフォルダーを選択した場合]

4. プルアップメニュー項目内の **"EXPORT"** ボタンを押します。
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

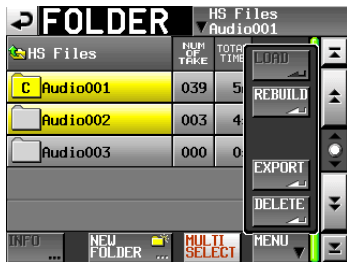
エクスポート中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。
エクスポートが完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

注意

エクスポート先のメディアに同名のフォルダーがあった場合は、確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。
"OK" ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、エクスポート先のフォルダーを削除したうえでフォルダーをエクスポートします。

フォルダーを削除する

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面、テイク選択、プレイリスト選択画面のいずれかの画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。
2. 削除したいフォルダーを含むフォルダーをの **"→"** ボタンを押します。
3. 削除したいフォルダーを選択します。

   "MULTI SELECT" ボタンを押して、複数のフォルダーを選択することもできます。
4. フォルダー選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[一つのフォルダーを選択した場合]

[複数のフォルダーを選択した場合]

5. プルアップメニュー項目内の **"DELETE"** ボタンを押します。
6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。削除を完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

注 意

フォルダーを削除すると、フォルダーに含まれる全てのタイムラインデータ、テイク、およびプレイリストも削除されます。

FILE LIST 画面の遷移

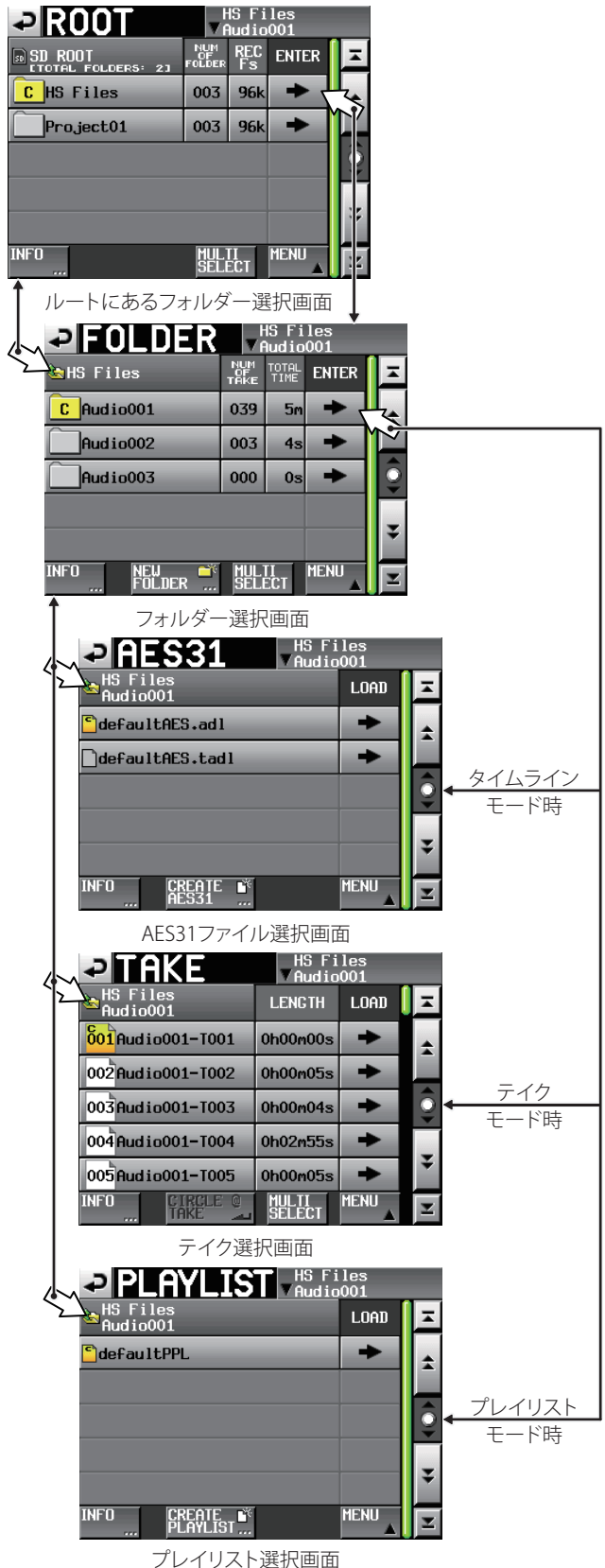
各FILE LIST 画面(ルート内のフォルダー選択画面、フォルダー選択画面、AES31ファイル選択画面、テイク選択画面、プレイリスト選択画面)の **"ENTER"** ボタン、およびフォルダー名表示ボタンを押したときの画面の遷移は以下のようになります。

ルートにあるフォルダー選択画面

フォルダー選択画面

AES31ファイル選択画面

テイク選択画面

プレイリスト選択画面

本機には以下の三つのオペレーション（動作）モードがあります。

● **タイムラインモード**

テープのような時間軸ベースの作業環境(タイムライン)を提供します。タイムラインモードでは、2トラックの録音、再生とマーク編集に対応しています。

● **テイクモード**

テイク(ファイル)を記録再生単位とします。

2トラックの録音、最大2トラックの再生とマーク編集に対応しています。

● **プレイリストモード**

プレイリスト再生機能を提供します。

最大2トラックのプレイリスト再生に対応しています。

タイムラインモードでの機能

タイムラインモードで使用できる機能は以下の通りです。

- 対応する全Fsでの2チャンネル同時録音 / 再生
- デュアルスロットを活用したミラー録音機能
- タイムコード同期録音 / 再生
  (オプションのSY-2ボードが必要です)
- タイムラインの指定区間を一つのファイルに書き出すバウンス機能
- マークの設定 / 管理 / 編集 / 再生
- AES31フォーマットに対応し、外部とのデータ交換を実現

メモ

Fsが176.4kHz、192kHzの場合、AES31フォーマットがこれらのFsに未対応のため、AES31フォーマットベースのオリジナルフォーマットで編集情報を保存/作成します。

タイムラインモードでは、再生単位をリージョンと呼び、ホーム画面のトラック表示エリアに範囲表示します。

テイクモードでの機能

テイクモードで使用できる機能は以下の通りです。

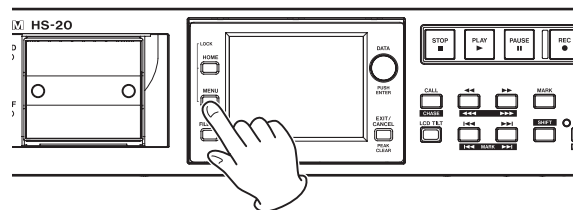
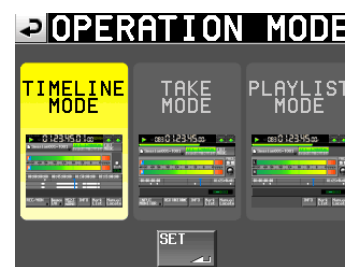
- 対応する全Fsでの2チャンネル同時録音 / 再生
- オートキュー、オートレディ、インクリメンタルプレイ
- 別売の専用リモートコントローラー (TASCAM RC-HS20PD)などを用いたポン出し再生（20キー ×5ページ）
- マークの設定 / 管理 / 編集 / 再生
- タイマーイベントリストによる、自動再生、自動録音、ファイル転送

プレイリストモードでの機能

プレイリストモードで使用できる機能は以下の通りです。

- プレイリスト編集 / 管理
- オートキュー、オートレディ、インクリメンタルプレイ
- JPPAポン出し規格に対応し、外部とのプレイリスト交換を実現
- 対応する全Fsでの2チャンネルファイルの再生
- リモートコントローラー「TASCAM RC-HS20PD」などを用いたポン出し再生(20キー ×5ページ)

オペレーションモードを選択する

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**“MENU”** 画面を表示します。

2. **“OPERATION MODE”** ボタンを押して、**“OPERATION MODE”** 画面を表示します。

3. 使用するモードのボタンを押して、選択します。
   選択されたモードのボタンの背景が黄色になります。

   TIMELINE MODE
   タイムラインモード

   TAKE MODE
   テイクモード

   PLAYLIST MODE
   プレイリストモード

4. **“SET”** ボタンを押すと、選択したモードに切り換わり、ホーム画面が表示されます。

この章では、タイムラインモードでの操作方法を説明します。本機をタイムラインモードで動作させるには、本機のオペレーションモードを「タイムラインモード」に設定してください。（ → 37 ページ「オペレーションモードを選択する」）
また、「第 4 章 基本操作」もあわせてお読みください。

録音の準備をする

基本的な準備

25 ページ「第4章　基本操作」を参考に、基本となる準備を行ってください。

新規フォルダーの作成

必要に応じ、新しいフォルダーを作成します。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。

2. **“NEW FOLDER”** ボタンを押して、**“FOLDER NAME**” 画面を表示します。

フォルダー名入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

メ モ

フォルダー名の先頭に"@"は使えません。

4. **“Enter”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

7. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

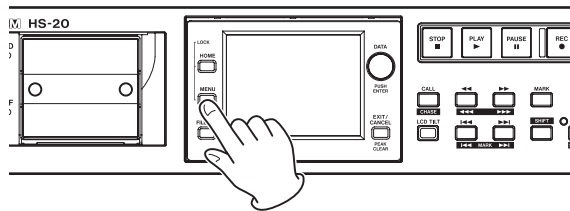
ホーム画面に戻ります。

フォルダーの操作の詳細は、34 ページ「フォルダーの操作」を参照してください。

メ モ

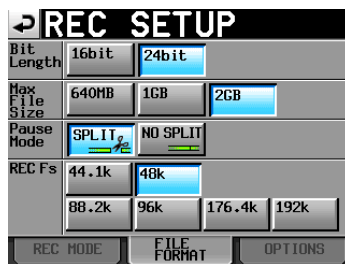
現在と異なる録音サンプリング周波数のタイムラインで、録音したい場合は、42 ページ「新規AES31編集情報を作成する」の手順に従い、希望するサンプリング周波数のAES31編集情報ファイルを作成してください。

録音モードの設定

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**“MENU”** 画面を表示します。

2. **“REC SETUP”** ボタンを押して、**“REC SETUP”** 画面を表示します。

“REC MODE” タブ画面では、録音モードを設定します。選択した項目の背景が薄青色になります。詳しくは78 ページ「REC MODEタブ画面」をご参照ください。

ファイルフォーマットの設定

“REC SETUP” 画面で **“FILE FORMAT” タブ**を押すと、以下の画面を表示します。

“FILE FORMAT” タブ画面では、量子化ビット数、最大ファイルサイズ、録音中に録音待機状態としたときの処理方法、録音時のサンプリング周波数を設定します。選択した項目の背景が薄青色になります。
詳しくは、81 ページ「FILE FORMATタブ画面」をご参照ください。

メ モ

タイムラインモードではこの画面で録音時のサンプリング周波数を切り換えることはできません。
現在と異なる録音サンプリング周波数のタイムラインで録音したい場合は、42 ページ「新規AES31編集情報を作成する」の手順に従い、希望するサンプリング周波数のAES31編集情報ファイルを作成してください。

その他の録音設定

“REC SETUP” 画面で **“OPTIONS” タブ**を押すと、以下の画面を表示します。

“OPTIONS” タブ画面では、プリレックタイム、オートマーカーの設定を行います。詳しくは、81 ページ「OPTIONSタブ画面」をご参照ください。

録音する

録音開始位置へのロケート

◀◀ [◀◀◀] / ▶▶ [▶▶▶] キーの操作やマークジャンプ、マニュアルロケート機能を用いて、録音を開始したい時刻へロケートします。

タイムコード同期運転がオンのときは、入力されているタイムコードの時刻に録音をしますので上記ロケート操作は不要です。

録音

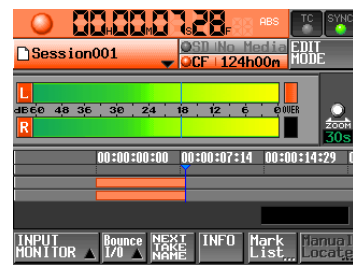
本機が停止状態のときに、**REC**キーを押すと、録音待機状態になります。このときトランスポートステータス表示が “●❚❚” アイコンになります。

録音待機状態で**PLAY**キーを押すと、ロケートしているポイント（カレントポイント）より録音を開始します。タイムコード同期運転時は、**PLAY**キーを押した（録音を開始した）時の入力タイムコードの時刻から録音を開始します。

ホーム画面において、画面左上のトランスポートステータス表示が録音表示に変わり、一部の背景が赤くなり、録音中であることを表示します。タイムカウンターも同時にスタートします。

タイムライン先頭からの経過時間（ABS時間）が23 : 59 : 59 : MM（MMは最大フレーム）に達すると **“RECORD stopped. ABS time is over 24h”** のメッセージがポップアップウィンドウに表示され、録音が停止します。

メモ

停止状態のときに、**REC**キーを押しながら **PLAY**キーを押しても録音を開始します。

オーバーライト録音

再生中に**REC**キーを押しながら**PLAY**キーを押すと、その時点から瞬時に録音を開始します。

メモ

パラレルコントロールから録音を制御することも可能です。

注意

録音待機状態のとき、パラレルコントロールのTALLY_RECORDはハイ、TALLY_PAUSEはローを出力します。

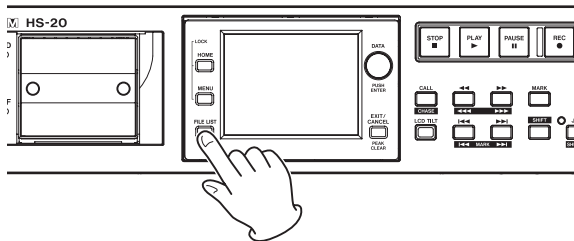
本体フロントパネルは、**REC**キーと**PAUSE**キーが点灯します。

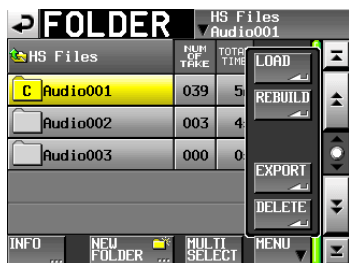
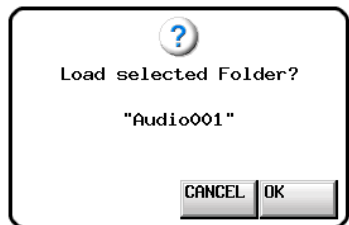
録音の停止

録音を終了するには、**STOP キー**を押します。

再生する

フォルダーの選択

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。

2. 再生したいフォルダー名ボタンを押して選択状態にします。

3. **"MENU"** ボタンを押してプルアップメニューを表示し、**"LOAD"** ボタンを押します。

ポップアップウィンドウに **"Load selected Folder?"** が表示されます。

4. **"OK"** ボタンを押します。
   ロードが完了すると、ホーム画面に戻ります。

インプットモニターの設定

再生する際は、インプットモニターをオフに設定してください。インプットモニターがオンになっている場合は、音声入力端子からの音声が本機の全ての音声出力端子から出力されます。

1. ホーム画面の **"INPUT MONITOR"** ボタンを押して、インプットモニターの **"ON/OFF"** ボタンをプルアップ表示します。

2. インプットモニターがオン(**"ON"** ボタンが青く点灯)になっているときは、**"OFF"** ボタンを押して、オフ(**"OFF"** ボタンが青く点灯)にします。

再生開始位置へのロケート

◀◀ [◀◀◀] / ▶▶ [▶▶▶] キーの操作やマークジャンプ、マニュアルロケート機能を用いて、再生を開始したい時刻へロケートします。タイムコード同期運転がオンのときは、入力されているタイムコードの時刻に同期して再生しますので上記ロケート操作は不要です。

再生

PLAYキーを押します。

PAUSEキーを押すと、再生待機状態になります。
再生待機状態を解除するには、**PLAY**キーを押します。

STOP キーを押すと、停止します。
⏮ [MARK⏮] キーまたは **⏭ [MARK⏭]** キーを押すと、リージョンの先頭にスキップします。

◀◀ [◀◀◀] / ▶▶ [▶▶▶] キーを押している間は、早戻し / 早送り再生をします。

SHIFTキーを押しながら、**⏮ [MARK⏮]** キーまたは **⏭ [MARK⏭]** キーを押すと、マークポイントを移動します。

SHIFTキーを押しながら、**◀◀ [◀◀◀]** キーまたは **▶▶ [▶▶▶]** キーを押している間は、高速サーチをします。

STOPキーを押しながら **⏮ [MARK⏮]** キーまたは **⏭ [MARK⏭]** キーを押すと、録音されている最初のリージョンの先頭、または最後のリージョンの末尾にスキップします。(フロントパネルのキーでのみ操作可能)

メモ

PARALLEL端子から再生を制御することも可能です。

コール

CALL [CHASE] キーを押すと、最後に再生待機状態から再生を開始したポイント(コールポイント)にロケートし、再生待機状態となります。

AES31編集情報の読み出し / 保存 / 作成

AES31編集情報をロードする

カレントフォルダーに置いてあるAES31編集情報をタイムラインにロードします。

パソコンでカードを見たときのディレクトリーは以下のようになります。

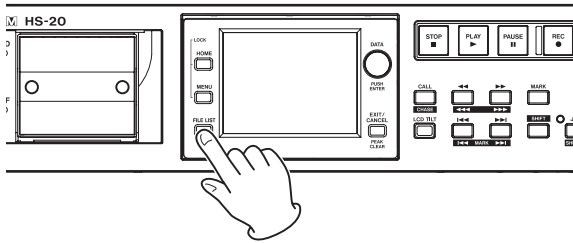
{カードのドライブ名} : ¥ {HS Files} ¥ {フォルダー名} ¥ {AES31編集情報}

メ モ

カレントフォルダー以外のフォルダーにあるAES31編集情報のファイルはロードすることができません。

メ モ

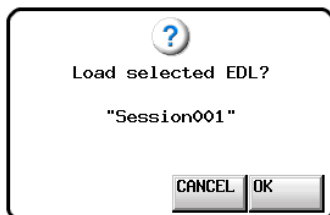
Fsが176.4kHz、192kHzの場合、AES31フォーマットがこれらのFsに未対応のため、AES31フォーマットベースのオリジナルフォーマットで編集情報を保存/作成します。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面を表示します。

2. フォルダー内にAES31編集ファイルが見つかると、リストに表示します。

ヒント

- ファイルの名前部分を押してファイルを選択した後、**“INFO”** ボタンを押すと、そのファイルの更新日時とファイルサイズを表示します。
- 現在ロードされているAES31ファイルの “ ” アイコンの中にカレントを表す **“C”** が表示されます。

4. ロードしたいAES31編集情報ファイルの **“→”** ボタンを押します。

5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA** ダイヤルを押します。

AES31編集情報のロード中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。

ロードが完了するとポップアップウィンドウが消え、**HOME** 画面に切り換わります。

タイムラインはロードした内容に置き換わります。

AES31編集情報をセーブする

現在のタイムラインをAES31ファイルにセーブします。セーブしたファイルは、カレントフォルダーに作成されます。

注 意

タイムラインの編集を行った場合は、必要に応じAES31編集情報をセーブしてください。セーブ(**“SAVE”**)を行わない場合、他のAES31編集情報をロードしたり、カードを抜いたり、本機の電源を切るなどすると、変更した内容はクリアされます。

編集後にセーブを行っていない場合、AES31ファイル名表示ボタンの部分に **“*”** が表示されます。

また、**“*”** を表示をしている状態で、他のAES31編集情報をロードしたり、新規AES31編集情報を作成したり、オペレーションモードを切り換えるなどの操作を行った場合、作業中のAES31編集情報をセーブするかどうかのポップアップメッセージを表示します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. ホーム画面のAES31ファイル名表示ボタンを押してプルダウンメニューを表示します。

3. プルダウンメニュー項目の **“SAVE”** ボタンを押すと選択されているカードにセーブされます。

セーブ中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。

セーブが完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

AES31編集情報を名前を付けて保存する

現在のタイムラインを名前をつけて、AES31ファイルに保存します。保存したファイルは、カレントフォルダーに作成されます。

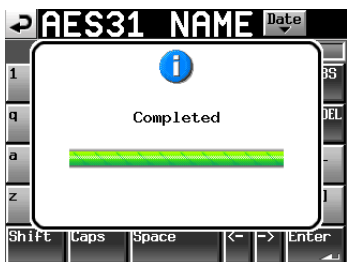
1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ホーム画面のAES31ファイル名表示ボタンを押してプルダウンメニューを表示します。

3. プルダウンメニュー項目の **“SAVE AS”** ボタンを押して、AES31編集ファイル名を入力する **“AES31 NAME”** 画面を表示します。

ファイル名を入力します。入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

4. **“AES31 NAME”** 画面の **“Enter”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、入力された名前で保存を行います。

作成中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。

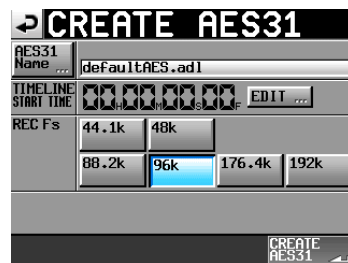
作成が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メ モ

すでにその名前のファイルが存在するときは、そのファイルに上書きするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。**“OK”** ボタンを押すとそのファイルを上書きし、**“CANCEL”** ボタンを押すと **“AES31 NAME”** 画面に戻ります。

新規AES31編集情報を作成する

カレントフォルダー (現在ロード中のフォルダー)に新規AES31ファイルを作成します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ホーム画面のAES31ファイル名表示ボタンを押してプルダウンメニューを表示します。

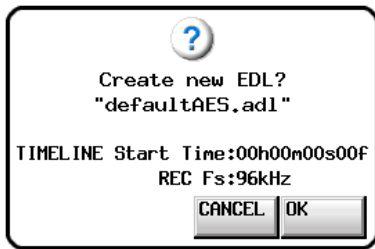
3. プルダウンメニュー項目の **“CREATE AES31”** ボタンを押して、**“CREATE AES31”** 画面を表示します。

メ モ

AES31ファイル選択画面の **“CREATE AES31 “** ボタンを押すことでも新規AES31ファイルを作成することができます。

4. **“AES31 NAME”** ボタンを押して、AES31編集ファイル名を編集する **“AES31 NAME”** 画面を表示します。

AES31編集ファイル名入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

5. **“Enter**” ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押して、**“CREATE AES31”** 画面に戻ります。
6. 必要に応じてタイムラインの開始時刻とサンプリング周波数を設定します。
7. 設定が完了したら、**“CREATE AES31”** ボタンを押します。

8. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、入力された名前で新規AES31編集情報ファイルを作成します。

メモ

すでに入力した名前のファイルが存在するときは、**"This name already exists"** とポップアップウィンドウが表示されます。**"CLOSE"** ボタンを押して **"CREATE AES31"** 画面に戻り、別の名前を入力してください。

全テイクをインポートする

メモ

各テイクは、テイクに設定されているタイムコード時刻のタイムライン上にインポートされます。タイムコード時刻が設定されていないテイクは[00 h 00 m 00 s 00 f]にインポートされます。

現在のタイムラインをクリアし、カレントフォルダーにあるタイムラインと同じサンプリング周波数の全テイクをAES31編集情報にインポートします。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ホーム画面のAES31ファイル名表示ボタンを押してプルダウンメニューを表示します。

3. プルダウンメニュー項目の **"IMPORT ALL TAKES"** ボタンを押します。
4. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されます。

"OK" ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、カレントタイムラインをクリアし、カレントフォルダーにある全テイクをインポートします。
"CANCEL" ボタンを押すと **"HOME"** 画面に戻ります。

AES31ファイル名を編集する

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面を表示します。

2. ファイル名を変更したいAES31ファイルを選択します。

   選択されたAES31ファイル名の背景が黄色くなります。

3. **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

4. プルアップメニュー項目の **"EDIT NAME"** ボタンを押して、AES31編集ファイル名を入力する **"AES31 NAME"** 画面を表示します。

   入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

メ モ

ロードされているAES31ファイルを選択している場合は、プルアップメニュー項目内の **"EDIT NAME"** ボタンは選択できません。

5. **"AES31 NAME"** 画面の **"Enter"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

メ モ

すでに入力した名前のファイルが存在するときは、**"This name already exists"** とポップアップウィンドウが表示されます。**"CLOSE"** ボタンを押して **"AES31 NAME"** 画面に戻り、別の名前を入力してください。

AES31ファイルを削除する

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、AES31ファイル選択画面を表示します。

2. 削除したいAES31ファイルを選択します。

   選択されたAES31ファイル名の背景が黄色くなります。

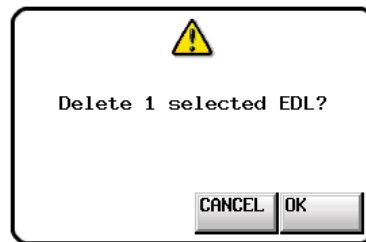
3. **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

4. プルアップメニュー項目内の **"DELETE"** ボタンを押します。

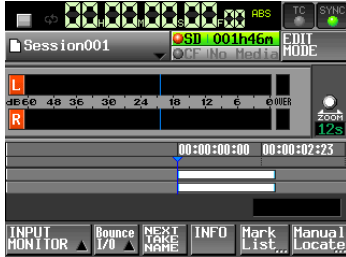
メ モ

ロードされているAES31ファイルを選択している場合は、プルアップメニュー項目内の **"DELETE"** ボタンは選択できません。

5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** または**DATA**ダイヤルを押します。

   削除が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

タイムラインの編集

リージョンのカット、消去、分割などを行うことができます。
編集の基本手順は以下のようになります。
各編集の詳細手順は各操作の説明を参照してください。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。

"EDIT MODE" ボタンが白背景に赤色のハイライト表示になり、**"REC / MON"** ボタン、**"BOUNCE I / O"** ボタン、**"NEXT TAKE NAME"** ボタンが表示されなくなり、代わりに **"EDIT"** ボタン、**"Fade/Level"** ボタン、**"SET/SELECT"** ボタンが表示されます。

3. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューには **"Copy"**、**"Cut"**、**"Erase"**、**"Divide"**、**"Insert"**、**"Insert File"**、**"Insert Mute"**、**"Paste"**、**"Paste File"** の9つの編集用ボタンと、取り消し / やり直しをする **"UNDO"**、**"REDO"** のボタンがあり、これらのボタンを押すことで編集などを行います。

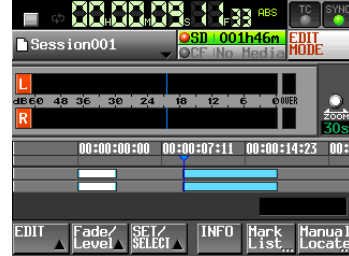
注 意

編集を行った後にAES31編集情報の保存(**"SAVE"**)を行わない場合、フォルダー / AES31編集情報をロードしたり、カードを抜いたり、本機の電源を切るなどすると、変更した内容はクリアされます。

メ モ

録音/編集を繰り返すことでリージョンや編集履歴を管理するための作業メモリの空き容量が不足し、編集できなくなることがあります。この場合、**"Cannot Edit. System limit reached."** とポップアップメッセージが表示されます。

コピー / カット / 消去の範囲を選択する

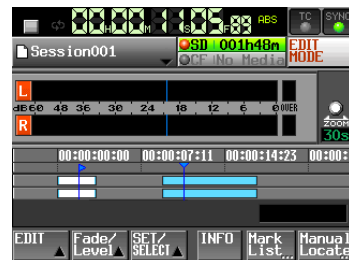
- 編集開始点と終了点を指定した場合は、開始点と終了点の範囲が選択されます。
- 編集開始点と終了点を指定していない場合は、タイムカーソル下のリージョン全体が選択されます。

[編集開始点と終了点を指定していない場合]

- タイムラインカーソルがリージョンの境界上にある場合には、右側のリージョンが編集対象となります。ただし、右側が無音部分の場合は未選択状態となります。

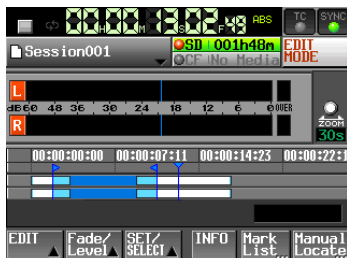
編集開始点を指定する

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。
3. **◀◀ / ▶▶** キーなどを使って、編集を開始する位置（時刻）にタイムラインカーソルをロケートします。
4. **"SET/SELECT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

5. プルアップメニュー項目の **"SET IN"** ボタンを押して編集開始点（IN点）を設定します。

現在の位置のマーク表示エリアにINマーク（ **""** ）が表示されます。

編集終了点を指定する

6. ◄◄ / ►► キーなどを使って、編集を終了する位置（時刻）にタイムラインカーソルをロケートします。
7. **“SET/SELECT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。
8. プルアップメニュー項目の **“SET OUT”** ボタンを押して編集終了点（OUT点）を設定します。

   現在の位置のマーク表示エリアにOUTマーク（“ ”）が表示されます。

INマーク（ “ ” ）とOUTマーク（ “ ” ）の間が編集対象となり、水色で表示されます。

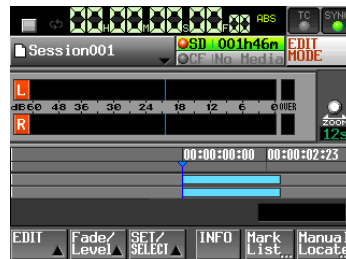
編集開始点 / 終了点を破棄する

1. **“SET/SELECT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

2. プルアップメニュー項目の **“CLEAR”** ボタンを押すと、確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

   現在設定されているIN点とアウト点が破棄され、マーク表示エリアのINマーク（ “ ” ）とOUTマーク（ “ ” ）が消えます。

編集するリージョン全体を選択する

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **“EDIT MODE”** ボタンを押してエディットモードにします。

3. 編集するリージョンにタイムラインカーソルを合わせます。
4. **“SET/SELECT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

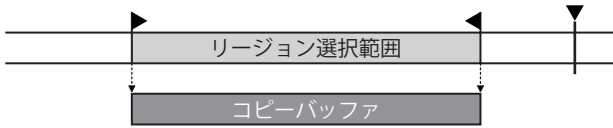
5. プルアップメニュー項目の **“SELECT Region”** ボタンを押すとタイムラインカーソル下のリージョン先頭が編集開始点(IN点)、リージョン末尾が編集終了点(OUT点)に設定され、リージョン全体が選択されます。

リージョン先頭/末尾位置のマーク表示エリアにINマーク（ “ ” ）/ OUTマーク（ “ ” ）が表示され、その間が編集対象となり、水色で表示されます。

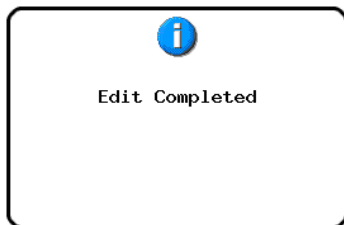
選択範囲のデータをコピーする (Copy)

選択した範囲をコピーします。

メモ

- コピーしたデータはコピーバッファに保持されます。
- フェード (イン / アウト) 区間全体を含む場合、そのフェード情報も保持します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。
3. コピーしたい範囲にタイムラインカーソルを移動させせます。
4. **"SET/SELECT"** ボタンを押してプルアップメニューの中の **"SET IN"**、**"SET OUT"**、**"SELECT Region"** ボタンでコピーしたい範囲を選択します。

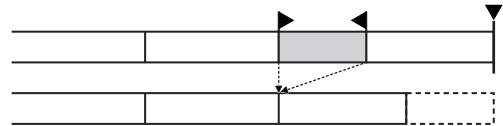
5. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

6. プルアップメニューの **"Copy"** ボタンを押すとコピーが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **"EDIT"** プルアップメニューは開いたままとなります。

選択範囲のデータをカットする (Cut)

選択した範囲を削除して、それ以降のデータを前につめます。

メモ

- カットしたデータはコピーバッファに保持されます。
- フェード (イン / アウト) 区間全体を含む場合、そのフェード情報も保持します。
- IN点、OUT点がリージョン内にあるとき、指定範囲外の部分は新たにリージョンとなります。
- IN点、OUT点がフェードイン / フェードアウト区間に設定されていた場合、そのフェードイン / フェードアウト情報は削除されます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。
3. カットしたい範囲にタイムラインカーソルを移動させせます。
4. **"SET/SELECT"** ボタンを押してプルアップメニューの中の **"SET IN"**、**"SET OUT"**、**"SELECT Region"** ボタンでカットしたい範囲を選択します。

5. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

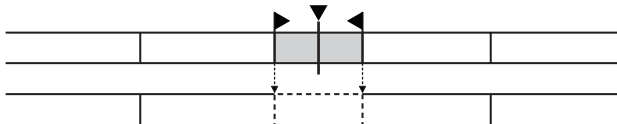
6. プルアップメニューの **"Cut"** ボタンを押すとカットが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **"EDIT"** プルアップメニューは開いたままとなります。

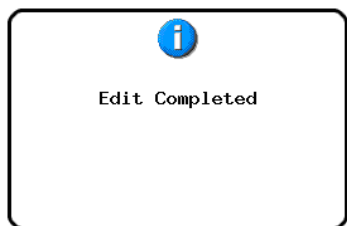
選択範囲のデータを消去する (Erase)

選択した範囲を削除して、無音にします。それ以降のデータの位置は変わりません。

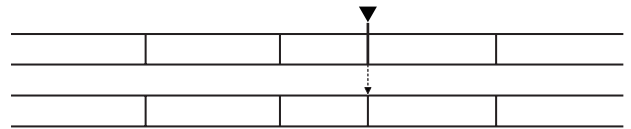
メモ

- 削除したデータはコピーバッファに保持されます。
- フェード (イン / アウト) 区間全体を含む場合、そのフェード情報も保持します。
- IN点、OUT点がリージョン内にあるとき、指定範囲外の部分は新たにリージョンとなります。
- IN点、OUT点がフェードイン / フェードアウト区間に設定されていた場合、そのフェードイン / フェードアウト情報は削除されます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。
3. 消去したい範囲にタイムラインカーソルを移動させます。
4. **"SET/SELECT"** ボタンを押してプルアップメニューの中の **"SET IN"**、**"SET OUT"**、**"SELECT Region"** ボタンでカットしたい範囲を選択します。

5. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

6. プルアップメニューの **"Erase"** ボタンを押すと消去が実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **"EDIT"** プルアップメニューは開いたままとなります。

指定位置でデータを分割する (Divide)

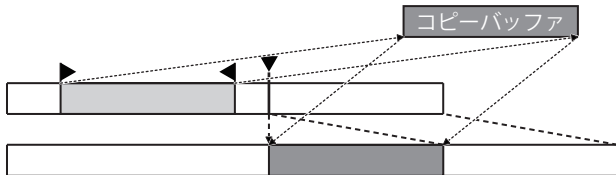
タイムラインカーソルの位置でリージョンを分割します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。
3. 分割したい位置にタイムラインカーソルを移動させます。
4. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

5. プルアップメニューの **"Divide"** ボタンを押すと分割が実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **"EDIT"** プルアップメニューは開いたままとなります。

指定位置にコピーバッファのデータを挿入する (Insert)

メ モ

- 挿入した位置以降の全てのリージョンは、挿入した時間分だけ後ろに移動します。
- リージョン内にインサートした時は、タイムラインカーソル前、コピーバッファ内容、タイムラインカーソル後の 3 つのリージョンとなります。
- 指定位置がフェードイン / フェードアウト区間に含まれていた場合、フェードイン / フェードアウト情報を削除します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **“EDIT MODE”** ボタンを押してエディットモードにします。

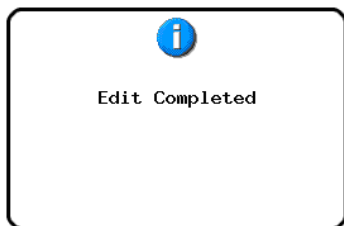
3. 挿入したい位置にタイムラインカーソルを移動させせます。

4. **“EDIT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューの **“Insert”** ボタンを押します。

メ モ

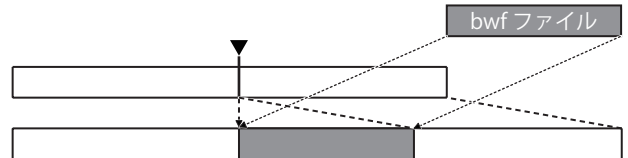
“Insert” ボタンは、コピーバッファにデータがあるときだけ有効になります。

5. 挿入が実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **“EDIT”** プルアップメニューは開いたままとなります。

指定位置に指定ファイルのデータを挿入する (Insert File)

指定の位置に2chのBWFファイル / WAVファイル全体を挿入します。

メ モ

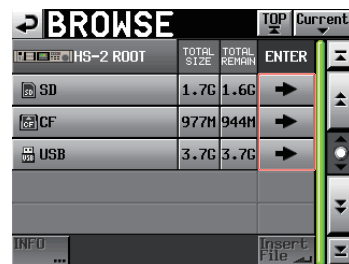
- 挿入した位置以降の全てのリージョンは、挿入したファイルの時間分だけ後ろに移動します。
- リージョン内にインサートした時は、タイムラインカーソル前、挿入したファイル、タイムラインカーソル後の 3 つのリージョンとなります。
- 指定位置がフェードイン / フェードアウト区間に含まれていた場合、フェードイン / フェードアウト情報を削除します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **“EDIT MODE”** ボタンを押してエディットモードにします。

3. ファイルを挿入したい位置にタイムラインカーソルを移動させせます。

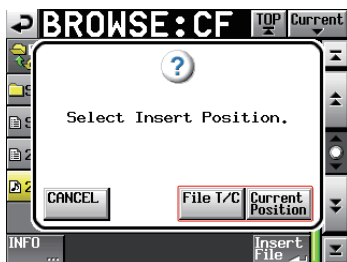
4. **“EDIT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューの **“Insert File”** ボタン押すと **“BROWSE”** 画面が表示されます。

5. 挿入するファイルが含まれるメディアを **“BROWSE”** 画面の **“→”** ボタンで選択します。

メ モ

上記の **“BROWSE”** TOP画面が出ていない場合、画面上の **“TOP”** ボタンを押してください。メディアの選択画面が表示されます。

6. 表示された **"BROWSE"** ファイル選択画面で挿入するファイルを選択して **"InsertFile"** ボタンを押します。

7. 挿入位置を選択するポップアップウィンドウが表示されますので、**"Current Position"**、**"File T/C"** ボタンのどちらかを押すと挿入を開始します。

このとき **"CANCEL"** ボタンを選択すると **"BROWSE"** ファイル選択画面に戻ります。

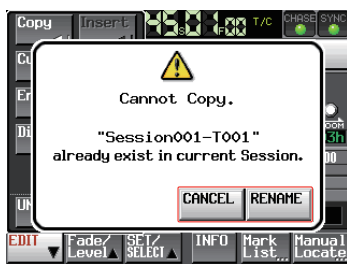
メモ

選択されたファイルにタイムコードデータが設定されていない場合に **"File T/C"** ボタンを押すと、[00 h 00 m 00 s 00 f]に挿入されます。

メモ

カレントフォルダー以外のファイルを選択すると、カレントフォルダーにコピーした上で挿入します。

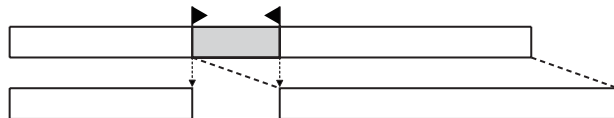
カレントフォルダーに同名ファイルが存在した際は、**"Cannot Copy."** のポップアップウィンドウが表示されます。

同名ファイル名を変更する場合は **"REMAME"** ボタン、中止する場合は **"CANCEL"** ボタンを押してください。

8. 挿入が実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、**"EDIT"** プルアップメニューを閉じてホーム画面が表示されます。

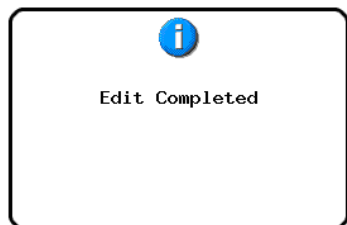
指定範囲に無音データを挿入する (Insert Mute)

指定の範囲に無音データを挿入します。

メモ

- IN点以降の全てのリージョンは後ろに移動します。
- リージョン内に挿入すると、タイムラインカーソル前後の 2 つのリージョンに分割されます。
- 指定位置がフェードイン / フェードアウト区間に含まれていた場合、そのフェードイン / フェードアウト情報は削除されます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。
3. **"SET/SELECT"** ボタンを押してプルアップメニューの中の **"SET IN"**、**"SET OUT"**、**"SELECT Region"** ボタンで無音を挿入する範囲を選択します。

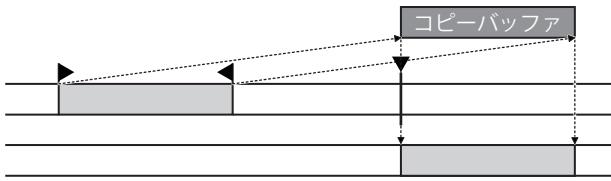
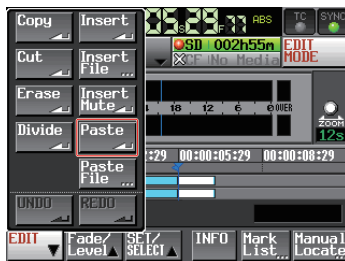
5. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

6. プルアップメニューの **"Insert Mute"** ボタンを押すと無音の挿入が実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **"EDIT"** プルアップメニューは開いたままとなります。

指定位置にコピーバッファのデータを貼り付ける (Paste)

指定した位置にコピーした内容を貼り付けます。

メ モ

- 貼り付け範囲にフェードイン / フェードアウト区間が含まれていた場合、そのフェードイン / フェードアウト情報は削除されます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **“EDIT MODE”** ボタンを押してエディットモードにします。
3. コピーバッファを貼り付けたい位置にタイムラインカーソルを移動させせます。
4. **“EDIT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューの **“Paste”** ボタンを押します。

メ モ

“Paste” ボタンはコピーバッファにデータがあるときだけ、ボタンが白色のハイライト表示になり有効になります。

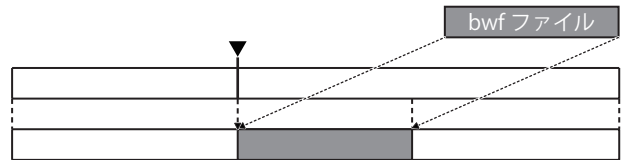
5. コピーが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **“EDIT”** プルアップメニューは開いたままとなります。

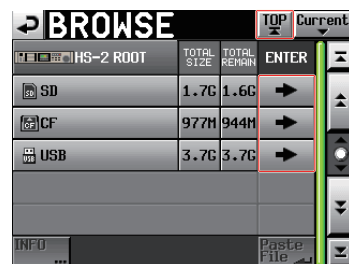
指定位置に指定ファイルのデータを貼り付ける (Paste File)

指定した位置に2chのBWFファイル / WAVファイル全体を貼り付けます。

メ モ

- 貼り付け範囲にフェードイン / フェードアウト区間が含まれていた場合、そのフェードイン / フェードアウト情報は削除されます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **“EDIT MODE”** ボタンを押してエディットモードにします。
3. ファイルを貼り付けたい位置にタイムラインカーソルを移動させます。
4. **“EDIT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューの **“Paste File”** ボタンを押すと **“BROWSE”** 画面が表示されます。

5. 貼り付けるファイルが含まれるメディアを **“BROWSE”** 画面の **“→”** ボタンで選択します。

メ モ

上記の **“BROWSE”** TOP画面が出ていない場合、画面上の **“TOP”** ボタンを押してください。メディアの選択画面が表示されます。

6. 表示された **"BROWSE"** ファイル選択画面で貼り付けるファイルを選択して **"Paste File"** ボタンを押します。

7. 貼り付け位置を選択するポップアップウィンドウが表示されますので、**"Current Position"**、**"File T/C"** ボタンのどちらかを押すと挿入を開始します。

このとき **"CANCEL"** ボタンを選択すると **"BROWSE"** ファイル選択画面に戻ります。

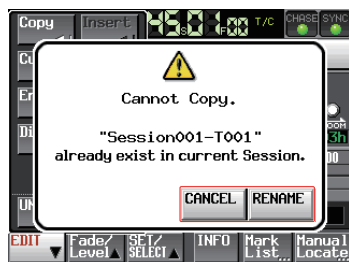
メモ

選択されたファイルにタイムコードデータが設定されていない場合に **"File T/C"** ボタンを押すと、[00 h 00 m 00 s 00 f]に貼り付けられます。

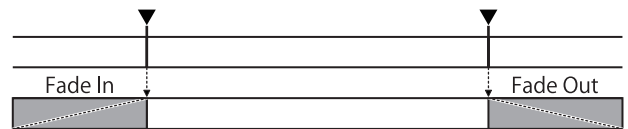
メモ

カレントフォルダー以外のファイルを選択すると、カレントフォルダーにコピーした上で貼り付けます。

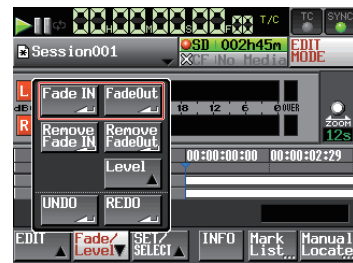
カレントフォルダーに同名ファイルが存在した際は、**"Cannot Copy."** のポップアップウィンドウが表示されます。

同名ファイル名を変更する場合は **"RENAME"** ボタン、中止する場合は **"CANCEL"** ボタンを押してください。

8. 貼り付けが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、**"EDIT"** プルアップメニューを閉じてホーム画面が表示されます。

指定リージョンにフェードイン / アウトを設定する (Fade IN / Fade Out)

指定したリージョンにフェードイン / アウトの設定を行います。

メモ

フェードイン / アウト範囲は、画面上に水色で表示されます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。
3. フェードイン / アウトを設定したいリージョン上のフェードインの終了位置、フェードアウトの開始位置にタイムラインカーソルを移動させます。
4. **"Fade / Level"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

- フェードイン設定は **"Fade In"** ボタンを押します。
- フェードアウト設定は **"Fade Out"** ボタンを押します。

5. フェードイン / フェードアウトが設定され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき**"Fade / Level"** プルアップメニューは開いたままとなります。

指定フェードを削除する (Remove Fade IN / Remove Fade Out)

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。

3. フェードイン / アウトを削除したいリージョンの範囲内にタイムラインカーソルを移動させます。

4. **"Fade / Level"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

- 該当リージョンのフェードインを削除したい場合は **"Remove Fade IN"** ボタンを押します。
- 該当リージョンのフェードアウトを削除したい場合は **"Remove Fade Out"** ボタンを押します。

5. フェード削除が実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき**"Fade / Level"** プルアップメニューは開いたままとなります。

指定リージョンに再生レベルを設定する (Level)

指定した範囲のリージョン全体 (フェードイン後 ～ フェードアウト前) の再生レベルを設定します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **"EDIT MODE"** ボタンを押してエディットモードにします。

3. 再生レベルを変更したいリージョン内にタイムラインカーソルを移動させます。

4. **"Fade / Level"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

5. プルアップメニューの **"Level"** ボタンを押します。

   その際、タイムラインカーソル下にあるリージョンが黄色で表示され、Level操作対象になります。

5. **"Level"** ボタン上にレベルノブが表示されますので、**DATAダイアル**を操作して再生レベルを設定してください。

   設定範囲

   −∞、−120dB ～ ＋10.0dB

6. **"Level"** ボタンをもう一度押すと、レベルノブが閉じます。(設定していた再生レベル値は保持されます。)

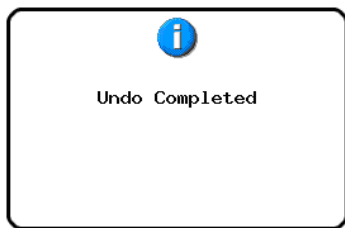
直前の編集を取り消す (UNDO)

直前に行ったタイムラインの編集を取り消すことができます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **“EDIT MODE”** ボタンを押してエディットモードにします。
3. **“EDIT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

4. プルアップメニューの **“UNDO”** ボタンを押すと取り消しが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **“EDIT”** プルアップメニューは開いたままとなります。

メモ

- **“Fade / Level”** プルアップメニューの **“UNDO”** ボタンでもやり直しが実行できます。
- 編集を行っていない場合は **“UNDO”** ボタンを押すことができません。取り消しが実行できるときには、**“UNDO”** ボタンが白い文字で表示されます。
- タイムラインモードでは、最近行なった録音 / 編集の操作を最大10回分記憶します。編集履歴の範囲内で取り消し**(UNDO)** / やり直し**(REDO)**を行なうことができます。
  ただし、編集回数やリージョン数が多くなると、記憶できる操作の回数は10回以下になる場合があります。
- タイムラインモードの編集履歴は、下記の操作を行なうとクリアされます。
  - 本機の電源を切る。
  - フォルダーをロードする。
  - AES31編集情報をロードする。
  - オペレーションモードを切り換える。

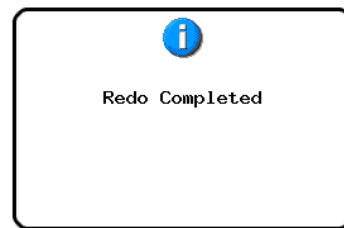
取り消した編集をやり直す (REDO)

取り消した編集をやり直し(REDO)することができます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. **“EDIT MODE”** ボタンを押してエディットモードにします。
3. **“EDIT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

4. プルアップメニューの **“REDO”** ボタンを押すとやり直しが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **“EDIT”** プルアップメニューは開いたままとなります。

メモ

- **“Fade / Level”** プルアップメニューの **“REDO”** ボタンでもやり直しが実行できます。
- 取り消し**(UNDO)**を実施していない場合は **“REDO”** ボタンは押すことができません。やり直し(REDO)が実行できるときには、**“REDO”** ボタンが白い文字で表示されます。
- タイムラインモードでは、最近行なった録音 / 編集の操作を最大10回分記憶します。編集履歴の範囲内で取り消し**(UNDO)** / やり直し**(REDO)**を行なうことができます。
  ただし、編集回数やリージョン数が多くなると、記憶できる操作の回数は10回以下になる場合があります。
- タイムラインモードの編集履歴は、下記の操作を行なうとクリアされます。
  - 本機の電源を切る。
  - フォルダーをロードする。
  - AES31編集情報をロードする。
  - オペレーションモードを切り換える。

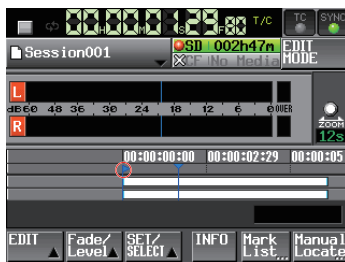
バウンス

リージョンの一部や、複数のリージョンにまたがった区間を一つのテイクに出力します。

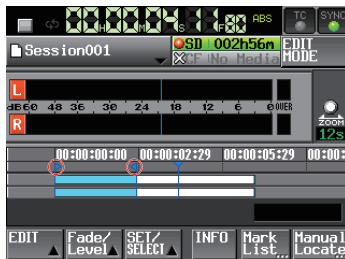
バウンス開始点を指定する

1. **HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ◀◀ / ▶▶ キーなどを使って、バウンスを開始する位置（時刻）にタイムラインカーソルをロケートします。
3. **"BOUNCE I/O"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

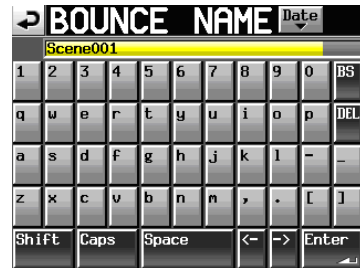
4. プルアップメニュー項目の **"SET IN"** ボタンを押してバウンス開始点（IN点）を設定します。

   現在の位置のマーク表示エリアにINマーク（ "▶" ）が表示されます。

バウンス終了点を指定する

5. ◀◀ / ▶▶ キーなどを使って、バウンスを終了する位置（時刻）にタイムラインカーソルをロケートします。
6. **"BOUNCE I/O"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。
7. プルアップメニュー項目の **"SET OUT"** ボタンを押してバウンス終了点（OUT点）を設定します。

   現在の位置のマーク表示エリアにOUTマーク（"◀"）が表示されます。

INマーク（ "▶" ）とOUTマーク（ "◀" ）の間が編集対象となり、水色で表示されます。

バウンスを行う

8. **"BOUNCE I/O"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。
9. プルアップメニュー項目の **"BOUNCE"** ボタンを押して、バウンス先のファイル名を入力する **"BOUNCE NAME"** 画面を表示します。

ファイル名を入力します。入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

10. **"Enter"** ボタンを押すと、確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA** ダイヤルを押します。

作成中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。
作成が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メモ

進行状況を示すポップアップウィンドウ表示中に **"CANCEL"** ボタンを押すと、バウンスをキャンセルすることができます。

バウンス開始点 / 終了点を破棄する

11. **"BOUNCE I/O"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。
12. プルアップメニュー項目の **"CLEAR"** ボタンを押すと、確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

    現在設定されているIN点とアウト点が破棄され、マーク表示エリアのINマーク（ "▶" ）とOUTマーク（ "◀" ）が消えます。

この章では、テイクモードでの操作方法を説明します。本機をテイクモードで動作させるには、本機のオペレーションモードを「テイクモード」に設定してください。（→ 37 ページ「オペレーションモードを選択する」）

また、25 ページ「第4章　基本操作」もあわせてお読みください。

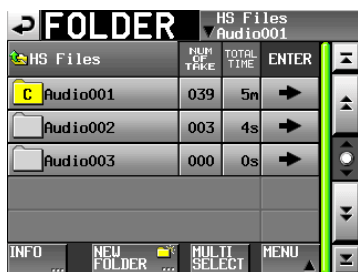
録音の準備をする

基本的な準備

25 ページ「第4章　基本操作」を参考に、基本となる準備を行ってください。

新規フォルダーの作成

必要に応じ、新しいフォルダーを作成します。すでにあるフォルダーに録音する場合には、新規に作成する必要はありません。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、テイク選択画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。

2. **“NEW FOLDER”** ボタンを押して、フォルダー名を入力する **“FOLDER NAME”** 画面を表示します。

フォルダー名入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

メモ

フォルダー名の先頭に **“@”** は使えません。

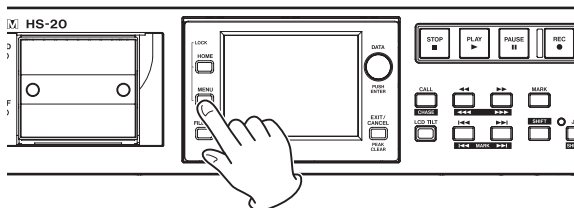
3. **“Enter”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

4. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

   ホーム画面に戻ります。

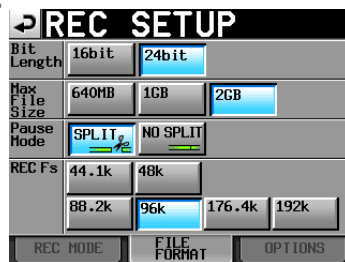
   フォルダーの操作の詳細は34 ページ「フォルダーの操作」を参照してください。

録音モードの設定

1. フロントパネルの**MENU**キーを押して、**“MENU”** 画面を表示します。

2. **“REC SETUP”** ボタンを押して、**“REC SETUP”** 画面を表示します。

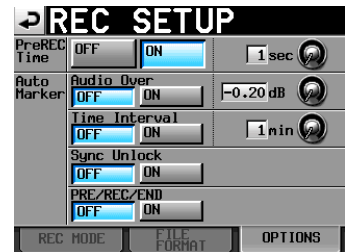
“REC MODE” タブ画面では、録音モードを設定します。選択した項目の背景が薄青色になります。詳しくは78 ページ「REC MODEタブ画面」をご参照ください。

ファイルフォーマットの設定

“REC SETUP” 画面で **“FILE FORMAT” タブ**を押すと、以下の画面を表示します。

“FILE FORMAT” タブ画面では、量子化ビット数、最大ファイルサイズ、録音中に録音待機状態としたときの処理方法、録音時のサンプリング周波数を設定します。選択した項目の背景が薄青色になります。

詳しくは、81 ページ「FILE FORMATタブ画面」をご参照ください。

その他の録音設定

“REC SETUP” 画面で **“OPTIONS” タブ**を押すと、以下の画面を表示します。

“OPTIONS” タブ画面では、プリレックタイム、オートマーカーの設定を行います。詳しくは、81 ページ「OPTIONSタブ画面」をご参照ください。

録音する

録音

本機が停止状態のときに、**REC**キーを押すと、録音待機状態になります。このときトランスポートステータス表示が“ ”アイコンになります。

録音待機状態で**PLAY**キーを押すと、録音を開始します。

ホーム画面において、画面左上のトランスポートステータス表示が録音表示に変わり、一部の背景が赤くなり、録音中であることを表示します。タイムカウンターも同時にスタートします。

メ モ

停止状態のときに、**REC**キーを押しながら **PLAY**キーを押しても録音を開始します。

メ モ

パラレルコントロールから録音を制御することも可能です。

再生中に**REC**キーを押しながら**PLAY**キーを押してもテイクモードではオーバーライト録音はできません。

注 意

録音待機状態のとき、パラレルコントロールのTALLY_RECORDはハイ、TALLY_PAUSEはローを出力します。

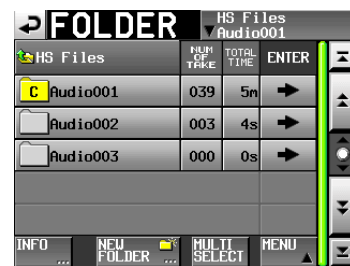
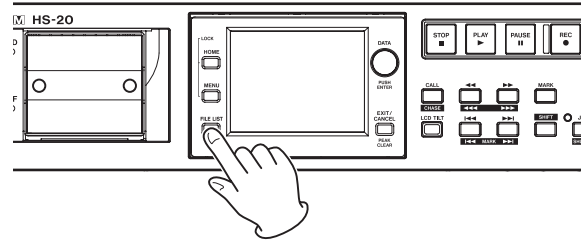
本体フロントパネルは、**REC**キーと**PAUSE**キーが点灯します。

録音の停止

録音を終了するには、**STOP キー**を押します。

再生する

フォルダー / テイクの選択

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、テイク選択画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。

2. ロードしたいテイクを含むフォルダーの **“→”** ボタンを押して、テイク選択画面を表示します。

   カレントフォルダーでない場合はロードするかの確認のポップアップウィンドウが表示されますので **“OK”** ボタンを押します。

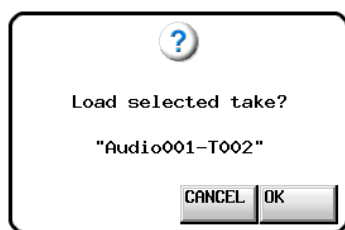
メ モ

カレントフォルダー内のテイクをロードする場合は、手順**1.**から**4.**の代わりに、FILE LIST画面右上のフォルダー名ボタンを押すか、ホーム画面のテイク名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **“TAKE List”** ボタンを押すことでカレントフォルダーのテイク選択画面へ移動できます。

3. ロードしたいテイクを選択します。

4. テイク選択画面内の **“MENU”** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

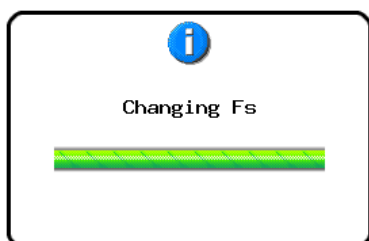
5. プルアップメニュー項目内の **“LOAD”** ボタンを押します。

6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK ”** ボタンまたは **DATA** ダイヤルを押します。

ロードが完了すると、ロードしたテイクの先頭で再生待機状態になり、ホーム画面を表示します。

メモ

ロードしたいテイクの **“→”** ボタンを押しても、テイクをロードすることができます。
このときにはこのポップアップウィンドウは表示されず、またホーム画面に切り換わらずにテイク選択画面を表示したままとなります。

注意

録音時のサンプリング周波数設定と、再生するファイルのサンプリング周波数が異なる場合、下記ポップアップウィンドウが表示され、サンプリング周波数を再生するファイルの周波数に切り替えます。

インプットモニターの設定

再生する際は、インプットモニターをオフに設定してください。
インプットモニターがオンになっている場合は、音声入力端子からの音声が本機の全ての音声出力端子から出力されます。

1. ホーム画面の **“INPUT MONITOR”** ボタンを押して、インプットモニターの **“ON / OFF”** ボタンをプルアップ表示します。

2. インプットモニターがオン(**“ON”** ボタンが青く点灯)になっているときは、**“OFF”** ボタンを押して、オフ(**“OFF”** ボタンが青く点灯)にします。

再生

PLAY キーを押します。

PAUSE キーを押すと、再生待機状態になります。
再生待機状態を解除するには、**PLAY** キーを押します。

STOP キーを押すと、停止します。

⏮ [MARK ⏮] キーまたは **⏭ [MARK ⏭]** キーを押すと、テイクを切り換えます。

◀◀ [◀◀◀] / ▶▶ [▶▶▶] キーを押している間は、早戻し / 早送り再生をします。

SHIFT キーを押しながら、**⏮ [MARK ⏮]** キーまたは **⏭ [MARK ⏭]** キーを押すと、マークポイントを移動します。

SHIFT キーを押しながら、**◀◀ [◀◀◀]** キーまたは **▶▶ [▶▶▶]** キーを押している間は、高速サーチをします。

メモ

- **“PLAY SETUP”** 画面で、選択しているテイクのみを再生するか、現在のフォルダー内にある全てのテイクを再生するかの設定ができます。また、リピート再生のオン / オフの設定ができます。（→ 82 ページ「再生設定 (PLAY SETUP)」）
- **PARALLEL** 端子から再生を制御することも可能です。

コール

CALL [CHASE] キーを押すと、最後に再生待機状態から再生を開始したポイント（コールポイント）にロケートし、再生待機状態となります。

フラッシュスタート機能を使う

別売の専用リモートコントローラー (TASCAM RC-HS20PD)などを使って、フラッシュスタートすることが可能です。
詳細は、112 ページ「フラッシュスタート機能」を参照してください。

テイクの操作

テイクはオーディオフォルダーの下に複数作成できます。
フォルダーの操作については、29 ページ「第5章　FILE LIST」をご覧ください。

テイクの操作では、以下の機能を使用します。

- **テイクのスタートタイムを編集する**
- **テイクをエクスポートする**
- **テイクをFTPサーバーにアップロードする**
- **テイクを削除する**
- **テイクをソートする**
- **テイクの並び順を移動する**
- **テイク名を編集する**
- **テイクを分割する(Divide)**
- **テイクを結合する(Combine)**
- **直前の編集を取り消す(UNDO)**
- **取り消した編集をやり直す(REDO)**

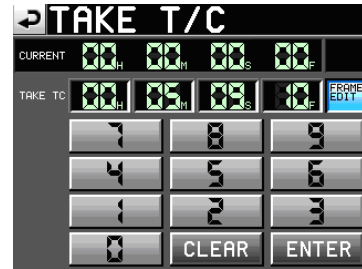
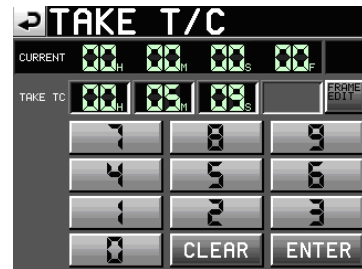
テイクのスタートタイムを編集する

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、テイク選択画面を表示します。再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。
2. スタートタイムを編集したいテイクを含むフォルダーの **"→"** ボタンを押して、テイク選択画面を表示します。
   カレントフォルダーでない場合は、ロードするかの確認のポップアップウィンドウが表示されますので **"OK"** ボタンを押します。

メモ

カレントフォルダー内のテイクをロードする場合は、手順**2**. ~ **3**.の代わりに、FILE LIST画面右上のフォルダー名ボタンを押すか、ホーム画面のテイク名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **"TAKE List"** ボタンを押すことでカレントフォルダーのテイク選択画面へ移動できます。

3. スタートタイムを編集したいテイクを選択します。
4. テイク選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

5. プルアップメニュー項目内の **"EDIT TC"** ボタンを押して、**"TAKE T/C"** 画面を表示します。
6. **"TAKE T/C"** 画面の **"FRAME EDIT"** ボタンでフレーム値まで入力するかどうかを設定します。

[フレームエディットオン状態]

[フレームエディットオフ状態]

7. 数字ボタンを使って、テイクのスタートタイムを入力します。
   - 入力する桁を選択せずに入力すると、最下位桁から順に入力します。
   - 入力する桁を選択する場合は、その桁を押し、背景を黄色く反転させ、数字ボタンもしくは**DATA**ダイヤルを使って、2桁ずつ入力します。
   - **"CLEAR"** ボタンを押すと、入力値が全てゼロクリアされます。
8. **"ENTER"** ボタンを押して、確定します。

ヒント

外付けキーボードを使っての編集も可能です。
キーボードの**ESC**キーを押すと、ゼロクリアします。

9. 確認のポップアップウィンドウが表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

テイクをエクスポートする

テイクを別メディアのカレントフォルダーにエクスポートします。

1. テイク選択画面で、エクスポートしたいテイクを選択します。

2. テイク選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

3. プルアップメニュー項目内の **"EXPORT"** ボタンを押すと下記のポップアップウィンドウが表示されますので、**"OK"** ボタンまたは **DATA**ダイアルを押すと、選択したテイクをエクスポートします。

   ポップアップウィンドウ内の **"CANCEL"** ボタンを押すと、テイクリスト画面に戻ります。

メ モ

- エクスポート先が空の場合(カレントフォルダーが存在しない場合)、エクスポート元と同じフォルダーを作成してエクスポートします。
- エクスポート先に同名ファイルが1つでもある場合、エクスポート開始前に **"Selected Take Already exist in Export destination."** というポップアップウィンドウが表示され、エクスポートを行いません。
- エクスポートファイルの合計サイズがエクスポート先の空き容量を超えた場合、エクスポート開始前に **"Cannot EXPORT. Not enough space on ｘｘｘ"** (*1)というポップアップウィンドウが表示されエクスポートを行いません。

  *1) **"ｘｘｘ"** : SD Card / CF Card (エクスポート先メディア名)

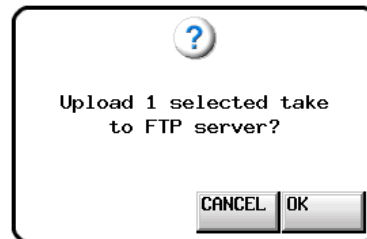
テイクをFTPサーバーにアップロードする

テイクをREMOTE SETUP画面 FTPタブ画面で設定したFTPサーバーの指定フォルダーにアップロードします。

1. テイク選択画面で、アップロードしたいテイクを選択します。

2. テイク選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

3. プルアップメニュー項目内の **"UPLOAD to FTP"** ボタンを押すと確認ポップアップウィンドウが表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイアルを押すと、選択したテイクをアップロードします。

   ポップアップウィンドウ内の **"CANCEL"** ボタンを押すと、テイクリスト画面に戻ります。

メ モ

アップロードが成功したテイクのファイルアイコンは、001と表示されます。

アップロードが失敗したテイクのファイルアイコンは、001と表示されます。

テイクを削除する

1. テイク選択画面で、削除したいテイクを選択します。
2. テイク選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[プルアップメニュー表示中のテイク選択画面]

3. プルアップメニュー項目内の **"DELETE"** ボタンを押します。
4. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

[確認メッセージ画面]

5. 再確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

[再確認メッセージ画面]

削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。
削除を完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

注 意

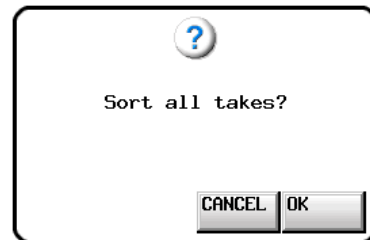
タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているテイクであっても削除できますので、ご注意ください。
タイムラインモードやプレイリストーモードで使用されているテイクを削除した場合、該当リージョン / エントリーを再生しようとした際にエラーポップアップが表示されます。

テイクをソートする

テイクの再生順を名前順にソートします。

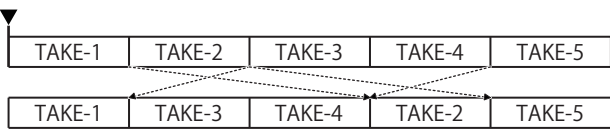
1. テイク選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[プルアップメニュー表示中のテイク選択画面]

2. プルアップメニュー項目内の **"SORT"** ボタンを押すと確認のポップアップウィンドウが表示されます。

[確認メッセージ画面]

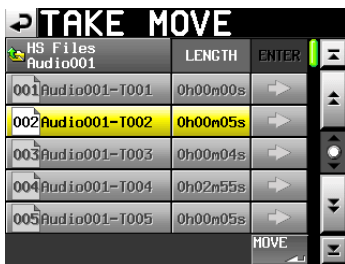
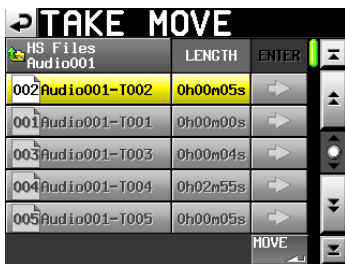
3. ポップアップウィンドウの **"OK"** ボタンまたは **"ENTER"** キーを押すとテイクの再生順を名前順にソートします。
   "CANCEL" ボタンを押すとテイク選択画面に戻ります。

テイクを移動する

テイクを移動して再生順を変更します。

1. テイク選択画面で、移動したいテイクを選択します。

2. テイク選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[プルアップメニュー表示中のテイク選択画面]

3. プルアップメニュー項目内の **"MOVE"** ボタンを押すと **"TAKE MOVE"** 画面表示に切り換わります。

4. **DATA**ダイアル、スクロールボタンを操作して選択したテイクを移動します。

5. **"MOVE"** ボタンまたは **"ENTER"** キーを押すと、表示した位置にテイクを移動します。

   画面左上の **"⮐"** ボタンまたは **"EXIT/CANCEL"** キーを押すとテイクを移動せずにテイク選択画面に戻ります。

テイク名を編集する

1. テイク選択画面で、名前を編集したいテイクを選択します。

2. テイク選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[プルアップメニュー表示中のテイク選択画面]

3. プルアップメニュー項目内の **"EDIT NAME"** ボタンを押して、**"TAKE NAME"** 画面を表示します。

[**TAKE NAME** 画面]

メモ

複数のテイクを選択している場合は、プルアップメニュー項目内の **"EDIT NAME"** ボタンを選択できません。

4. テイク名を入力します。入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

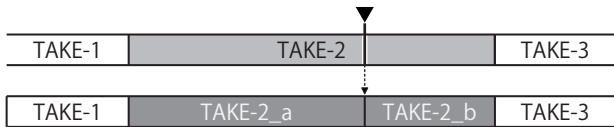
5. **"TAKE NAME"** 画面の **"Enter"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すとテイク名を確定し、テイク選択画面に戻ります。

注意

タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているテイクであってもテイク名を編集できますので、ご注意ください。

タイムラインモードやプレイリストーモードで使用されているテイクのテイク名を編集した場合、該当リージョン / エントリーを再生しようとした際にエラーポップアップが表示されます。

テイクを分割する(Divide)

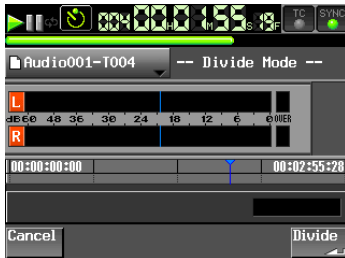
指定した位置でテイクを2つに分割します。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. 分割したい位置付近にタイムラインカーソルを移動させます。

3. ホーム画面の **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューの **"Divide"** ボタンを押します。

4. **"-- Divide Mode --"** 表示に切り換わり、スクラブ再生状態になるので、下記操作子で正確な分割の位置を探します。

- **JOG / SHUTTLE** ダイヤル
- **◀◀ / ▶▶** キーを押す (1サンプル単位の移動)
- **SHIFT** キーを押しながら**◀◀**[**◀◀◀**] キーまたは**▶▶** [**▶▶▶**] キーを押す (1ms単位の移動)
- **SHIFT** キーを押しながら、**|◀◀ [MARK|◀◀]** キーまたは**▶▶| [MARK ▶▶|]** キーを押す (マークポイント移動)

分割する位置が決まったら、画面右下の **"Divide"** ボタンを押します。
分割処理を中止する場合は、画面左下の **"CANCEL"** ボタン、**STOP** キー、**EXIT / CANCEL** キーを押します。

分割後のファイル名と同名のファイルが存在し、分割不可の場合は **"Cannot Divide."** のメッセージが表示されます。

5. 分割が実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

メモ

- 分割後のテイク名は以下のようになります。
  - 前側テイク　：<分割前のテイク名>_a
  - 後ろ側テイク：<分割前のテイク名>_b
- 分割後の再生順は前側テイク、後ろ側テイクの順になります。
- 分割後のカレントテイクは分割した後ろ側のテイクとなります。
- 分割前のカレントテイク以降にあるテイクは、分割した後ろ側のテイクに続きます。
- 分割により総テイク数は 1 つ増えます。
- 分割する指定位置にマークポイントがある場合、分割した後ろ側のテイクの先頭にマークポイントが移動します。

メモ

例)
テイクリスト : Scene001-T001 分割前

テイクリスト : Scene001-T001 分割後

注意

タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているテイクであってもテイクを分割できますので、ご注意ください。
タイムラインモードやプレイリストーモードで使用されているテイクを分割した場合、該当リージョン / エントリーを再生しようとした際にエラーポップアップが表示されます。

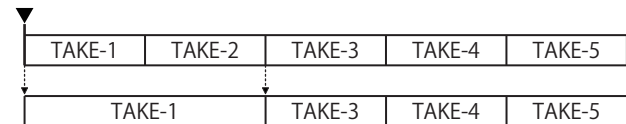
テイクを結合する(Combine)

指定したテイクと別のテイクを結合し、一つのテイクにします。

メモ

以下の条件の場合は、結合することができません。

- bit長、チャンネル数、サンプリング周波数が異なるファイル同士の場合。
- 結合後のファイルサイズが**REC SETUP** 画面 / **FILE FORMAT** タブ画面のMax File Sizeの容量を超える場合。
- メディアの空き容量が、結合する後半部分のテイクのファイルサイズより小さい場合。

TAKE-1	TAKE-2	TAKE-3	TAKE-4	TAKE-5
TAKE-1		TAKE-3	TAKE-4	TAKE-5

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. 結合テイクの前半部分にしたいテイクをカレントテイクにします。

3. ホーム画面の **“EDIT”** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

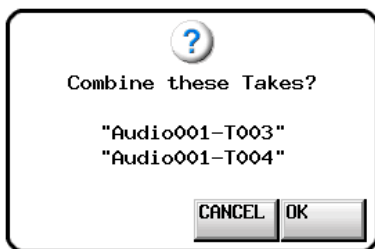
プルアップメニューの **“Combine”** ボタンを押します。

4. 結合テイクの選択画面に切り換りますので、カレントテイクの後ろに結合させるテイクの **“→”** ボタンを押します。

(背景が黄色のアイコンは、手順**3.**で選択した前半部分のテイクを表示しています。)

5. 確認メッセージが表示され、結合ポイントの前後合わせて4秒間がリピート再生されます。

“OK” ボタンまたは **“ENTER”** キーを押すと、テイクを結合します。

“CANCEL” ボタンまたは **“EXIT / CANCEL”** キーを押すと、リピート再生が停止し、結合テイクの選択画面に戻ります。

6. テイク結合中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。

テイク結合が完了すると、ポップアップウィンドウが消えて、HOME画面に戻ります。

メモ

- 結合後のファイル名は、前半部分のファイル名となります。
- 結合後のファイルのタイムコードデータは、前半部分のファイルのデータが引き継がれます。
- 結合後のマークポイントが100個以上になった場合、先頭から100個目以降は削除されます。100個目以降の削除されたマークは、取り消し(UNDO)を実施しても元に戻せません。

注意

タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているテイクであってもテイクを結合できますので、ご注意ください。

タイムラインモードやプレイリストーモードで使用されているテイクを結合した場合、後ろ側テイクに該当するリージョン / エントリーを再生しようとした際にエラーポップアップが表示されます。

直前のテイクの編集を取り消す(UNDO)

直前に行ったテイクの分割 / 結合を一回だけ取り消す(UNDO)ことができます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューの **"UNDO"** ボタンを押します。

3. 取り消しが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **"EDIT"** プルアップメニューは開いたままとなります。

メモ

- テイクの分割 / 結合を行っていない場合は **"UNDO"** ボタンを押すことができません。取り消し(UNDO)が実行できるときには、**"UNDO"** ボタンが白い文字で表示されます。
- テイクモードの編集履歴は、下記の操作を行なうとクリアされます。
  - 本機の電源を切る。
  - フォルダーをロードする。
  - オペレーションモードを切り換える。
  - 録音の実行。

取り消したテイクの編集をやり直す(REDO)

取り消したテイクの分割 / 結合を一回だけやり直し(REDO)することができます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. **"EDIT"** ボタンを押してプルアップメニューを表示します。

プルアップメニューの **"REDO"** ボタンを押します。

3. やり直しが実行され、終了するとポップアップウィンドウが表示された後、ホーム画面が表示されます。

このとき **"EDIT"** プルアップメニューは開いたままとなります。

メモ

- 取り消し**(UNDO)**を実施していない場合は **"REDO"** ボタンは押すことができません。やり直し(REDO)が実行できるときには、**"REDO"** ボタンが白い文字で表示されます。
- テイクモードの編集履歴は、下記の操作を行なうとクリアされます。
  - 本機の電源を切る。
  - フォルダーをロードする。
  - オペレーションモードを切り換える。
  - 録音の実行。

この章では、プレイリストモードでの操作方法を説明します。本機をプレイリストモードで動作させるには、本機のオペレーションモードを「プレイリストモード」に設定してください。（ → 37 ページ「オペレーションモードを選択する」）

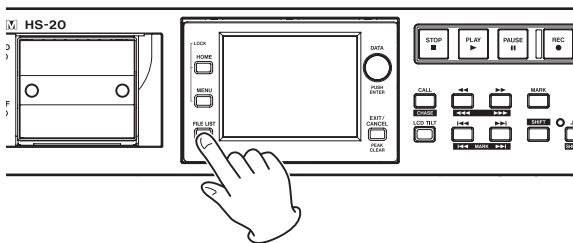
また、25 ページ「第4章　基本操作」もあわせてお読みください。

プレイリストの操作

フォルダーのロード

プレイリストは、カレントフォルダー (現在ロードされているフォルダー)の中にあるテイク / ファイルしか登録することができません。他のフォルダーにあるテイク / ファイルは、プレイリスト登録時にカレントフォルダーにコピーされます。最初にフォルダーをロードしてください。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、プレイリスト選択画面を表示します。

   再度、**FILE LIST**キーを押して、フォルダー選択画面に切り換えます。

2. 選択したいフォルダーの名前を押して選択します。

   背景が黄色のハイライト表示になります。

3. フォルダー選択画面で**“MENU”**ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

4. プルアップメニュー項目内の **“LOAD”** ボタンを押します。

メモ

ロードしたいフォルダーの **“→”** ボタンを押しても、フォルダーをロードすることができます。このときカレントフォルダーでない場合はロードするかの確認のポップアップウィンドウが表示されますので **“OK”** ボタンを押します。

5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

ロードが完了すると、最後にロードしたプレイリスト(新規フォルダーの場合は、デフォルトで作成されるプレイリスト)が自動的にロードされ、ホーム画面に戻ります。

新規プレイリストを作成する

カレントフォルダーにプレイリスト(JPPA PPLファイル)を作成します。パソコンでカードを見たときのディレクトリーは以下のようになります。

{カードのドライブ名} : ¥ {HS Files} ¥ {フォルダー名} ¥{_playlists} ¥ {プレイリストファイル}

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、プレイリスト選択画面を表示します。

メ モ

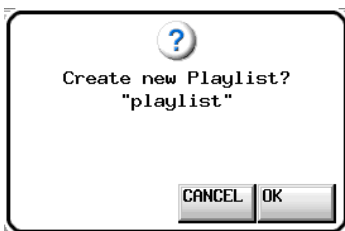
フォルダーを作成したときに、自動でJPPA PPLファイルが1つ作成されます。

2. **"CREATE PLAYLIST"** ボタンを押して、**"PLAYLIST NAME"** 画面を表示します。

プレイリストの名前を設定します。

プレイリスト名入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

3. **"Enter"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

4 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押して、プレイリスト名を確定します。

プレイリスト作成中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。

プレイリストの作成が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メ モ

- 新規プレイリスト作成直後は、作成したプレイリストがカレントプレイリスト(現在ロード中のカレントプレイリスト)になります。
- ホーム画面でエントリー名ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **"CREATE PLAYLIST"** ボタンを押すことでも新規プレイリストを作成することができます。
- 現在ロードされているプレイリストの " " アイコンの中にカレントを表す **"C"** が表示されます。

後からプレイリスト名を編集する

プレイリスト名は後から変更することができます。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、プレイリスト選択画面を表示します。
2. 名前を変更したいプレイリストを選択します。選択されたプレイリスト名の背景が黄色くなります。
3. **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

4. プルアップメニュー項目内の **"EDIT NAME"** ボタンを押して、**"PLAYLIST NAME"** 画面を表示します。

メ モ

ロードされているプレイリストを選択している場合、プルアップメニュー項目内の **"EDIT NAME"** ボタン（プレイリスト名の編集）は選択できません。

5. プレイリスト名を入力します。入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。
6. **"PLAYLIST NAME"** 画面の **"Enter"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すとプレイリスト名を確定し、プレイリスト選択画面に戻ります。

プレイリストをロードする

カレントフォルダーに置いてあるプレイリスト(JPPA PPLファイル)をロードします。

パソコンでカードを見たときのディレクトリーは以下のようになります。

{カードのドライブ名} : ¥ {HS Files} ¥ {フォルダー名} ¥ {_playlists} ¥ {プレイリストファイル}

メ モ

カレント以外のフォルダーのプレイリストファイルはロードすることができません。

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、プレイリスト選択画面を表示します。
2. ロードしたいプレイリストを選択します。
3. プレイリスト選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

4. プルアップメニュー項目内の **"LOAD"** ボタンを押します。

メ モ

ロードしたいプレイリストの **"→"** ボタンを押すことでもロードできます。

5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

ロードが完了すると、ホーム画面を表示します。

プレイリストを削除する

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、プレイリスト選択画面を表示します。
2. 削除したいプレイリストを選択します。
3. プレイリスト選択画面内の **"MENU"** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。
4. プルアップメニュー項目内の **"DELETE"** ボタンを押します。

メ モ

ロードされているプレイリストを選択している場合は、プルアップメニュー項目内の **"DELETE"** ボタンは選択できません。

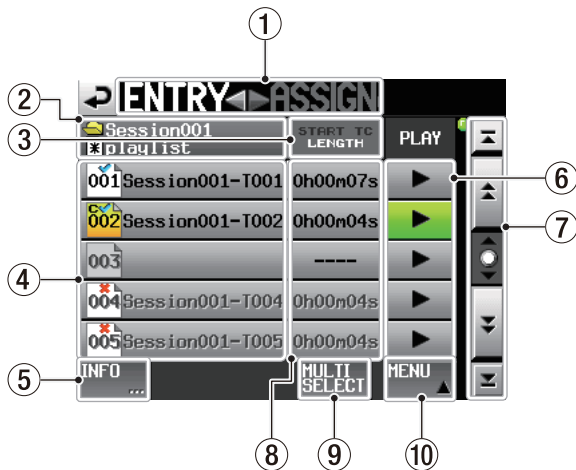
5. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**"OK"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

削除中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。
削除が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

プレイリストの編集 (エントリーの登録、解除、編集)

プレイリストの中の再生単位をエントリーと呼びます。
プレイリスト内には最大100のエントリーが登録できます。
エントリーとして登録できるのは、プレイリストを作成したフォルダーに含まれるテイク(ファイル)のみです。
他のフォルダーにあるテイク(ファイル)は、プレイリスト登録時にプレイリストを作成したフォルダーにコピーされます。
プレイリストを再生中でも、エントリーを登録したり、削除したり、名前を変更することができます。
ただし、再生中のエントリーは変更することができません。
プレイリストの編集は、エントリーリスト画面(**“ENTRY”**画面)とファイルアサイン画面(**“ASSIGN”** 画面)で行います。

エントリーリスト画面

この画面は表示するには、ホーム画面でテイクまたはエントリー名ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **“ENTRY LIST”** ボタンを押すか、ファイルアサイン画面の **“ENTRY◀▶ASSIGN”** ボタンの **“ENTRY◀”** 部分を押します。

① ENTRY◀▶ASSIGN ボタン
エントリーリスト画面とファイルアサイン画面を切り換えます。
▶ASSIGNの部分を押すと、ファイルアサイン画面が表示されます。

② プレイリスト名表示
現在のプレイリスト名を表示します。
編集後、保存を行っていない状態で “[*]” が表示されます。

③ START TC / LENGTH ボタン
この部分を押すと、**“START TC / LENGTH”**表示部を開始時刻(**“START TC”**)と長さ(**“LENGTH”**)を交互に切り換えます。白字になっている項目が表示されています。

④ エントリー名 ボタン
該当するエントリーを選択します。
このボタンを押すと、右側にテイクリストが表示されます。
この状態で登録したいテイク名のボタンを押すことでこのボタンにテイクを登録できます。

[テイクリストオン状態]

エントリー番号が “001” アイコンの中に表示されます。
プレイリストの検査結果が “001” アイコンの中に表示されます。
また、検査の結果、形式が異なるファイルや存在しないファイルのとき、名前をグレーで表示します。

002	カレントエントリー (現在ロードされているエントリー)
001	問題のないエントリー
004	形式が異なり、再生できないエントリー
005	登録ファイルがFTPや **“BROWSE”** 画面で削除されて存在しないエントリー
003	エントリー登録なし

⑤ INFO ボタン
エントリーを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたエントリーの情報をポップアップウィンドウに表示します。
エントリーを選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のプレイリストについての情報を表示します。

⑥ PLAY ボタン
該当するエントリーを再生します。再生中はボタンが緑色になります。
再生中に押すと停止します。

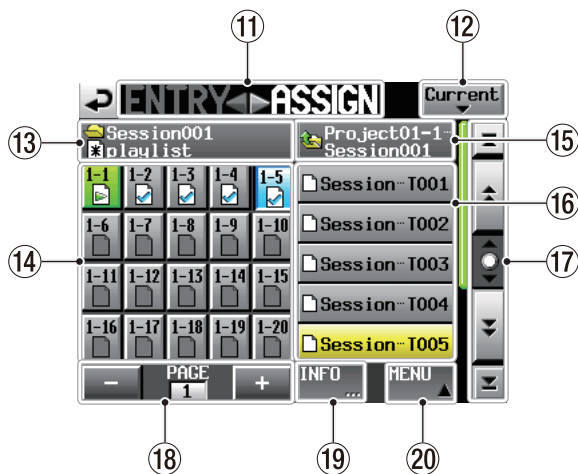
⑦ スクロール ボタン
エントリーリストの先頭、末尾、1ページ(5行)ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルを使っても、1行ずつエントリーリストをスクロールすることができます。

⑧ START TC / LENGTH 表示
エントリーの開始時刻またはエントリーの長さ(時間)を表示します。
“START TC / LENGTH” ボタンの白字になっている項目が表示されています。

⑨ MULTI SELECT ボタン
エントリーを複数選択できるモードにします。

⑩ MENU ボタン
“REBUILD”、**“CLEAR”**、**“ADJUST”**、**“SAVE”**、**“SAVE AS”** を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

ファイルアサイン画面

この画面は表示するには、ホーム画面でテイクまたはエントリー名ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **“ASSIGN FILE”** ボタンを押すか、ファイルアサイン画面の **“ENTRY ◀ ▶ ASSIGN”** ボタンの **“▶ ASSIGN”** 部分を押します。

⑪ **ENTRY ◀ ▶ ASSIGN ボタン**

エントリーリスト画面とファイルアサイン画面を切り換えます。

ENTRY ◀の部分を押すと、エントリーリスト画面が表示されます。

⑫ **Current ボタン**

このボタンを押すと、テイク名リストを現在のフォルダーのテイク名リストにします。

⑬ **フォルダー名 / プレイリスト名表示**

現在のフォルダー名とプレイリスト名を表示します。

編集後、保存を行っていない状態で “ ” が表示されます。

⑭ **キーアサインリスト / ボタン**

エントリーを割り当てるボタンです。

フラッシュページ番号 ─ フラッシュキー番号を表示します。

プレイリストのチェック結果を “ ” アイコンに表示します。

また、現在再生中のエントリーの場合、アイコンが“ ”表示になり、ボタンが緑色にハイライト表示されます。

- 再生中のエントリー
- 問題のないエントリー
- 形式が異なり、再生できないエントリー
- 登録ファイルがFTPや **“BROWSE”** 画面で削除されて存在しないエントリー
- エントリー登録なし

このボタンを押してから登録したいテイク名のボタンを押すことでこのボタンにテイクを登録できます。

⑮ **カレントフォルダー名表示 / ボタン**

現在テイクリスト表示部に表示されているフォルダー名を表示します。

このボタンを押すと、テイクリスト表示部にフォルダーのリストを表示します。

⑯ **テイク名リスト / ボタン**

カレントフォルダーにあるテイクをリストに表示します。

登録したいキーアサインボタンを押してから、このボタンを押すことでキーアサインボタンにそのテイクを登録できます。

カレントフォルダー名ボタンを押して、カレントフォルダー名表示にルートにあるフォルダー名が表示されているときは、ルートにあるフォルダーに含まれるフォルダーをリストに表示します。

切り換えたいフォルダーのボタンを押すと、そのフォルダーのテイク名リストを表示します。

⑰ **スクロール ボタン**

テイクリストもしくはフォルダーリストの先頭、末尾、1ページ(5行)ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルを使っても、1行ずつテイクリストをスクロールすることができます。

⑱ **ページ表示 / 選択ボタン**

現在のキーアサインボタンのページを表示します。

“+” ボタンまたは **“−”** ボタンを押してページを切り換えます。

⑲ **INFO ボタン**

キーアサインボタンを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたキーアサインボタンの情報をポップアップウィンドウに表示します。

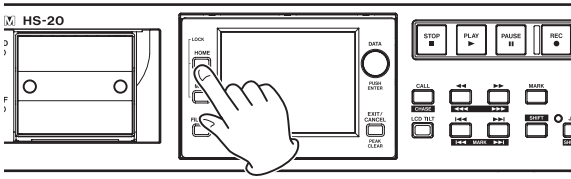
テイクを選択した状態でこのボタンを押すと、選択されたテイクの情報をポップアップウィンドウに表示します。

なにも選択していない状態でこのボタンを押すと、現在のプレイリストについての情報を表示します。

⑳ **MENU ボタン**

“REBUILD”、**“CLEAR”**、**“ADJUST”**、**“SAVE”**、**“SAVE AS”** を選択するプルアップメニュー項目を表示します。

テイクをエントリーに登録する

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押してプルダウンメニューを表示し、**“ASSIGN FILE”** ボタンを押します。

エントリーを登録するファイルアサイン画面が表示されます。

左側に登録するボタン群が、右側に登録できるテイクのリストが表示されます。

メ モ

エントリーリスト画面の **“▶ASSIGN”** ボタンを押すことで、ファイルアサイン画面を呼び出すこともできます。

3. 最初に、テイクを登録するキーアサインボタンを選択します。

4. **“+”** ボタンおよび **“−”** ボタンを使って登録したいページを表示します。

5. 左側のキーアサインボタンリストにあるボタンに触れて登録したいキーアサインボタンを選択します。選択されたボタンの背景が水色にハイライト表示されます。

メ モ

エントリーがすでに登録されているボタンを選択したときは、テイクリストにある該当のテイクの背景が黄色にハイライト表示されます。

6. テイクリストにあるテイク名の部分を押すと、選択したテイクがそのボタンに登録されます。テイクが登録されたボタンはアイコンが未登録の “■” から “☑” に変わります。

メ モ

- プレイリストに登録できるのは、そのプレイリストがあるフォルダーのテイクのみです。
- 登録したいテイクが表示されていないときは、スクロールボタンまたは**DATA**ダイヤルを使ってリストをスクロールして登録したいテイクを表示させて、そのテイク名を押します。

ヒント

登録したいテイクが他のフォルダーにある場合には、カレントフォルダー名ボタンを押して、フォルダーリストを表示させます。登録したいテイクが含まれるフォルダー名の部分を押して、そのフォルダーのテイク名リストを表示させます。

7. 必要に応じ手順**3.** 〜 **6.**を繰り返します。

8. 全て登録が終わったら、必要に応じてプレイリストを保存します。

保存をする場合には、ファイルアサイン画面またはエントリーリスト画面で **“MENU”** ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目、もしくはホーム画面のファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの **“SAVE”** ボタンを押します。

保存の詳細は、76 ページ「プレイリストを保存する」を参照してください。

ヒント

エントリーリスト画面でも同様の手順でテイクをエントリーに登録することが出来ます。

注 意

保存（**“SAVE”**）を行わない場合、他のプレイリストをロードしたり、カードを抜いたり、本機の電源を切るなどすると、変更した内容はクリアされます。

エントリー番号一覧

プレイリストのエントリー番号は以下のようになります。

ページ番号	エントリー番号
1	1-20
2	21-40
3	41-60
4	61-80
5	81-100

エントリーへの登録を解除する

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **“ENTRY LIST”** ボタンを押します。

   エントリーを操作するエントリーリスト画面が表示されます。

3. 登録を解除したいエントリーを選択します。背景が黄色のハイライト表示になり、右側にテイクリストが表示されます。

   テイクが登録されているエントリーを選択したときは、テイクリストにある該当のテイクの背景が黄色にハイライト表示されます。

メ モ

背景が黄色にハイライト表示されたテイク名ボタンを押すことで、登録を解除することもできます。

4. エントリーリスト画面内の **“MENU”** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

5. プルアップメニュー項目内の **“CLEAR”** ボタンを押すと、エントリーがクリアされます。

メ モ

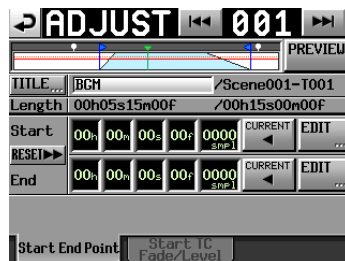
ファイルアサイン画面で、左側のキーアサインボタンを選択した状態で、右側のテイクリストで黄色くハイライト表示されているテイク名を押すか、**“MENU”** ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目で **“CLEAR”** ボタンを押すことでも登録を解除できます。

エントリーのタイトルを編集する

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **“ADJUST ENTRY”** ボタンを押します。

   “ADJUST ENTRY x x x” 画面が表示されます（ **“x x x”** はエントリー番号を表します）。

メ モ

この画面は、エントリーリスト画面でテイクを選択した状態またはファイルアサイン画面で左側のキーアサインボタンを選択した状態で **“MENU”** ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目で **“ADJUST”** ボタンを押すことでも表示できます。

[エントリーリスト画面]

[ファイルアサイン画面]

3. **“TITLE”** に表示されている文字列が、選択したエントリーのタイトルです。**“TITLE”** ボタンを押すと、エントリーのタイトルを編集する **“EDIT TITLE”** 画面が表示されます。

タイトル名を入力します。入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

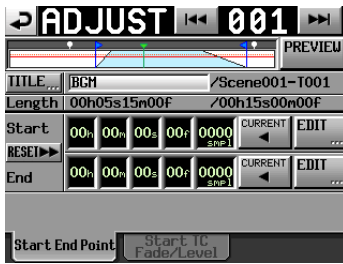
4. **“EDIT TITLE”** 画面の **“Enter”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すとエントリーのタイトルが変更されます。

再生開始 / 終了位置の編集

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、**“HOME”** 画面を表示します。
2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **“ADJUST ENTRY”** ボタンを押します。
   “ADJUST x x x” 画面が表示されます。(**“x x x”** はエントリー番号を表します。)

メ モ

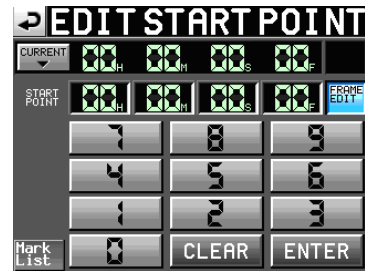
この画面は、エントリーリスト画面でテイクを選択した状態または、ファイルアサイン画面で、左側のキーを選択した状態で **“MENU”** ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目で **“ADJUST”** ボタンを押すことでも表示できます。

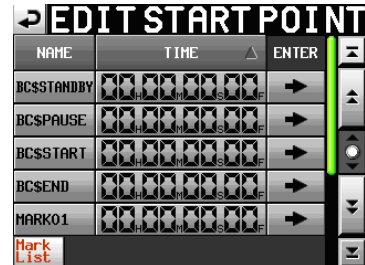
3. **“Start End Point”** タブ画面を表示します。

4. 時刻表示桁をタッチすると黄色のハイライト状態になり、該当するカーソルバーが点滅します。
   時刻桁が選択された状態では、**DATA**ダイヤル操作で、Start / End 位置が変更できます。
   選択桁の桁上げや桁下げにより、上位桁が± 1になります。
5. 変更したい分解能に合わせて桁を選択します。
   フレーム精度で変更する際はフレーム桁を選択し、サンプル精度で変更する際はサンプル桁を選択します。

メ モ

- **“CURRENT”** ボタンで、現在の再生位置をStart / End位置にキャプチャーできます。
- **“RESET”** ボタンで、**“Start / End Point”** をファイルの先頭 / 末尾時刻にリセットするかどうかの確認ポップアップウィンドウを表示します。ポップアップウィンドウの **“OK”** ボタンを押すと、**“Start / End Point”** がファイルの先頭 / 末尾時刻にリセットされます

数字ボタン / マークリスト画面を使って再生開始/終了位置を編集する

1. **“EDIT”** ボタンを押すと、再生開始 / 終了位置を編集する **“EDIT START POINT”** 画面 / **“EDIT END POINT”** 画面が表示されます。

   “EDIT START POINT” 画面の **“FRAME EDIT”** ボタンでフレーム値まで入力するかどうかを設定します。

2. 数字ボタンを使って、エントリーの再生開始 / 終了位置を入力します。
   - 入力する桁を選択せずに入力すると、最下位桁から順に入力します。
   - 入力する桁を選択する場合は、その桁を押し、背景を黄色く反転させ、数字ボタンもしくは**DATA**ダイヤルを使って、2桁ずつ入力します。
   - **“CURRENT ▼”** ボタンを押すと、現在の再生位置を入力値にコピーすることができます。
   - **“SET MAX ▲”** ボタンを押すと、ファイルの末尾時刻を入力値に設定することができます。
   - **“CLEAR”** ボタンを押すと、入力値が全てゼロクリアされます。
   - **“Mark List”** ボタンを押すと、指定したマークから時刻を取り込むことのできるマークリスト画面を表示します。

   この画面で、時刻を取り込みたいマークの **“→”** ボタンを押すと、そのマークの時刻が再生開始 / 終了位に設定され、**“ADJUST ENTRY x x x”** 画面に戻ります。

メ モ

再生開始/ 終了時刻を変更する際、再生開始/ 終了時刻間の長さがフェードイン / フェードアウトの長さの合計より長くなるように、再生開始/ 終了時刻の設定値を自動的に抑えます。

3 **“ENTER”** ボタンを押して、確定します。

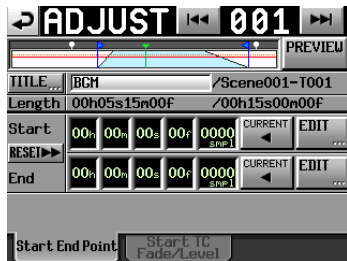
ヒント

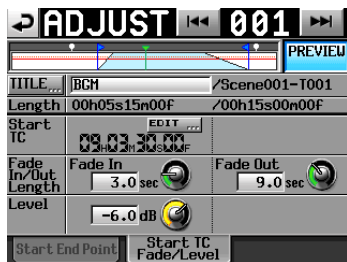
- **PLAY**キーなどのトランスポートキーを使って、音声を聴きながら位置を決め、**“CURRENT ▼”** ボタンを押して入力値にコピーすることもできます。
- **“EDIT START POINT” 画面 / “EDIT END POINT” 画面**では外付けキーボードを使っての編集も可能です。
  キーボードの**ESC**キーを押すと、ゼロクリアします。

再生開始時刻を編集する

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、" **HOME**" 画面を表示します。
2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の“**ADJUST ENTRY**”ボタンを押します。

   “**ADJUST xxx**”画面が表示されます(“**xxx**”はエントリー番号を表します)。

メモ

この画面は、エントリーリスト画面でテイクを選択した状態または、ファイルアサイン画面で、左側のキーを選択した状態で“**MENU**”ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目で“**ADJUST**”ボタンを押すことでも表示できます。

3. “**Start TC Fade/Level**”タブを押して以下の画面を表示します。

4. “**EDIT**”ボタンを押して開く、“**EDIT START TC**”画面の数字ボタンで**Start TC**を変更します。
5. “**START TC**”に表示されている値が、選択したエントリーの再生開始時刻です。“**START TC**”項目内の“**EDIT**”ボタンを押すと、再生開始時刻を編集する“**EDIT START T/C**”画面が表示されます。

   “**EDIT START T/C**”画面の“**FRAME EDIT**”ボタンでフレーム値まで入力するかどうかを設定します。

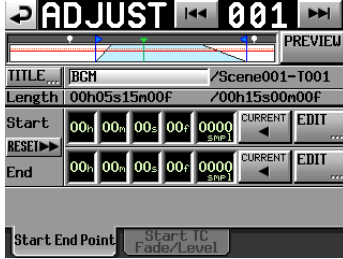
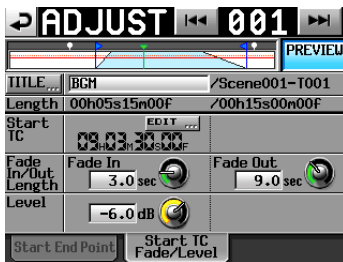
6. 数字ボタンを使って、エントリーの再生開始時刻を入力します。
   - 入力する桁を選択せずに入力すると、最下位桁から順に入力します。
   - 入力する桁を選択する場合は、その桁を押し、背景を黄色く反転させ、数字ボタンもしくは**DATA**ダイヤルを使って、2桁ずつ入力します。
   - “**CURRENT ▼**”ボタンを押すと、現在のタイムコード時刻を入力値にコピーすることができます。
   - “**CLEAR**”ボタンを押すと、入力値が全てゼロクリアされます。
7. “**ENTER**”ボタンを押して、確定します。

ヒント

- **PLAY**キーなどのトランスポートキーを使って、音声を聴きながら位置を決め、“**CURRENT ▼**”ボタンを押して入力値にコピーすることもできます。
- 外付けキーボードを使っての編集も可能です。
  キーボードの**ESC**キーを押すと、ゼロクリアします。

フェードイン / アウト長、レベルの編集

1. フロントパネルの**HOME** キーを押して、**" HOME"** 画面を表示します。
2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の "**ADJUST ENTRY**" ボタンを押します。

   "ADJUST x x x" 画面が表示されます(**"x x x"** はエントリー番号を表します)。

3. **"Start TC Fade / Level"** タブを以下の画面を表示します。

4. **"Fade In"**、**"Fade Out"**、**"Level"** ノブを選択した後、**DATA**ダイヤルを回して設定します。

   設定値：
   - Fade In / Out Length：0-30秒
     (0.1秒 / step：押し回し時は1.0秒 / step)
   - Levelの値域：－ ∞ ～ +10dB

メ モ

- フェードイン/アウト長を変更する際、フェードイン / アウト長が再生開始/ 終了時刻の長さ以下となるように、フェードイン / アウト長の設定値を自動的に抑えます。
- 設定されたレベルが赤の実線で表示されます。
- 基準レベル(0dB)が橙の点線で表示されます。

リハーサル再生操作 / 動作

"ADJUST ENTRY" 画面でトランスポート操作を行うことでリハーサル再生を実施します。

- ⏮ / ⏭キー操作で「素材先頭 / **Start Point / End Point** / 素材末尾」に移動する以外は、通常のトランスポート操作と同じです。
- **Start Point** / **Fade In Length**を変更すると、再生位置を**Start Point**に移動します。再生中に変更した場合は、再生位置を移動後に再生します。
- **End Point / Fade Out Length**を変更すると、再生位置を下記位置に移動します。再生中に変更した場合は、再生位置を移動後に再生します。

	PREVIEW OFF時	PREVIEW ON時
EndPoint変更時	EndPointの2秒前	FadeOut開始位置の2秒前
FadeOutLength変更時	FadeOut開始位置の2秒前	FadeOut開始位置の2秒前

- **"PREVIEW"** ボタンでリハーサル再生内容が切り換わります。

PREVIEW OFF時のリハーサル再生

- **Fade IN / OUT**および**Level Adjust**無しの音を再生します。
- **Start / End Point**の範囲外に移動ができます。
- 再生中に**End Point**に到達した場合、停止して再生位置を**Start Point**に移動します。
  PLAY キーを押すと**Start Point**から再生を開始します。
  End Point以降への移動は、⏩キー、⏭キー、**SHIFT+**⏭キー、**JOG / SHUTTLE**ダイヤルの操作で行います。

PREVIEW ON時のリハーサル再生

- **Start / End Point**の範囲内だけを再生します。
  範囲外には移動できません。
- **Fade IN / OUT**設定およびレベル設定どおりの音を再生します。

プレイリストを保存する

現在のプレイリストをカレントフォルダー (現在ロード中のフォルダー)にJPPA PPLファイルで保存します。

注 意

プレイリストの編集を行った場合は、必要に応じプレイリストを保存してください。保存(**"SAVE"**)を行わない場合、他のプレイリストをロードしたり、選択されたカードを抜いたり、本機の電源を切るなどすると、変更した内容はクリアされます。

編集を行って保存されていないときは、ファイル名またはタイトル名表示ボタンの部分に **"*"** が表示されています。また、**"*"** が表示されている状態で他のプレイリストをロードしたり、新規プレイリストを作成したり、オペレーションモードを切り換えるなどの編集内容がクリアされるような操作を行う場合にはプレイリストを保存するかのポップアップメッセージが表示されます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **"SAVE"** ボタンを押します。

3. 保存を開始します。

   保存中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。

   保存が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メ モ

エントリーリスト画面またはファイルアサイン画面内の **"MENU"** ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目の中の **"SAVE"** ボタンを押すことでもプレイリストを保存することができます。

[エントリーリスト画面]

[ファイルアサイン画面]

プレイリストに名前をつけて保存する

エントリーリスト画面またはファイルアサイン画面で **"MENU"** ボタンを押して表示されるプルアップウィンドウで、**"SAVE"** ボタンの代わりに **"SAVE AS"** ボタンを押すと、名前をつけて保存をすることもできます。

1. フロントパネルの**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。
2. ファイル名またはタイトル名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの中の **"SAVE AS"** ボタンを押します。

新しいプレイリスト名を入力する **"PLAYLIST NAME"** 画面が表示されます。

3. プレイリスト名を入力します。入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。
4. **"PLAYLIST NAME"** 画面の **"Enter"** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、この名前で保存を行います。

   作成中は、進行状況をポップアップウィンドウ内に表示します。

   作成が完了すると、ポップアップウィンドウが消えます。

メ モ

入力した名前のファイルがすでに存在するときは、そのファイルに上書きするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。

"OK" ボタンを押すとそのファイルを上書きし、**"CANCEL"** ボタンを押すと **"PLAYLIST NAME"** 画面に戻ります。

"OK" ボタンを押すとそのファイルを上書きし、**"CANCEL"** ボタンを押すと **"PLAYLIST NAME"** 画面に戻ります。

ヒント

エントリーリスト画面またはファイルアサイン画面で **"MENU"** ボタンを押して表示されるプルアップメニュー項目の中の **"SAVE AS"** ボタンを押すことでも名前をつけて保存することができます。

再生する

プレイリストの選択

1. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押して、プレイリスト選択画面を表示します。

2 再生したいプレイリストの名前を押して選択します。背景が黄色にハイライト表示されます。

3 プレイリスト選択画面で **“MENU”** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

[プレイリスト選択画面プルアップ表示]

4. プルアップメニュー項目の **“LOAD”** ボタンを押して、プレイリストをロードします。確認のポップアップウィンドウが開きます。

“OK” ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。ロードが完了すると、ホーム画面に戻ります。

メモ

プレイリスト選択画面で、**“MENU”** ボタンを押して、プルアップメニュー項目の中の **“LOAD”** ボタンを押すかわりに、再生したいプレイリストの **“→”** ボタンを押すことでも、再生したいプレイリストをロードすることができます。
上と同じポップアップメッセージが出ますので **“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

再生

PLAYキーを押します。

PAUSEキーを押すと、再生待機状態になります。
再生待機状態を解除するには、**PLAY**キーを押します。

STOP キーを押すと、停止します。

⏮[MARK⏮]キーまたは**⏭[MARK⏭]** キーを押すと、エントリーを切り換えます。

◀◀[◀◀◀] / ▶▶[▶▶▶] キーを押している間は、早戻し / 早送り再生をします。

SHIFTキーを押しながら、**⏮[MARK⏮]**キーまたは**⏭[MARK⏭]** キーを押すと、マークポイントを移動します。

SHIFTキーを押しながら、**◀◀[◀◀◀]**キーまたは**▶▶[▶▶▶]** キーを押している間は、高速サーチをします。

メモ

- **“PLAY SETUP”**画面で、選択しているエントリーのみを再生するか、現在のプレイリスト内にある全てのエントリーを再生するかの設定ができます。また、リピート再生のオン / オフの設定ができます。（→ 82 ページ「再生設定 (PLAY SETUP)」）
- **PARALLEL**端子から再生を制御することも可能です。

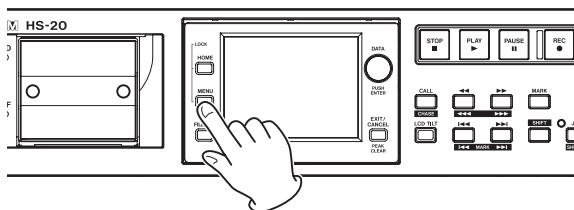
コール

CALL [CHASE] キーを押すと、最後に再生待機状態から再生を開始したポイント（コールポイント）にロケートし、再生待機状態となります。

フラッシュスタート機能を使う

別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）などを使って、フラッシュスタートすることが可能です。
詳細は、112 ページ「フラッシュスタート機能」を参照してください。

メニュー画面

フロントパネルの**MENU**キーを押すと、以下の“**MENU**”画面を表示します。

■ **REC SETUP ボタン**
録音の設定を行います。

■ **PLAY SETUP ボタン**
再生の設定を行います。

■ **SYNC T/C ボタン**
同期およびタイムコード関連の設定を行います。

■ **REMOTE SETUP ボタン**
外部リモコンの設定を行います。

■ **AUDIO I/O ボタン**
音声信号の入出力の設定を行います。

■ **METER SETUP ボタン**
レベルメーターの設定を行います。

■ **SYSTEM SETUP ボタン**
システムの設定を行います。

■ **VERSION INFO ボタン**
システムのバージョンを表示します。

■ **BROWSE ボタン**
SDカード / CFカードおよびUSBメモリのフォルダー / ファイルの表示/操作をします。

■ **MEDIA MANAGE ボタン**
MEDIAの操作をします。

■ **TIMER EVENT LISTボタン**
タイマーイベントリストへの新規イベントの追加、登録済みイベントの削除、編集を行います。

■ **OPERATION MODE ボタン**
動作モードの設定を行います。

録音設定 (REC SETUP)

“**REC SETUP**”画面には、“**REC MODE**”タブ画面、“**FILE FORMAT**”タブ画面、“**OPTIONS**”タブ画面の三つのタブ画面があります。
画面下のタブで、タブ画面を選択します。

REC MODEタブ画面

録音モードの設定を行います。

REC MODE

- **“Single” :** 選択されたメディア(カレントメディア)にのみ録音します。(初期値)
- **“Mirror” :** 2枚のメディアに同時に録音します。

● **設定ボタンの表示**

RECモード	表示ボタン
“Single” 設定時	Single / Mirror
“Mirror” 設定時	Single / Mirror
“Mirror” 設定時 (**“Mirror”** 録音不可 / 無効) (*1、*2)	Single / Mirror

*1)録音不可となる条件

- カレントメディアの残量が無い。
- カレントメディアが装着されていない。
- カレントにしたCFカードが未対応のメディア。 (PIOモード)
- カレントメディアが未対応のフォーマット。
  (FAT16 / FAT32以外)
- どちらかのメディアに、テイク名がホーム画面の **“NEXT TAKE NAME”** 画面設定と同じで番号が999のテイクが存在する。(ホーム(**“NEXT TAKE NAME”**)画面の番号部に **“---”** と表示されている状態)
- 両メディアのカレントフォルダー内の全エントリー数(ファイル、フォルダーの総数)の合計がシステム制限を越えている。
  また、タイムラインモードで録音 / 編集を繰り返すことでリージョンや編集履歴を管理するための作業メモリの空き容量が不足し、録音出来ない状態。
  (メディア残量表示ボタンに **“RecLimit”** と表示されている状態)

*2)ミラー録音が無効となる条件

- カレントでないメディアの残量が無い。
  (カレントメディアの残量が無い場合は録音不可 *1)
- カレントでないメディアが装着されていない。
  (カレントメディアが装着されていない場合は録音不可 *1)
- カレントでないCFカードが未対応のメディア。(PIOモード)
  (カレントメディアが未対応のメディアの場合は録音不可 *1)
- カレントでないメディアが未対応のフォーマット。
  (FAT16 / FAT32以外。カレントメディアが未対応のフォーマットの場合は、録音不可 *1)
- CFカードがUDMAに非対応 。
- どちらかのメディアが本機でフォーマットされていない。
  (本機推奨クラスタサイズでフォーマットされていない)
- REC Fsが88.2k、96k、176.4k、192kHzに設定されている。

➜ これらの条件のどれか1つが当てはまる場合、ミラー録音はされず、カレントメディアのみに録音されます。

メ モ

- **“Mirror”** 設定になると、カレントメディアのカレントフォルダーと同じフォルダーを、選択されていないメディアに作成します。
  “Mirror” 設定で録音を開始すると、２枚のメディアの同じフォルダーに、同じテイク名で録音されます。
- **“Mirror”** 設定でカレントメディアが録音不可の場合、カレントでないメディアの残量があっても録音できません。
- ミラー録音中にタイムカウンター表示モードが **“TOTAL REMAIN”** の場合、**“Mirror”** 設定での録音可能時間(残量の少ないメディアでの録音可能時間)が表示されます。
  ミラー録音中に一方のメディアの残量がなくなった場合は、録音を継続しているメディアでの録音可能時間が表示されます。

各種メッセージ

● **“Mirror”** 無効状態の時に **“REC Mode”** 設定を **“Mirror”** に切り換えた場合、下記メッセージを表示します。

① どちらかのメディアが録音不可の場合

② CFカードがUDMAに非対応

③ どちらかのメディアが本機でフォーマットされてない

● **“Mirror”** 無効状態で録音を開始した場合、下記メッセージを表示します。

① 下記②、③以外の **“Mirror”** 無効状態の場合

② CFカードがUDMAに非対応

③ CFカードが本機でフォーマットされてない

● **“Mirror”** 設定での録音中にどちらか一方のメディアで残量が無くなったりエラーが発生した場合、残量が無くなったメディアやエラーが発生したメディアへの録音は停止します。もう一方のメディアへの録音も現在のファイルへの録音を停止しますが、次のテイクに新しいファイルとして録音を開始し、録音を継続します。
この時、メッセージおよびメディアの残量表示ボタンは、下記のようになります。

① 一方のメディアの残量が無くなった場合

[メディア残量ボタン]

② 一方のメディアで録音エラーが発生した場合

[メディア残量ボタン]

Auto SPACE Check

録音停止時、録音Fs変更時、ダウンロード完了時など、メディア残量に変化があった際、録音可能時間が**Target Free SPACE**で設定した時間以下になった場合に通知する機能を設定します。

録音可能時間が設定時間以下になった場合、

とポップアップメッセージが表示されます。
OK ボタンを押すと、再度確認メッセージが表示されますので、再度**OK** ボタンを押すと、FTPサーバーにアップロード済みのファイルをすべて削除します。
アップロード済みのファイルが無い場合、
"There are no uploaded takes to delete."
とポップアップメッセージが表示されます。
CANCELボタンを押すと、ポップアップメッセージを閉じます。
設定ボタン : “Disable” (無効、初期値)、“Enable” (有効)

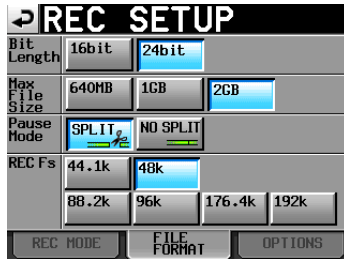
Target Free SPACE

設定値 : **"1h"**(初期値) 〜 **"24h"**

メモ

本機能でファイルの削除を実行してもTarget Free SPACEで設定した時間、録音可能時間が確保できない場合もあります。
その際は、手動で不要なファイルの削除を行って下さい。

FILE FORMATタブ画面

ファイルフォーマットの設定を行います。

Bit Length

録音するファイルの量子化ビット数を下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"16bit"**（初期値）、**"24bit"**

Max File Size

録音するファイルの最大サイズを下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"640MB"**、**"1GB"**、**"2GB"**（初期値）

Pause Mode

録音中に録音待機状態としたときにファイルを分割するかどうかを下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"SPLIT"**（初期値）、**"NO SPLIT"**

REC Fs

録音するファイルのサンプリング周波数を下記ボタンから設定します。

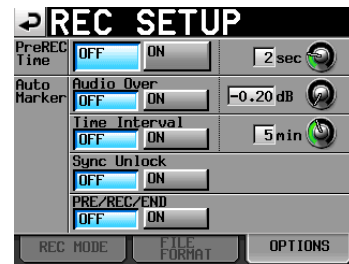
設定ボタン : **"44.1k"**, **"48k"**（初期値）, **"88.2k"**, **"96k"**, **"176.4k"**, **"192k"**

メモ

タイムラインモードではこの画面で録音時のサンプリング周波数を切り換えることはできません。

現在と異なる録音サンプリング周波数のタイムラインで録音したい場合は、42 ページ「新規AES31編集情報を作成する」の手順に従い、希望するサンプリング周波数のAES31編集情報ファイルを作成してください。

OPTIONSタブ画面

プリレック、オートマーカーの設定を行います。

PreREC Time

プリレック動作のオン / オフの設定とプリレック動作時間を設定します。（初期値 : **"OFF"**）

"PreREC Time" の設定が **"ON"** のときは、録音待機中に入力される信号を設定した時間内部メモリーに取り込みを行い、録音開始時に最大5秒前から録音することができます。

プリレックタイムの設定は、つまみの部分を押し、**DATA**ダイヤルを使って行います。

設定値 : **"1"** 秒〜 **"5"** 秒（初期値 : **"2"** 秒）

Auto Marker

オートマーカーの設定を行います。

- **Audio Over :**

  オーディオレベルを検知してマークポイントを付けます。

  設定したレベルを超えた場合に、マークポイントを付けます。

  機能のオン / オフと検知するレベルを設定します。

  （初期値 : **"OFF"**）

  レベルの設定は、つまみの部分を押し、**DATA**ダイヤルを使って行います。

  設定値 : **"−0.20dB"**（初期値）、**"−0.17dB"**、**"−0.13dB"**、**"−0.10dB"**、**"−0.06dB"**、**"−0.03dB"**

  ここでの設定は、**"METER SETUP"** 画面の **"Over Level"** 設定にも反映されます。

- **Time Interval :**

  一定時間ごとにマークポイントを付けます。機能のオン / オフと時間を設定します。（初期値 : **"OFF"**）

  時間の設定は、つまみの部分を押し、**DATA**ダイヤルを使って行います。設定値は、**"1"** 分〜 **"10"** 分です。（初期値 : **"5"** 分）

- **Sync Unlock :**

  マスタークロックとの同期が外れたときにマークポイントを付けます。機能のオン / オフを設定します。（初期値 : **"OFF"**）

- **PRE / REC / END :**

  プリレック開始位置　/録音開始位置/録音終了位置に自動的にマークを付けます。機能のオン / オフを設定します。

  （初期値 : **"OFF"**）

メモ

"Audio Over"（オーディオオーバー）とは、最大レベル（フルビット）からユーザーが設定した値を引いたレベルを超えることです。

（上記の例では、最大レベルから0.20dB引いたレベルを超えた場合になります。）

メモ

"PRE/REC/END" のオートマーカーは、テイクにのみ記録され、タイムラインモードのタイムラインには現れません。

メモ

"Audio Over" と **"Sync Unlock"** のオートマーカーを付けた後は、10秒経過するまで同一マークを付けません

再生設定 (PLAY SETUP)

再生の設定を行います。

GENERALタブ画面

各種再生モードの設定を行います。

Play Mode

テイクやエントリーを再生する方法を下記のボタンから設定します。この機能はタイムラインモード以外のモードで有効です。

One Take ボタン (初期値) : 現在選択しているテイクやエントリーのみを再生します。

All Take ボタン : 現在ロードしているフォルダー内の全テイク、もしくはプレイリスト内の全エントリーを再生します。

Repeat Mode

リピート再生のオン / オフを設定します。（初期値 : **"OFF"** ）

CONTROLタブ画面

各種再生機能の設定を行います。

Auto Cue（初期値 : **"OFF"** ）

オートキュー機能のオン / オフを設定します。

オートキュー機能がオンの場合は、テイクを変更したとき、またはテイクをロードしたときに、音の立ち上がり位置で再生待機状態になります。テイクの最後まで音声を検知しなかったときは、**"Play Mode"** 項目の設定が **"One Take"** の場合はテイクの先頭で停止、**"All Take"** の場合は次のテイクで検出を継続します。

この機能はタイムラインモード以外のモードで有効です。

音の立ち上がりを検出するレベルの設定は、つまみの部分を押し、**DATA**ダイヤルで行います。

設定値 : **"−72dB"**、**"−66dB"**、**"−60dB"**、**"−54dB"**（初期値）、**"−48dB"**、**"−42dB"**、**"−36dB"**、**"−30dB"**、**"−24dB"**

Auto Ready（初期値 : **"OFF"** ）

オートレディ機能のオン / オフを設定します。

オートレディ機能がオンの場合は、再生中のテイクの再生が終了すると、次のテイクの先頭で再生待機状態になります。

この機能はタイムラインモード以外のモードで有効です。

Inc. Play（初期値 : **"OFF"** ）

インクリメンタルプレイ機能のオン / オフを設定します。

インクリメンタルプレイ機能がオンの場合は、再生中に**PLAY**キーを押すと、次のテイクに移動し、テイクの先頭から再生を続けます。

再生中に**STOP キー**を押すと、次のテイクの先頭で再生待機状態になります。

この機能はタイムラインモード以外のモードで有効です。

PLAY Inhibit Time

同じテイク(エントリー)の次の再生開始操作を一定時間禁止します。

PLAYキー、別売の専用リモートコントローラー (TASCAM RC-HS20PD)の**PLAY**キー、フラッシュスタートキーおよびフェーダースタート、外部コントロール(RS-232C / RS-422 / Parallel / Keyboard)によるPlay、Flash Startコマンドにより再生が開始されてから設定した時間の間、これらのキーやコマンド(別テイク / エントリーのフラッシュスタートキー / コマンドは除く)を無効にします。

設定値 : **"0 msec"**（初期値）〜 **"1000 msec"**（100 msec刻み）、**"Inf"**（再生中は該当のキーは無効)

メモ

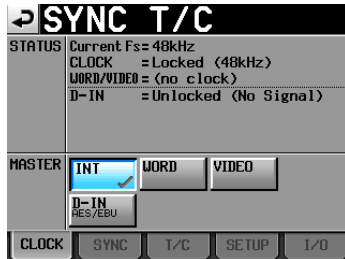
"PLAY Inhibit Time" 項目が **"Inf"** に設定されたときは、インクリメンタルプレイ機能は自動でオフに固定されオンに切り換えることはできません。

シンク、タイムコード設定 (SYNC T/C)

オーディオ同期とタイムコードの設定を行います。

"SYNC T/C" 画面には、**"CLOCK"** タブ画面、**"SYNC"** タブ画面、**"T/C" タブ**画面、**"SETUP"** タブ画面、**"I/O" タブ**画面の五つのタブ画面があります。画面下のタブで画面を選択します。

CLOCKタブ画面

各種クロックの状態表示および同期するクロックの設定を行います。

STATUS

Current Fs :
現在のサンプリング周波数を表示します。

CLOCK :
クロック同期状態を表示します。

WORD / VIDEO :
同期信号が入力されている場合は、**"WORD"**、**"VIDEO"**、**"TriLevel"** のいずれかを表示します。

D-IN :
デジタル入力信号の状態が下記のように表示されます。

デジタル入力信号の状態	表示
ロック時	**"Locked (xx.xxxkHz)"**
サンプリングレートコンバーターがオンの時	**"Locked (xx.xxxkHz FsCnv)"**
アンロック時	**"Unlocked (xx.xxxkHz)"**
無信号時	**"Unlocked (no signal)"**
非オーディオ信号時	**"Not Audio"**
その他Cbit情報と実際の動作モードが違う時	**"Unmatched Cbit"**

MASTER

使用するマスタークロックを下記のボタンから設定します。

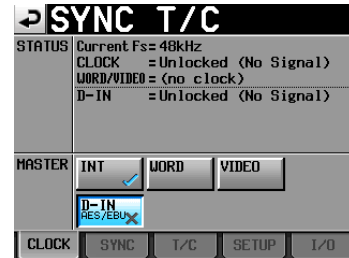
INT ボタン(初期値) :
本機の内部クロックを使用します。

WORD ボタン :
WORD/VIDEO IN 端子に入力されるワードクロックに同期します。

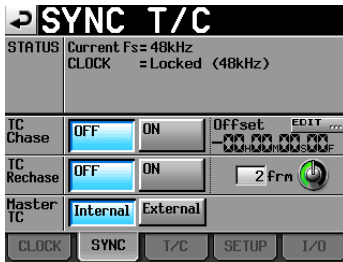
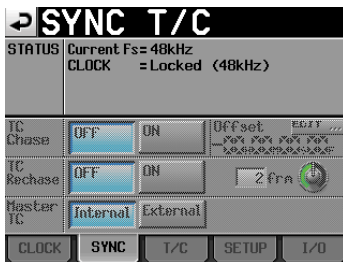
VIDEO ボタン :
WORD/VIDEO IN 端子に入力されるビデオクロックに同期します。

D-IN ボタン :
DIGITAL INのデジタル入力として選択されているデジタル信号のクロックに同期します。
サンプリングレートコンバーターがオンのデジタル入力は、マスタークロックに選択できません。
ボタンの２行目には、選択されているデジタル入力信号名が表示されます。

メモ

- 動作中のクロックのボタンには、"✓" マークが表示されます。
- 外部クロックの同期が外れた場合は、内部クロックで動作します。この際、動作クロックである **"INT"** ボタンに "✓" マークが表示され、同期が外れている設定ボタンには "✕" マークが表示されます。

SYNCタブ画面

同期関連の設定を行います。

メモ

オプションのSY-2が未装着の状態では網掛け表示され、設定できません。

STATUS

現在のサンプリング周波数とクロックの同期状態を表示します。

TC Chase (初期値 : **"OFF"**)

タイムコード同期運転動作のオン / オフを設定します。

タイムコードマスター側の機器（オーディオレコーダーやビデオまたは内蔵タイムコードジェネレーター）と本機側のオーディオのタイミングを一致させたい場合、**"ON"** にします。

また、タイムコードマスター側の機器のタイムコードに対するタイムコードオフセット（TC Offset）を設定することができます。オフセット値の設定は、**"EDIT"** ボタンを押して表示される **"CHASE OFFSET"** 画面で行います。**"−23 : 59 : 59.29"** から **"+23 : 59 : 59.29"** の範囲で設定できます。（初期値 : **"00 : 00 : 00.00"** ）

メモ

"TC Chase" の **"ON"** / **"OFF"** は、**SHIFT**キーと**CALL**キーを同時に押すことでも、オン / オフの切り換えができます。

TC Rechase

タイムコード同期再生中に同期がずれた場合に、再同期する機能のオン / オフを設定します。（初期値 : **"OFF"** ）

"OFF" に設定した場合には、一度同期した後は入力タイムコードを無視して自由走行するフリーランモードとして動作します。

"ON" に設定した場合には、どの程度同期がずれた段階でリチェイス動作に入るかのしきい値を設定します。設定値を変えるには、つまみの部分を押し、**DATA**ダイヤルを使って行います。

"1 / 3"、**"1"**、**"2"**（初期値）、**"5"**、**"10"** フレームの中から選択できます。

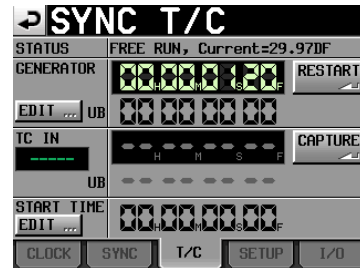
Master TC

内蔵タイムコードジェネレーターに同期するか、外部から入力されたタイムコードに同期するかを設定します。

INTERNAL ボタン　　　　: 内蔵ジェネレーターに同期します。

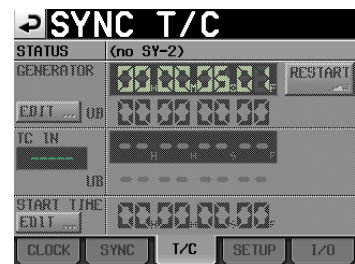
EXTERNAL ボタン (初期値) : 外部タイムコードに同期します。

T/Cタブ画面

タイムコード関連の設定を行います。

[フリーランモード時]

[フリーワンス、ジャムシンク時]

メモ

オプションのSY-2が未装着の状態では網掛け表示され、設定できません。

STATUS

本機のタイムコードジェネレーターのモードと現在のタイムコードフレームタイプの設定を表示します。

GENERATOR

上段に現在のタイムコードジェネレーターの時刻を表示します。

下段にユーザーズビット（ **"UB"** ）を表示します。

"GENERATOR" 項目の **"EDIT"** ボタン、もしくはユーザーズビット（ **"UB"** ）の表示部を押すと、**"T/C USERBITS"** 画面を表示します。

タイムコードジェネレーターがフリーランモードの場合は、**"RESTART"** ボタンを押すと、タイムコードジェネレーターのタイムコードをスタートタイムに戻します。

TC IN

上段に入力タイムコード時刻とフレームタイプを表示します。下段に入力タイムコードのユーザーズビット（ **"UB"** ）を表示します。

"FREE RUN" の時、**"CAPTURE"** ボタンを押すと現在のタイムコード時刻を取り込み、タイムコードジェネレーターのタイムコードに設定します。

タイムコードジェネレーターのモードが **"FREEONCE"**、あるいは **"JAM SYNC"** の時、タイムコードの取り込み待ちの状態では、**"WAITING"** インジケーター（キャプチャー状態表示）が緑に点灯し、タイムコードをキャプチャーすると消えます。

START TIME

"GENERATOR" 項目の **"RESTART"** ボタンを押したときに、タイムコードを再開する時刻を表示します。

"START TIME" 項目の **"EDIT"** ボタン、もしくは **"START TIME"** 項目の表示部を押すと、**"START TIME"** 画面を表示します。

SETUPタブ画面

タイムコードジェネレーターの設定を行います。

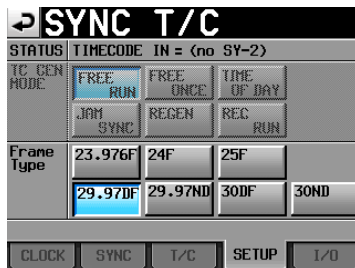
STATUS

現在のタイムコードのフレームタイプを表示します。

TC GEN MODE

タイムコードジェネレーターのモードを下記のボタンから設定します。

メモ

オプションのSY-2が未装着の状態では網掛け表示され、設定できません。

FREE RUN ボタン :

タイムコードジェネレーターが自走します。

FREE ONCE ボタン (初期値) :

入力タイムコードを一度キャプチャーすると、その後はフリーランモードで自走します。

TIME OF DAY ボタン :

以下の操作をしたときに、内蔵時計の時間をキャプチャーし、フリーランモードで自走します。

- 電源投入時
- **"TC GEN MODE"** を本モードに変更したとき
- 内蔵時計を再設定したとき

JAM SYNC ボタン :

タイムコードが入力されているときは、入力タイムコードに同期します。タイムコードの入力が無くなると、フリーランモードで自走します。

REGEN ボタン :

入力タイムコードに同期します。

REC RUN ボタン :

録音時のみタイムコードジェネレーターが動作します。録音以外では、タイムコードジェネレーターは止まります。

Frame Type

タイムコードのフレームタイプを設定します。

設定ボタン : **"23.976F"**、**"24F"**、**"25F"**、**"29.97DF"** (初期値)、**"29.97ND"**、**"30DF"**、**"30ND"**

I/Oタブ画面

同期信号の状態表示およびタイムコード出力の設定を行います。

メモ

オプションのSY-2が未装着の状態では網掛け表示され、設定できません。

STATUS

同期信号の状況を表示します。

TIMECODE IN :

タイムコードが入力されているときは、タイムコードのフレームレートを表示します。

WORD/VIDEO IN :

同期信号が入力されている場合は、**"WORD"**、**"VIDEO"**、**"TriLevel"** のいずれかを表示します。

TC Out Mode

タイムコードの出力モードを下記のボタンから設定します。

GenOut ボタン :

内蔵タイムコードジェネレーターのタイムコードを出力します。

PlayOut ボタン(初期値) :

タイムラインモードでは、再生 / 録音しているタイムコード時刻を出力します。テイクモードおよびプレイリストモード再生時では、ファイルに記録されているタイムコードを出力します。

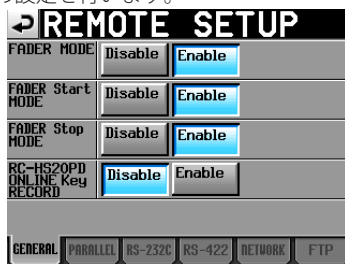
リモート設定 (REMOTE SETUP)

PARALLEL端子、**RS-232C**端子、**RS-422**端子、**NETWORK**、および**FTP**の設定を行います。

"REMOTE SETUP" 画面には、**"GENERAL"** タブ画面、**"PARALLEL"** タブ画面、**"RS-232C"** タブ画面、**"RS-422"** タブ画面、**"NETWORK"** タブ画面、**"FTP"**タブ画面、の六つのタブ画面があります。

画面下のタブで画面を選択します。

GENERALタブ画面

外部リモコンの設定を行います。

FADER MODE

外部リモコン(別売のTASCAM RC-HS20PDなど)のフェーダーを使用するかどうかを設定します。**"Disable"**にした場合、内部のフェーダーは0dB固定となります。

設定ボタン : **"Disable"**（無効）、**"Enable"**（有効、初期値）

FADER Start MODE

外部リモコン(別売のTASCAM RC-HS20PDなど)のフェーダースタート機能をオンにしたときに、フェーダースタート(再生待機状態のときにフェーダーを∞から上げたときに再生を開始する機能)を有効にするかどうかを設定します。

設定ボタン : **"Disable"**（無効）、**"Enable"**（有効、初期値）

FADER Stop MODE

外部リモコン(別売のTASCAM RC-HS20PDなど)のフェーダースタート機能をオンにしたときに、フェーダーストップ(再生中にフェーダーを∞に下げたときに再生待機状態にする機能)を有効にするかどうかを設定します。

設定ボタン : **"Disable"**（無効）、**"Enable"**（有効、初期値）

メモ

"FADER Start MODE" 項目と **"FADER Stop MODE"** 項目の両方を **"Disable"** に設定したときには、外部リモコン(別売のTASCAM RC-HS20PDなど)のフェーダースタート機能が自動でオフになり、**FADER START**インジケーターが消灯します。このとき、外部リモコンの**Fader Start**キーを押すと**"Cannot Change Now. Fixed in current mode"**とポップアップウィンドウに警告が表示されます。

RC-HS20PD ONLINE KEY RECORD機能

別売のTASCAM RC-HS20PDのONLINEキーによって録音操作を行うかどうかを設定します。

設定ボタン : **"Disable"**（無効、初期値）、**"Enable"** 有効

メモ

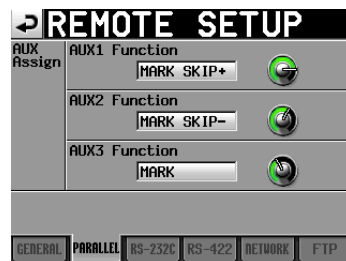
本設定が **"Enable"** 時の動作

- 停止状態でRC-HS20PDの**ONLINE**キーを押すと録音待機状態になり、RC-HS20PDの**ONLINE**キーが点灯します。
- 録音待機状態でRC-HS20PDの**PLAY**キーを押すと、録音を開始します。
- 録音状態でRC-HS20PDの**PAUSE**キーを押すと、録音待機状態になります。
- 録音状態でRC-HS20PDの**STOP**キーを押すと録音を停止し、RC-HS20PDの**ONLINE**キーが消灯します。

本設定が **"Disable"** 時の動作

- RC-HS20PDの**ONLINE**キー操作は無視されます。
- 録音待機状態でRC-HS20PDの**PLAY**キーを押しても録音を開始しません。
- 録音状態でRC-HS20PDの**PAUSE**キーを押しても録音待機状態になりません。

PARALLELタブ画面

PARALLEL端子のAUX1 / AUX2 / AUX3機能の設定を行います。

AUX Assign

各項目のつまみを押し、パラメーター表示部の背景を黄色く反転させ、**DATA**ダイヤルを使って設定します。

設定できるパラメーターは、**"F.FWD"**、**"REW"**、**"MARK"**、**"MARK SKIP－"**、**"MARK SKIP+"**、**"CALL"** です。

- **AUX1 Function**（初期値 : **"MARK SKIP+"** ）:
  PARALLEL端子の17ピン（AUX1）の機能を設定します。
- **AUX2 Function**（初期値 : **"MARK SKIP－"** ）:
  PARALLEL端子の18ピン（AUX2）の機能を設定します。
- **AUX3 Function**（初期値 : **"MARK"** ）:
  PARALLEL端子の19ピン（AUX3）の機能を設定します。

RS-232Cタブ画面

RS-232Cシリアルコントロールの通信設定を行います。

Serial Mode

シリアル接続のモードを下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"RS-232C"**（初期値）、**"RS-422"**

メモ

- この設定で選んだ端子だけが機能します。**RS-232C**端子と**RS-422**端子を同時に使用する事はできません。
- **"RS-422"** タブ画面での **"Serial Mode"** 項目の設定と同期します。
- オプションのSY-2が未装着の状態では**"RS-422"**に設定できません。

Baud Rate(bps)

通信速度（ボーレート）を下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"4800"** bps、**"9600"** bps、**"19200"** bps、**"38400"** bps（初期値）

DATA Length

データ長を下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"7"** ビット、**"8"** ビット（初期値）

Parity Bit

パリティービットの有無を下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"NONE"**（無し、初期値）、**"EVEN"**（偶数）、**"ODD"**（奇数）

Stop Bit

ストップビットを下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"1"** ビット（初期値）、**"2"** ビット

RS-422タブ画面

RS-422シリアルコントロールの通信設定を行います。

メモ

オプションのSY-2が未装着の状態では網掛け表示され、設定できません。

Serial Mode

シリアル接続のモードを下記のボタンから設定します。

設定ボタン : **"RS-232C"**（初期値）、**"RS-422"**

メモ

- この設定で選んだ端子だけが機能します。**RS-232C**端子と**RS-422**端子を同時に使用する事はできません。
- **"RS-232C"** タブ画面での **"Serial Mode"** の設定と同期します。
- オプションのSY-2が未装着の状態では**"RS-422"**に設定できません。

Video Resolve

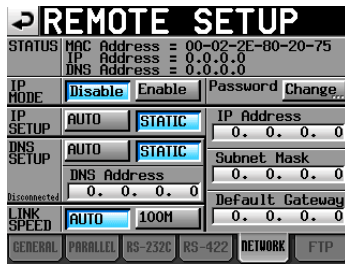
本機をVTRのスレーブにする場合に、共通の基準クロックとしてワードシンク信号ではなく、ビデオシンク信号を使う場合があります。ワードシンク信号の場合と同様に、タイムコードをビデオクロックに追従させる（つまりタイムコードフレームの頭をビデオ信号のフレーム境界に同期させる）か、あるいはフレームクロックと独立させるかを選択できます。

ビデオエディターから本機をコントロールする場合は、**"ON"** にする必要があります。

ON ボタン（初期値）: タイムコードフレームの頭をビデオ信号のフレーム境界に同期

OFF ボタン : ビデオフレームクロックと独立

NETWORK タブ画面

NETWORKの通信設定を行います。

STATUS

本機の**Mac Address**と現在の**IP Address**の表示をします。

Password

Change ボタンを押すと、**"CHANGE PASSWORD"**画面を表示します。

IP MODE

NETWORK機能の有効/無効切り換えボタンです。

設定ボタン : **"Disable"**（無効、初期値)、**"Enable"**（有効)

IP SETUP

IP Address・Subnet Mask・Default Gateway を設定します。

- **AUTO**　:　**IP Address・Subnet Mask・Default Gateway**を自動で設定します。
  ネットワーク上にDHCP サーバーが存在する場合に、この設定にします。
- **STATIC**（初期値)　:　**IP Address・Subnet Mask・Default Gateway** をマニュアルで設定します。

IP Address / Subnet Mask / Default Gateway

IP SETUPが**STATIC**設定の場合の**IP Address・Subnet Mask・Default Gateway** を表示します。

各エリアをタッチすると、それぞれの設定変更画面を表示します。

初期値 :　0.　0.　0.　0

IP SETUPの設定により、このエリアの表示が下記のように変わります。

AUTO設定時　　STATIC設定時　　タッチ中

DNS SETUP

サーバー名からIPアドレスを調べるためのDNSサーバーのIPアドレスを設定します。

- **AUTO**　:　DNS サーバーの**IP Address**を自動で設定します。
  ネットワーク上にDNS サーバーの**IP Address** を返すDHCP サーバーが存在する場合に、この設定にします。
- **STATIC**（初期値)　:　DNS サーバーの**IP Address**をマニュアルで設定します。

DNS Address

DNS SETUPが**STATIC**設定の場合、DNSサーバーのIPアドレスを表示します。タッチすると、設定変更画面を表示します。

初期値 :　0.　0.　0.　0

DNS SETUPの設定により、このエリアの表示が下記のように変わります。

AUTO設定時　　STATIC設定時　　タッチ中

LINK SPEED

ネットワークの接続速度を設定します。

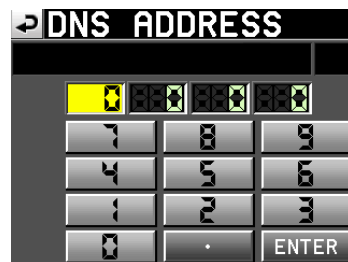
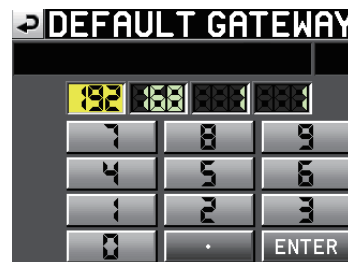
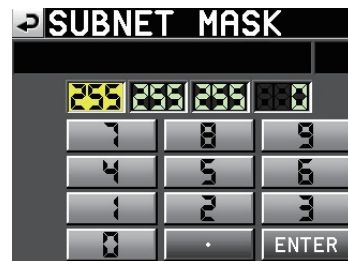
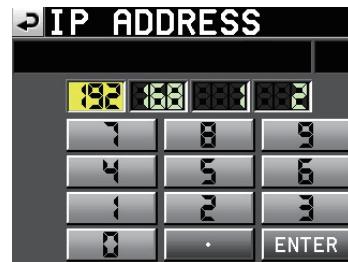
- AUTO (初期値)　:　自動的に接続環境に合わせたリンク速度で接続します。
- 100M　:　100Mbps 固定のリンク速度で接続します。

IP Address/Subnet Mask/Default Gateway/DNS Address 設定の変更

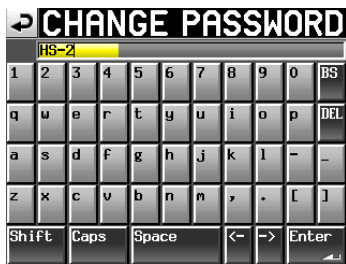
"REMOTE SETUP" 画面の **"NETWORK"** タブ画面の該当エリアをタッチすることで、それぞれの設定変更画面を表示します。

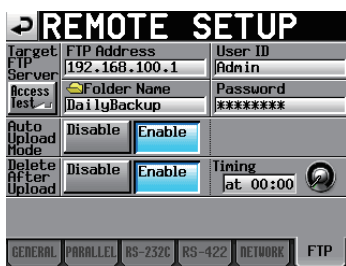
- 桁数は3桁です。
  (2桁以下は、上位桁の **"0"** 入力は不要です。)
- 画面を表示後は、最上位桁が選択状態になります。
- 選択状態になってから最初の数字ボタンを押すと、押されたボタンの数字だけが入力された状態になります。それ以後は電卓方式で数字が入力されます。
- ドット(**"."**) ボタンを押すと、選択状態が次の桁に移動します。

例)

画面表示時	192.	168.	1.	1	
1234と入力	234.	168.	1.	1	(先頭の" 1" は押し出される)
"." を入力	192.	168.	1.	1	

Password設定の変更

"REMOTE SETUP" 画面の **"NETWORK"** タブ画面の**Password**の所にある **"Change"** ボタンを押すと、**"CHANGE PASSWORD"** 画面が開き、パスワードを設定できます。

入力文字数は9文字までです。

FTPタブ画面

FTPクライアント機能の設定を行います。

Target FTP Server

接続先 FTPサーバを設定します。

タッチすると、設定変更画面を表示します。

- **FTP Address**

  接続先FTPサーバーのアドレスを設定します。

- **Folder Name**

  FTPサーバーへのUpload先/FTPからのDownload元フォルダの初期値を設定します。

- **User ID**

  FTPサーバーに接続する際のユーザIDを設定します。

- **Password**

  FTPサーバーに接続する際のパスワードを設定します。

- **Access Test**

  ボタンを押すと設定されたFTPサーバーへの接続テストを実施し、結果ポップアッメッセージで表示します。

Auto Upload Mode

録音が完了したファイルをFTPサーバーに自動的アップロードするかどうかを設定します。

- Disable (初期値) ： 自動的にアップロードしません 。
- Enable ： 自動的にアップロードします。

Delete After Upload

アップロードしたファイルを自動的に削除するかどうかを設定します。

- Disable (初期値) ： アップロードしたファイルを削除しません。
- Enable ： アップロードしたファイルを自動的に削除します。

Timing

アップロードしたファイルを自動的に削除する時刻を設定します。

Soon(初期値), at 00:00 〜 at 23:30 (00:30/step)

Soonに設定した場合、アップロード完了後、すぐにファイルの削除を行います。

Soon以外に設定した場合、設定時刻になったら、ファイルの削除を行います。

ネットワーク機能(FTPサーバー / telnet / VNC)

FTP(ファイル・トランスファー・プロトコル)サーバー

FTPクライアントアプリケーションを使用することで、本機とコンピューターの間でのファイル転送が可能です。他のFTPサーバーと同じように本機に接続してログインしてください。

接続してログインするとルートディレクトリーに「A:」「B:」「C:」と表示されます。これらはそれぞれ「「SD」「CF」「USB」となります。

該当するメディアが装着されていない場合は、「A:」「B:」「C:」以下の内容は表示されません。

メモ

- 日本語を表示する場合は、Unicode に対応したFTP アプリケーションをご使用ください。
- FTPクライアントアプリケーションの最大同時転送数設定は、必ず「1」に設定してください。
  「1」以外に設定すると正常にファイルが転送できません。
- 動作確認済みFTPクライアントアプリケーションについては、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

● FTP接続する際に必要となる設定値

本機にFTP接続する際に必要な設定値は以下のとおりです。

IPアドレス ： 本機のIPアドレスは **"REMOTE SETUP"** 画面の **"NETWORK"** タブ画面のIP Addressに表示されます。

ポート番号 ： 21

ユーザー名 ： **"HS-20"**
大文字と小文字を区別します。(変更はできません。)

パスワード ： デフォルトのパスワードは **"HS-20"** です。
大文字と小文字を区別します。
"REMOTE SETUP" 画面の **"NETWORK"** タブ画面の**Password[Change...]** ボタンで変更することができます。

メモ

- 同時接続数は「1」です。
- FTPクライアントアプリケーションによっては、本機にFTP接続が同時に2つできる場合もありますが、正常にファイルを転送できなくなる可能性がありますので、同時に2つ以上の FTP接続を本機に行わないで下さい。
- **"LOCK SETUP"** 画面の**EXTERNAL Control**が**LOCK**に設定されている場合は、FTP接続できません。
- FTP接続中に**LOCK**に設定されると、FTP接続が切断されます。
- FTP接続中に **"REMOTE SETUP"** 画面の **"NETWORK"** タブ画面の設定を変更すると、FTP接続が切断されます。

● FTPクライアントアプリケーションによるファイル操作について

1. 本機からのファイルの読み出し
   本機からのファイル読み出しは常時可能です。
2. 本機への新規ファイル追加
   本機への新規ファイル追加は常時可能です。
   録音時にカレントフォルダーにBWFファイルもしくはWAVファイルを追加した場合は、既存ファイル・録音ファイル・追加ファイルの順でリストに表示されるようになります。
3. 本機の既存ファイルへの上書き
   カレントテイクへの上書きは停止中のみ可能です。
   プレイリストモードのエントリー編集画面で使用中のテイクは、上書き出来ません。これ以外の既存ファイルへの上書きは常時可能です。
   ただし、**"PLAY SETUP" 画面**が、**"GENERAL"** タブ画面の **"Play Mode"** が **"All Take"** 設定で再生中の場合、タイミングによってはカレントテイクの次のテイクへの上書きが出来ない場合があります。

注 意

プレイリストモードにおいてプレイリストのエントリーに登録しているテイクに上書きした場合、エントリーリスト画面やファイルアサイン画面の該当エントリーアイコンに **"?"** マークが表示されて再生対象外になります。上書きしたファイルを再生できるようにするには、上書きしたファイルをエントリーに登録し直してください。

注 意

音声ファイルのサイズ / チャンネル数 / ビット長 / Fsが上書き前のファイルから変わってしまうと既存のタイムラインやプレイリストと不整合が生じる場合があります。

不整合が生じた状態で再生すると下記エラーメッセージが表示される場合があります。

不整合を解消してエラーメッセージが表示されないようにするには下記を実施してください。

- タイムラインモード　：該当リージョンを削除する。
- テイクモード　　　　：該当テイクをカードから削除する。
- プレイリストモード　：上書きしたファイルをエントリーに登録し直す。

注 意

Fsの異なるファイルで既存の音声ファイルを上書きしないでください。不整合を解消することができなくなります。

4. 本機のファイルの削除
   カレントテイクの削除は、停止中のみ可能です。
   カレントテイク以外のファイルは、常時削除可能です。
   但し、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じるため、ファイル削除後にリビルド(再構成)を実施する必要があります。

- ファイル削除後(再生/録音中の場合は停止時)に下記リビルドの実施確認メッセージが表示されますのでリビルドを実施してください。

- リビルドを実施しない場合、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じるため下記メッセージが表示される場合があります。

- リビルドが必要な状態になると、下記ボタンに⚠マークが表示されます。
  各種MENU内の **"REBUILD"** ボタンを押してリビルドを実施してください。
  - **"HOME"** 画面のファイル名表示ボタン
  - **"FILE LIST"** 画面の **"MENU"** ボタン
  - 各種MENU内の **"REBUILD"** ボタン

5. 本機への新規フォルダー追加
   本機への新規フォルダー追加は常時可能です。
6. 本機のフォルダーの削除
   カレントフォルダーの削除は、停止中のみ可能です。
   カレントフォルダー以外のフォルダーは、常時削除可能です。
7. 本機のファイル / フォルダーの名前変更
   本機のファイル / フォルダーの名前は、変更できません。

メ モ

USBメモリーとのFTP転送については、停止状態においてのみ対応しています。編集、フォルダーロード、スキップなど、操作しないでください。

リモートコントロール（Telnet)

本機はポート23番経由でTelnetを使ったイーサネットによるリモートコントロールが可能です。

● Telnet接続する際に必要となる設定値

本機にTelnet接続する際に必要な設定値は以下のとおりです。

IPアドレス ：本機のIPアドレスは **"REMOTE SETUP"** 画面の **"NETWORK"** タブ画面のIP Addressに表示されます。

ポート番号 ：23

パスワード ：デフォルトのパスワードは **"HS-20"** です。
大文字と小文字を区別します。
"REMOTE SETUP" 画面の **"NETWORK"** タブ画面の**Password[Change...]**ボタンで変更することができます。

● 本機にTelnet接続する

1. 上記IPアドレス、ポート番号で本機にTelnet接続後、コンピューターの**Enter**キーを押してください。
2. Telnetコンソールに **"Enter Password"** と表示されますので、上記パスワードを入力して**Enter**キーを押してください。
3. ログインに成功するとTelnetコンソールに **"Login Successful"** と表示されます。**"exit"** と入力して**Enter**キーを押すとTelnet接続を切断します。

メモ

- 同時に2つのTelnet接続が可能です。
- **" LOCK SETUP"** 画面のEXTERNAL Controlが**LOCK**に設定されている場合は、Telnet接続できません。
  Telnet接続中に**LOCK**に設定されると、Telnet接続が切断されます。
- Telnet接続中に **"REMOTE SETUP"** 画面の **"NETWORK"** タブ画面の設定を変更すると、Telnet接続が切断されます。
- 本機のTelnetコマンドプロトコルについては、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

VNC(ヴァーチャル・ネットワーク・コンピューティング)

VNCビューワアプリケーションを使用することで、本機のLCDに表示される画面をコンピュータで表示させて操作することが可能です。

VNCビューワアプリケーション上でマウス操作をすることにより下記操作が可能です。

- マウス左クリック：本機のLCDタッチと同様の動作をします。
- マウスホイールクリック：本機の**ENTER**キーと同様の動作をします。
- マウスホイール操作：本機の**DATA**ダイアルと同じ動作をします。
- マウスホイール押し回し：本機の**DATA**ダイアルを押しながら操作した場合と同じ、大まかな設定動作(COARSEモード動作)をします。

また、VNCビューワアプリケーションをアクティブにしてコンピュータのキーボード操作をすることにより下記操作が可能です。

- **F1** ～ **F12**キー：本機に接続した外部キーボードと同じ動作をします。
  詳細は、本機マニュアル「第12章 その他の機能＞コンピューターキーボードを使った操作＞キーボード操作一覧の操作」を参照してください。
- **HOME**キー：本機の**HOME**キーと同じ動作をし、**"HOME"** 画面を表示します。**HOME** キーを押しながら**End** キーを押すと **"LOCK SETUP"** 画面を表示します。
- **End**キー：本機の**MENU**キーと同じ動作をし、**"MENU"** 画面を表示します。**HOME**キーを押しながら**End**キーを押すと **"LOCK SETUP"** 画面を表示します。
- **PageDown**：本機の**FILE LIST**キーと同じ動作をし、**"FILE LIST"** 画面を表示します。
- カーソル↑キー：本機の**DATA**ダイアル右回しと同じ動作をします。
- カーソル↓キー：本機の**DATA**ダイアル左回しと同じ動作をします。
- 文字入力キー：本機がキーボード画面を表示している際に文字を入力します

● VNC接続する際に必要となる設定値

VNCビューワアプリケーションを本機に接続する際に必要な設定値は以下のとおりです。

IPアドレス ：本機のIPアドレスは **"REMOTE SETUP"** 画面の **"NETWORK"** タブ画面のIP Addressに表示されます。

パスワード ：デフォルトのパスワードは **"HS-20"** です。
大文字と小文字を区別します。
"REMOTE SETUP" 画面の **"NETWORK"** タブ画面の**Password[Change...]**ボタンで変更することができます。

メモ

- 2つ以上同時にVNC接続することはできません。
- **"LOCK SETUP"** 画面のEXTERNAL Controlが**LOCK**に設定されている場合、VNCビューワアプリケーションでの表示は可能ですが、操作は出来なくなります。
- VNC接続中に **"REMOTE SETUP"** 画面の **"NETWORK"** タブ画面の設定を変更すると、VNC接続が切断されます。
- 動作確認済みVNCビューワアプリケーションについては、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。
- FTPによるファイル転送中やシステムFsが88.2kHz / 96kHz / 176.4kHz / 192kHzの場合は、VNCビューワアプリケーションの表示や操作がスムーズに行えません。

音声信号の入出力設定 (AUDIO I/O)

音声信号の入出力設定 を行います。
"AUDIO I/O" 画面には、**"INPUT"** タブ画面、**"OUTPUT"** タブ画面の２つのタブ画面があります。
画面下のタブで画面を選択します。

INPUTタブ画面

入力の設定を行います。

INPUT SOURCE

入力ソースを設定します。アナログXLR入力、アナログRCA入力またはデジタル入力を選択します。

設定ボタン：**"Analog XLR"**（初期値）、**"Analog RCA"**、**"Digital x"**（**"x"** は **"AES/EBU"** または **"S/PDIF"**）

DIGITAL SOURCE

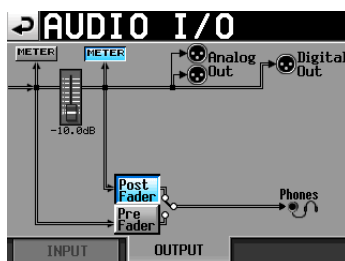
デジタル入力のソース選択を行ないます。

設定ボタン：**"AES/EBU"**（初期値）、**"S/PDIF"**

Fs CONVERT

サンプリングレートコンバーターのオン / オフを設定します。(初期値 : **"OFF"**）

OUTPUTタブ画面

出力の設定および信号経路を表示します。

METER ボタン

メーター表示する位置をフェーダーの前後で切り換えます。

左側のボタンを押すとフェーダーの前、右側のボタンを押すとフェーダーの後のレベルをメーターに表示します。

Post / Pre Fader ボタン

ヘッドホン出力を、フェーダーの前後で切り換えます。

Pre Fader ボタン :
フェーダー前の信号をヘッドホン出力します。

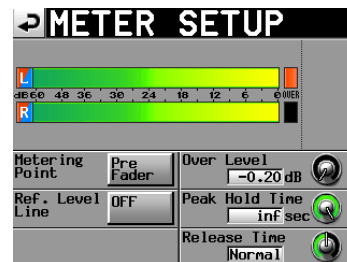
Post Fader ボタン(初期値) :
フェーダー後の信号をヘッドホン出力します。

フェーダー

RC-HS20PDが接続されているときは、RC-HS20PDのフェーダーレベルを表示します。

接続されていないときは0dBに固定されます。

レベルメーター設定 (METER SETUP)

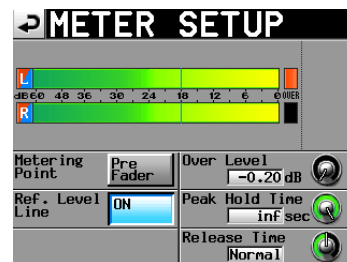
レベルメーターの設定を行います。

Metering Point

メーター表示する位置をフェーダーの前にするか、後ろにするかを設定します。

：フェーダーの前のレベルをメーターに表示します。（初期値）

：フェーダーの後のレベルをメーターに表示します。このとき、ボタンが水色に反転表示します。

Ref. Level Line

レベルメーター上のリファレンスレベル線の表示のオン / オフを設定します。（初期値 : **"ON"**）

[リファレンスレベル線の表示 **"ON"** 時]

Over Level

オーバーロードインジケーターの点灯レベルを設定します。最大レベル(フルビット)から本設定値を減算したレベルが点灯レベルとなります。

このつまみを押し、**DATA**ダイヤルを使ってレベルを設定します。

設定値：**"−0.20dB"**（初期値）、**"−0.17dB"**、**"−0.13dB"**、**"−0.10dB"**、**"−0.06dB"**、**"−0.03dB"**

ここでの設定は、**"REC SETUP"**（録音設定）の **"OPTIONS"** タブ画面の **"Auto Marker"** 項目の **"Audio Over"** 設定にも反映されます。

Peak Hold Time

ピークホールド時間を設定します。

このつまみを押し、**DATA**ダイヤルを使って時間を設定します。

設定値：**"0sec"**、**"1sec"**、**"2sec"**（初期値）、**"inf"**（常にホールド）

Release Time

リリースタイムを設定します。

このつまみを押し、**DATA**ダイヤルを使って時間を設定します。

設定値：**"Slow"**、**"Normal"**（初期値）、**"Fast"**

メ モ

ホーム画面を表示中に**EXIT/CANCEL [PEAK CLEAR]** キーを押すと、ピークホールド表示をリセットします。

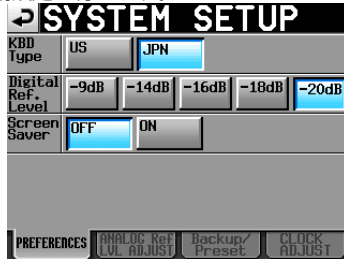
システム設定 (SYSTEM SETUP)

システム設定を行います。

“SYSTEM SETUP” には、**“PREFERENCES”** タブ画面、**“ANALOG Ref LVL ADJUST”** タブ画面、**“Backup/Preset”** タブ画面、**“CLOCK ADJUST”** タブ画面の三つの画面があります。

画面下のタブで画面を選択します。

PREFERENCESタブ画面

システムの初期設定を行います。

KBD Type

接続するキーボードタイプを **“US”**（英語対応キーボード）または **“JPN”**（日本語対応キーボード）に設定します。

設定ボタン : **“US”**、**“JPN”**（初期値）

Digital Ref. Level

アナログ入出力のリファレンスレベルを、最大レベル（フルビット）から何dB下がったところにするかを設定します。

設定値 : **“−9dB”**、**“−14dB”**、**“−16dB”**、**“−18dB”**、**“−20dB”**（初期値）

Screen Saver

10分間、下記操作をしなかった場合にディスプレイを消灯するスクリーンセーバー機能を設定します。

ディスプレイ消灯後、下記操作をすると設定された明るさでディスプレイが点灯します。

- 本機タッチパネル操作
- 本機フロントパネルキー操作
- メディアの装着

設定ボタン : **“OFF”**（初期値）、**ON**

ANALOG Ref LVL ADJUSTタブ画面

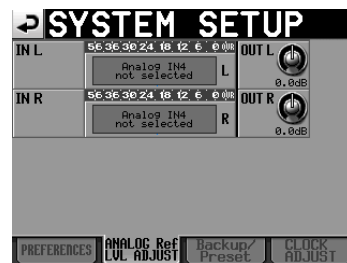
各チャンネルのアナログ入力および出力のリファレンスレベルを微調整します。

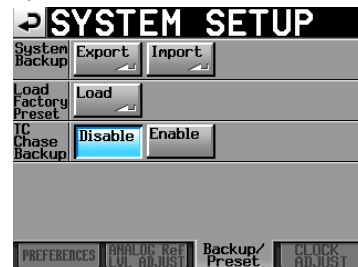
“IN x” ではアナログ入力レベルを、**“OUT x ”** ではアナログ出力レベルを微調整できます(**“x”** は、**L**または**R**を表す)。

各つまみ部分を押してそのつまみを選択(黄色のハイライト表示)した後、**DATA**ダイヤルを使ってレベルを設定します。

DATAダイヤルを回すと0.1dB単位で変化し、押し回しすると1dB単位で変化し、各つまみの下に数値を表示します。

設定値 : **“-6dB” ～ “+6dB”**（初期値 : **“0dB”** ）

また、アナログ入力に設定されていない場合は、つまみを表示せずメーター部には、**“Analog IN not selected”** が表示されます。

システム設定のバックアップ機能およびプリセット機能

“SYSTEM SETUP” 画面の **“Backup / Preset”** タブでシステムファイルのImport / Export、ファクトリープリセットの読み込みができます。

■ System Backup

- **“Export”** ボタンでSystemBackupデータを選択されたカードに書き出します。
- **“Import”** ボタンで選択されたカードのSystemBackupデータを読み出し、内蔵メモリーを書き換えます。
  System Backupファイルが無い場合は、インポートしない旨のポップアップウィンドウを表示します。

■ Load Factory Preset

“Load” ボタンを押すとFactory Presetデータ(工場出荷時の設定値)をロードします。

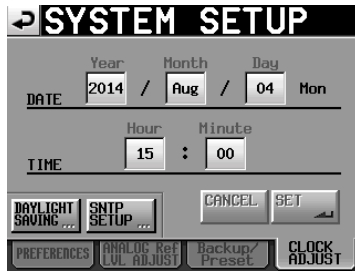
■ TC Chase Backup

TC Chase設定をバックアップするかどうかを設定します。

設定ボタン

- Disable (初期値) : TC Chase設定をバックアップしません。起動時、TC Chase設定は毎回OFFになります 。
- Enable : TC Chase設定をバックアップします。起動時、TC Chase設定が前回電源を切る前の設定に戻ります。

CLOCK ADJUSTタブ画面

内蔵時計の時刻設定を行います。

設定する項目を押し、**DATA**ダイヤルを使って各項目を設定します。
（→22 ページ「内蔵時計の時刻を設定する」）

"CLOCK ADJUST" タブ画面の **"SET"** ボタンを押す、または**DATA**ダイヤルを押して確定します。

メモ

時刻設定中は、時計は止まり **":"** 表示が点灯します。

"SET" ボタンを押すと、**":"** 表示が点滅し時計が動き出します。

DAYLIGHT SAVINGボタン

"DAYLIGHT SAVING TIME SETUP" 画面を表示します。

SNTP SETUPボタン

"SNTP SETUP" 画面を表示します。

DAYLIGNT SAVING TIME SETUP画面

設定された期間中に内蔵時計を進める夏時間機能の設定画面です。

Daylight Saving Mode

夏時間機能を有効にするかどうかを設定します。

- Disable (初期値)　:　夏時間機能を無効にします。
- Enable　:　夏時間機能を有効にします。

	説明	設定値	START 初期値	END 初期値
Month	夏時間期間の開始/終了月を設定します。	Jan, Feb, Mar, Apr, May, Jun, Jul, Aug, Sep, Oct, Nov, Dec	Mar	Nov
Week	夏時間期間の開始/終了週を設定します。	1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, Last	2nd	1st
Day of Week	夏時間期間の開始/終了曜日を設定します。	Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat	Sun	Sun
Time	夏時間期間の開始/終了時刻を設定します。	00:00-24:00 (01:00/step)	02:00	02:00

上記の設定は、つまみの部分を押して、パラメータ表示部の背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルを使って設定します。

メモ

この画面では、協定世界時(UTC)ではなく、現地時間設定します。

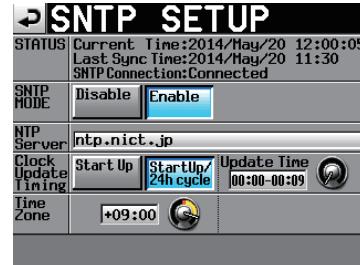
Offset Time

夏時間期間中に時計を進める設定します。

設定値　:　30min / 60min

初期値　:　60min

SNTP SETUP設定画面

自動的にインターネット時刻サーバーの日時と同期するためのSNTP機能の設定画面です。

STATUS

SNTPに関するシステムの現在状態を表示します。

- Current Time　：自機の現在日時を表示します。
- Last Sync Time　：最後にNTPサーバーと同期した日時を表示します。
- SNTP Connection　：NTPサーバーとの接続状況を表示します。

表示	状態
Successful update	正常に時刻を更新した
Successful update with skew	遅延したが時刻を更新
Starting Up	初期化中
Accessing Server	サーバーに接続中
Disabled	SNTP機能が無効状態
Waiting for Network	ネットワーク接続の確立待ち
Server Name not found	サーバー名がDNSサーバーから見つからなかった
Server Name found	サーバー名がDNSサーバーから見つかった
Server connection failed	サーバーから反応がなかった
Server refusing connections	サーバーから反応があったが、これ以上の接続を拒否しているため、他のSNTPサーバーを選んだ方がよい状態。

SNTP MODE

- Disable (初期値)　:　SNTP機能を使用しない。
- Enable　:　SNTP機能を使用する。

メモ

SNTP機能を使用する場合、下記NTP Server設定と、**"REMOTE SETUP"** 画面、**"NETWORK"** タブ画面のDNSサーバーの設定が必要です。

NTP Server

NTPサーバー名 (32文字以下)の設定を表示します。

- 初期値　：ntp.nict.jp

このエリアをタッチすると、下記NTPサーバー名入力画面に切り替わます。

NTPサーバー名入力画面右上の**Preset** ボタンを押して表示するプルダウンメニュー内のボタンを押すと、日本とアメリカの代表的なNTPサーバー名を入力することができます。

Clock Update Timing

NTPサーバーから時刻を取得して内蔵時計の時刻を更新するタイミングを設定します。

- Start Up　:　本機の起動時にNTPサーバーから時刻を取得し、内蔵時計の時刻を更新します。
- tartUp /24h cycle (初期値)　:　本機の起動時、およびその後 **"Update Time"** で設定された時刻に24時間周期でNTPサーバーから時刻を取得し、内蔵時計の時刻を更新します。

Update Time

"Clock Update Timing"が**"StartUp/24h cycle"**設定の際、NTPサーバーから時刻を取得する時刻を設定します。

つまみの部分を押し、パラメーター表示部の背景を黄色く反転させ、DATA ダイヤルを使って設定します。

設定値　:　**"00:00 - 00:09"** ～ **"23:00-23:09"** (01:00 / step)
初期値　:　**"00:00 - 00:09"**

メモ

- 00分ちょうどにSNTPサーバーへのアクセスが重なる可能性を減らすために、00分～ 09 の間でランダムにSNTP サーバーにアクセスします。
- タイマーイベント機能のイベントが設定されていない時間帯に設定することを推奨します。

Time Zone

協定世界時(UTC)からのオフセット時間を設定します。

つまみの部分を押し、パラメーター表示部の背景を黄色く反転させ、**DATA** ダイヤルを使って設定します。

設定値　:　－12:00 ～＋14:00 (00:15 / step)
初期値　:　＋09:00

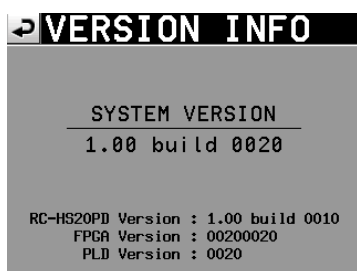
メモ

- 日本標準時(JST)に合わせる場合は、＋09:00 に設定します。
- アメリカの場合は、下記のように設定します。

地域	設定
太平洋標準時(PST)の地域	－08:00
山地標準時(MST)の地域	－07:00
中部標準時(CST)の地域	－06:00
東部標準時(EST)の地域	－05:00

バージョン表示 (VERSION INFO)

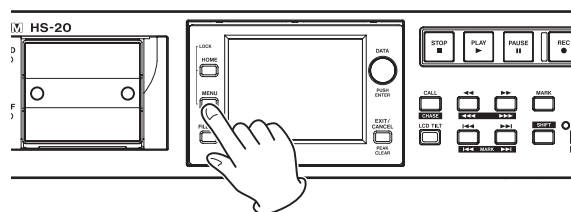
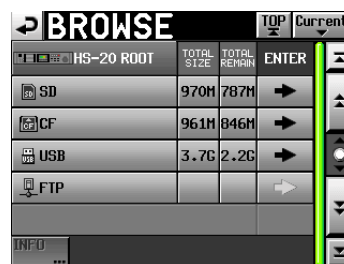
システムのバージョンを表示します。

画面中央下部には、内蔵デバイスデータと、本機に接続している別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）のバージョンを表示します。

フォルダー / ファイルの表示 / 操作 (BROWSE)

SDカード、CFカード、USBメモリおよびFTPサーバーのフォルダー / ファイルの表示 / 操作を以下の手順で説明します。

- **フォルダー / ファイルを表示する**
- **フォルダー / ファイルの情報を表示する**
- **フォルダー / ファイルを削除する**
- **フォルダー / ファイルをコピーする**

フォルダー / ファイルを表示する

1. フロントパネルの**MENU**キーを押すと、以下の **“MENU”** 画面を表示します。

2. **“BROWSE”** ボタンを押して、**“BROWSE”** 画面を表示します。
   初回は、メディア選択画面が表示されます。
   2回目以降は、最後に表示したメディア / フォルダーの内容が表示されます。

[SDカードの場合]

メ モ

- **“TOP”** ボタンを押すと、メディア選択画面に戻ります。
- **“Current”** ボタンを押すと、カレントメディアのカレントフォルダー内に移動します。
- カレントメディアのカレントフォルダーは、**“C”** アイコンに **“C”** が表示され、黄色のハイライト表示になります。

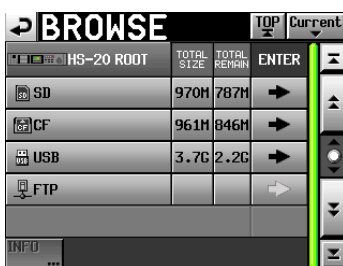
3. 内容を確認したいメディア / フォルダーの **"→"** ボタンを押すと、そのメディア / フォルダー内に移動します。

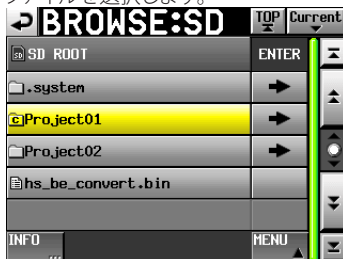
[フォルダー : **"Project01"** の場合]

4. 更に下層のフォルダーに移動する場合は、表示されているフォルダー名の **"→"** ボタンを押します。

5. 上層に移動する場合は、画面左上の表示中のメディア名 / フォルダー名が描かれたボタンを押します。

フォルダー / ファイルの情報を表示する

1. 情報を表示したいフォルダー / ファイルが含まれるメディア / フォルダーに移動します。

[SDカードの場合]

2. フォルダー /ファイルを選択します。

[フォルダー : **"Project01"** の場合]

選択されたフォルダー / ファイル名の背景が黄色くなります。

3. **"INFO"** ボタンを押すと、選択されたフォルダー / ファイルの情報をポップアップ表示します。

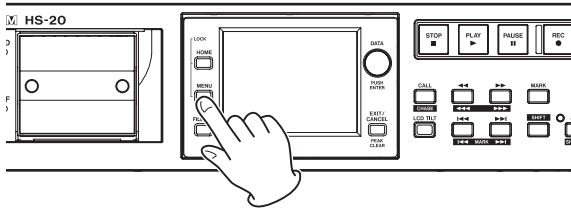
- フォルダーを選択している場合は、フォルダーの作成日時が表示されます。

- BWF / WAVファイル以外を選択している場合は、ファイルの更新日時とファイルサイズが表示されます。

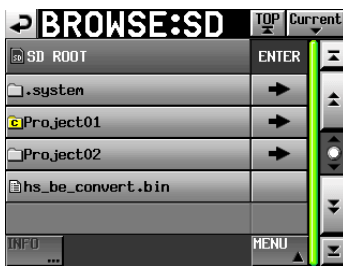
- BWF / WAVファイルを選択している場合は、下記情報が表示されます。

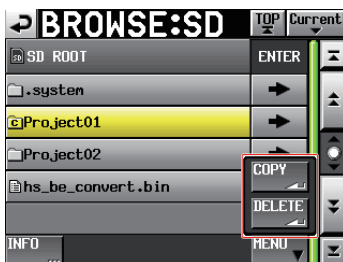
- ファイルの更新日時
- ファイルサイズ
- サンプリング周波数
- bit長 / チャンネル数
- 時間長 / START T/C

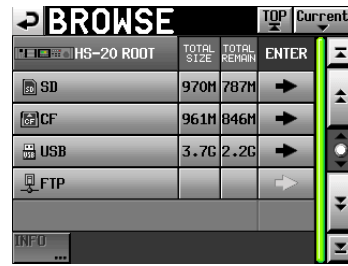
フォルダー / ファイルをコピーする

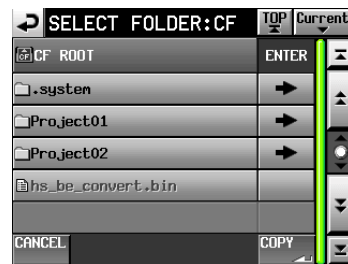
1. フロントパネルの**MENU**キーを押すと、以下の **“MENU”** 画面を表示します。

2. **“BROWSE”** ボタンを押して、**“BROWSE”** 画面を表示します。

[SDカードの場合]

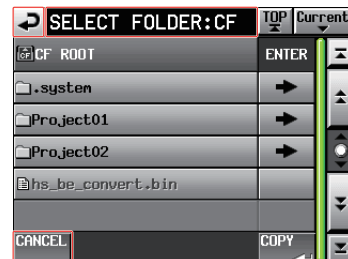
3. コピーしたいフォルダー /ファイルが含まれるメディア / フォルダーに移動します。

[フォルダー : **“Project01”** の場合]
コピーするのフォルダー / ファイル名を選択します。
選択されたフォルダー / ファイル名の背景が黄色くなります。

4. **“MENU”** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

5. プルアップメニュー項目**“COPY”**ボタンを押すと、コピー先フォルダーの選択画面に切り換わります。

6. コピー先のフォルダーに移動します。
   - 初回コピーの際は、メディア選択画面になりますのでコピー先フォルダーが含まれるメディアの **“→”** ボタンを押して、コピー先フォルダーに移動します。

[初回のメディア選択画面]

   - ２回目以降は、最後に表示したコピー先フォルダーの選択画面になります。

[前回CFカードを選択していた場合]

メモ

- コピー先選択中は **“BROWSE”** 表示が **“SELECT FOLDER”** 表示の点滅に切り換わります。
- コピー先選択中に **“CANCEL”** ボタンまたは **“⏎”** ボタンを押すと、コピー先フォルダーの選択画面から **“BROWSE”** 画面に戻ります。

7. **“COPY”** ボタンを押すと確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、問題なければ **“OK”** ボタンまたは **“ENTER”** キーを押すとコピーが実行されます。

コピーを中止する場合やコピー先を変更する場合は、**“CANCEL”** ボタンを押してください。

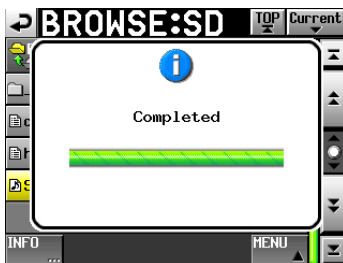
メモ

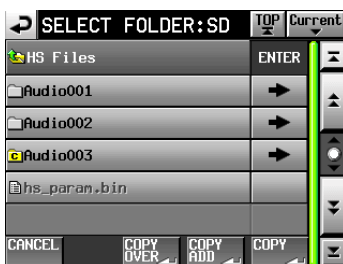
コピー先に同じフォルダー名 / ファイル名が存在した際は、**“Cannot Copy Folder”** または **“Cannot Copy File”** のポップアップウィンドウが表示されます。

コピーするフォルダー名 / ファイル名を変更する場合は **“RENAME”** ボタンを押してください。

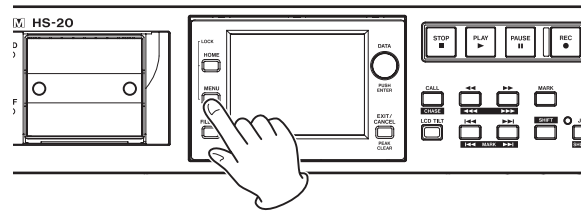
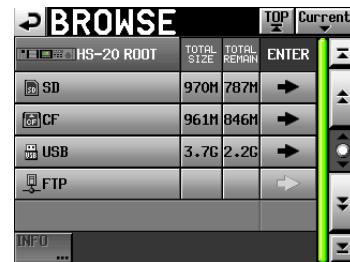
名前の入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」を参照してください。

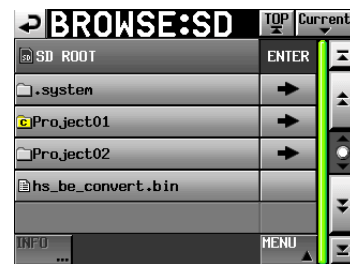
“CANCEL” ボタンを押すとコピーを中止します。

8. コピー中はポップアップウィンドウが表示されます。コピーが完了するとポップアップウィンドウが消え、**“BROWSE”** 画面に戻ります。

メモ

- FTPサーバーのフォルダーをコピーする場合は、指定したフォルダー直下にあるファイルだけがコピーされます。
  指定したフォルダーのサブフォルダーにファイルがある場合でも、コピーされませんのでご注意ください。
- コピー元、またはコピー先にFTPサーバーのフォルダーやファイルを選択した場合、下記のような画面が表示されます。

- **”COPY”** ボタンで実行した際､コピー先に同じフォルダー名/ファイル名が存在した場合､**” RENAME”** 確認を行います。
- **” COPY ADD”** ボタンで実行した際､コピー先に同じ名前のフォルダー名があった場合、フォルダー内のファイルだけをコピーします。同じ名前のファイル名があった場合、同じ名前のファイルのコピーは行いません。
- **” COPY OVER”** ボタンで実行した際､コピー先に同じフォルダー名/ファイル名があった場合、全て上書きコピーを行います。

フォルダー / ファイルを削除する

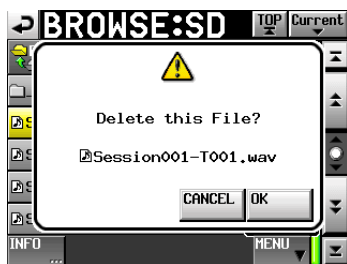
1. フロントパネルの**MENU**キーを押すと、以下の **“MENU”** 画面を表示します。

2. **“BROWSE”** ボタンを押して、**“BROWSE”** 画面を表示します。

[SDカードの場合]

3. 削除したいフォルダー / ファイルが含まれるメディア / フォルダーに移動します。

[フォルダー : **“Project01”** の場合]

削除するフォルダー / ファイル名を選択します。
選択されたフォルダー / ファイル名の背景が黄色くなります。

4. **“MENU”** ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

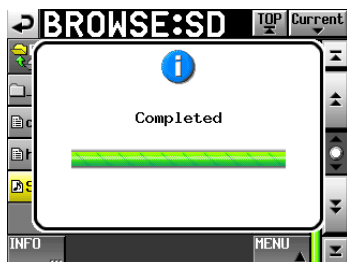
5. プルアップメニュー項目 **“DELETE”** ボタンを押します。

6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押します。

7. 再確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと削除が実行されます。

削除を中止する場合は、**“CANCEL”** ボタンを押してください。

8. 削除中はポップアップウィンドウが表示されます。

削除が完了するとポップアップウィンドウが消え、**“BROWSE”** 画面に戻ります。

注 意

タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているフォルダー / ファイルや本機の管理ファイルであっても削除できますので、ご注意ください。

タイムラインモードやプレイリストーモードで使用されているテイクを削除した場合、該当リージョン / エントリーを再生しようとした際にエラーポップアップが表示されます。

メ モ

カレントフォルダーの音声ファイルを削除した場合、リビルドの実施確認メッセージが表示されますのでリビルドを実施してください。リビルドを実施しない場合、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じるため **“Play Error”** とポップアップメッセージが表示される場合があります。

リビルドが必要な状態になると、下記ボタンに ⚠ マークが表示されます。

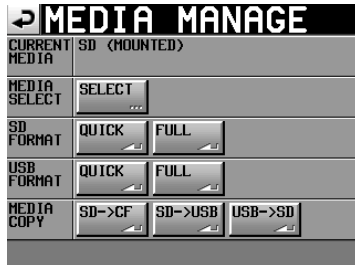
各種MENU内の **“REBUILD”** ボタンを押してリビルドを実施してください。

- **“HOME”** 画面のファイル名表示ボタン
- **“FILE LIST”** 画面の **“MENU”** ボタン
- 各種MENU内の **“REBUILD”** ボタン

メディアの管理 (MEDIA MANAGE)

SDカード / CFカード / USBメモリーの操作を行います。

注 意

"FORMAT" 項目内のコマンドおよびCOPYを行った場合、対象のメディアのデータは全て消去されます。十分確認したうえで行ってください。

CURRENT MEDIA

現在選択されているメディア名とその状態を表示します。

MEDIA SELECT

"MEDIA SELECT" 画面を表示します。

録音 / 再生するメディアを選択します。

FORMAT

選択されているメディアをフォーマットします。

QUICK ボタン　：メディアの管理領域のみを初期化します。

FULL ボタン　：メディアの全領域を初期化します。

USB FORMAT

USBメモリをフォーマットします。

QUICK ボタン　：USBメモリーの管理領域のみを初期化します。

FULL ボタン　：USBメモリーの全領域を初期化します。

MEDIA COPY

メディアの内容をコピーします。

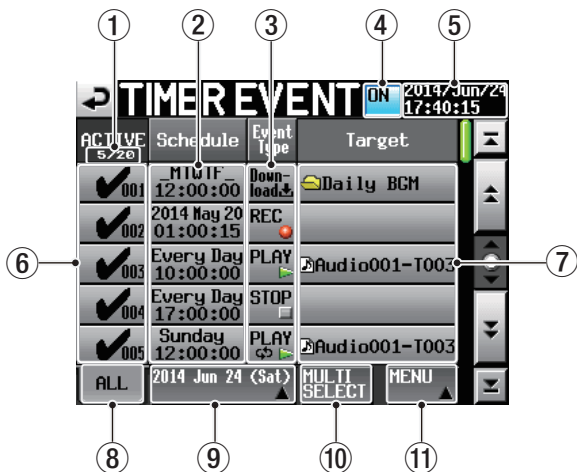
SD → CF / CF → SD　：選択されているメディアから選択されていないメディアにメディア全体をコピーします。

SD → USB / CF → USB　：選択されているメディアからUSBメモリーにメディア全体をコピーします。

USB → SD / USB → CF　：USBメモリーから選択されているメディアにメディア全体をコピーします。

TIMER EVENT LIST 画面

下記イベントを設定時間に自動的に実施するタイマーイベントを表示/操作する画面です。

Event Type	内容
PLAY	再生
PLAY	リピート再生
REC	録音
STOP	停止
Down-load	ダウンロード（FTP サーバーからダウンロード）
Delete &DL	削除後ダウンロード （カレントフォルダー内のオーディオファイルを全て削除後、FTP サーバーからダウンロード）

① アクティブ 表示
アクティブイベント数 / 総イベント数を表示します。

② Schedule ボタン
イベントを実施する日時情報を表示します。

- 上段 ： イベントに設定されている日付または曜日を表示します。
毎月指定の場合は、[2014 *** 1]のように表示します。
4つ以上の曜日指定の場合は、[SMTWTFS]と曜日の頭文字だけを表示します。
例）： 月〜金の場合、[_MTWTF_]
- 下段 ： イベントに登録されている時刻を表示します。

③ Event Type ボタン
イベントの種類を表示します。
アイコンは上記、[**Event type/内容**]リストを参照してください。

④ タイマーイベント機能 [有効/無効] 切り換えボタン
タイマーイベント機能の有効/無効を切り換えるボタンです。
ボタンをタッチすることでON/OFFを切り換えます。

⑤ 現在の日時 表示
現在の内蔵時計の日時を表示します。

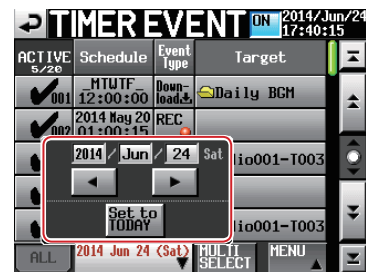
⑥ イベントのオン/オフ切り換え ボタン
イベントごとに実施する/しないを切り換えるボタンです。
ボタンをタッチすることでチェックマークのON/OFFを切り換えます。

⑦ Target ボタン
イベントの対象ファイル/フォルダーを表示します。
再生/リピート再生のイベントでは、再生対象ファイル名を表示します。
ダウンロード/削除後ダウンロードのイベントでは、ダウンロード対象ファイル/フォルダー名を表示します。

⑧ ALL ボタン
このボタンをアクティブにすると、すべての登録イベントを表示します。

⑨ 表示フィルター ボタン

- このボタンをアクティブにすると、表示されている日付に実施されるイベントだけを表示します。
- このボタンを押すと日付指定のプルアップ メニューを表示します。プルアップ メニュー表示中に、再度押すとメニューを閉じます。

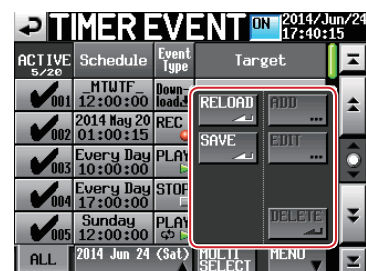
表示フィルター プルアップ メニュー

<日付指定エリア>

2014 / Jun / 24	タッチすると背景が黄色くなり、DATA ダイアルで操作できます。
◀	前日の日付に移動するボタンです。 ボタンを押すと1日前の日付に切り換わります。
▶	後日の日付に移動するボタンです。 ボタンを押すと1日後の日付に切り換わります。
Set to TODAY	このボタンを押すと今日の日付が設定されます。

⑩ MULTI SELECT ボタン
このボタンをアクティブにすると複数のイベントを選択できるモードに切り換わります。

⑪ MENU ボタン

- このボタンを押すとプルアップ メニューを表示します。
- プルアップ メニュー表示中に、再度押すとメニューを閉じます。
タイマーイベントを編集して、未保存状態ではボタン上に" ⚠ "が表示されます。

MENUボタン プルアップメニュー

<RELOAD ボタン>
変更内容を破棄して、タイマーイベント情報ファイルを読み直します。

<SAVE ボタン>
タイマーイベント情報ファイルをメディアに保存します。
タイマーイベントを編集して、未保存状態ではボタン上に" ⚠ " が表示されます。

<ADD ボタン>
追加するタイマーイベントを編集するTimer Event Setup 画面に切り換えます。

<EDIT ボタン>
選択したタイマーイベントを編集するTimer Event Setup 画面に切り換えます。

<DELETE ボタン>
選択したタイマーイベントを削除します。

メ モ

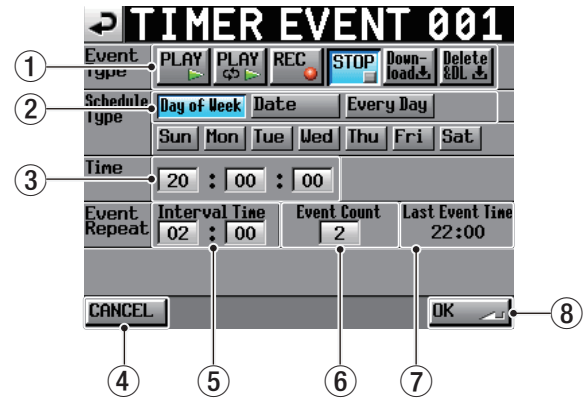
- タイマーイベント機能はテイクモードでのみ有効となります。
- 登録/実施可能イベント数は100個です。
  例えば10回繰り返すイベントが20個ある場合は、実施イベントの総数が10x20=200個となってしまうため、実施イベント数が100個以内となるリスト先頭から10個のイベントだけが実施され、後半10個のイベントは実施されません。
- イベントはイベントを開始する時刻順に自動的にソートされます。
- 同時刻のイベントは、リスト上で後ろに登録されているイベントが有効となります。
- **“録音”** / **“リピート再生”** タイマーイベントは、**“停止”** タイマーイベントまで、**”録音”** / **“リピート再生”** を継続します。
- 録音中に **“録音”** / **“再生”** / **“リピート再生”** タイマーイベント時刻になっても、録音を継続します。
- 再生中に **“録音”** / **“再生”** / **“リピート再生”** タイマーイベント時刻になったら、再生を停止して **“録音”** / **“再生”** / **“リピート再生”** タイマーイベントを実施します。
- 録音/再生中に **“ダウンロード”** タイマーイベント時刻になったら、録音/再生を継続したまま **“ダウンロード”** タイマーイベントを実施します。
- ダウンロード中に **“録音”** / **“再生”** / **“リピート再生”** タイマーイベント時刻になったら、ダウンロードを継続したまま **“録音”** / **“再生”** / **“リピート再生”** タイマーイベントを実施します。
- **“ダウンロード”** タイマーイベントでダウンロードするファイルと同名のファイルがカレントフォルダーにあった場合は上書きします。
- 録音/再生中に **“削除後ダウンロード”** タイマーイベント時刻になったら、録音/再生を継続したまま削除を実施せずにダウンロードタイマーイベントを実施します。
- ダウンロード中はSD カード/CF カードのインジケーターが点滅します。
- タイマーイベント情報ファイルは、フォルダーをロードした際に自動的に読み込みます。
- タイマーイベント情報ファイル (HS_EventList.tlist)をFTP 機能やBrowse 機能で上書きすると、自動的にタイマーイベント情報ファイルを読み直します。

注 意

保存("SAVE")を行わない場合、フォルダーをロードしたり、カードを抜いたり、本機の電源を切るなどすると、変更したタイマーイベントの内容は、クリアされます。

TIMER EVENT SETUP 画面

指定イベントの設定を編集する画面です。

[共通項目]
＊録音イベントと停止イベントは、共通項目の設定だけが、表示/操作できます。

① **Event Type ボタン**
イベントの種類を指定するボタンです。

- 再生　: **PLAY (►)**
- リピート再生　: **PLAY (► ⊂⊃)**
- 録音　: **REC (●)**
- 停止　: **STOP (■)**
- ダウンロード　: **Down-load (⤓)**
  (FTP サーバーからダウンロード)
- 削除後ダウンロード　: **Delete&DL (⤓)**
  (カレントフォルダー内のオーディオファイルを全て削除後、FTP サーバーからダウンロード)

② **Schedule Type ボタン**
イベントの実施スケジュールの種類を指定するボタンです。

③ **Time 表示**
イベントの実施時刻(時分秒)の指定エリアです。
タッチすると背景が黄色くなり、**DATA** ダイアルで操作できます。

④ **CANCEL ボタン**
編集内容を破棄し、**Timer Event List** 画面に戻ります。

⑤ **Event Repeat (Interval Time) 表示**
繰り返し実施するイベントの実行間隔(時 : 分)の指定エリアです。
タッチすると背景が黄色くなり、**DATA** ダイアルで操作できます。

⑥ **Event Repeat (Event Count) 表示**
繰り返し実施するイベントの実行回数[1-100]の指定エリアです。
＊回数が[1]だと繰り返しません。
タッチすると背景が黄色くなり、**DATA** ダイアルで操作できます。

⑦ **Event Repeat (Last Event Time) 表示**
繰り返し実施するイベントの最終実行時刻を表示します。

⑧ **OK ボタン**
編集内容を確定し、**Timer Event List** 画面に戻ります。

メ モ

[繰り返しイベントの設定例]
10:00 から19:00 まで、毎時ちょうどにイベントを実施する場合は、下記のように設定します。

Time	10:00
Event Repeat:Interval Time	01:00
Event Repeat:Event Count	10

[スケジュールタイプ画面]

- **曜日**

  TIMER EVENT SETUP 画面で、**Day of Week** ボタンを選択すると、イベントを実施する曜日を指定できます。(毎週 何曜日)

  曜日指定 ボタンで曜日ごとに個別でON/OFFできます。

- **日付**

  TIMER EVENT SETUP 画面で、**Date** ボタンを選択すると、イベントを実施する日付を指定できます。

  イベントの実施年月日の指定エリアをタッチすると背景が黄色くなり、**DATA** ダイアルで操作できます。

メ モ

月エリアでは、1月と12月の間で[毎月](***と表示)が指定できます。

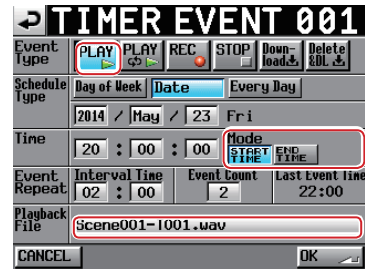
- **毎日**

  TIMER EVENT SETUP 画面で、**Every Day** ボタンを選択すると、毎日実施するイベントに設定できます。

[再生イベント/リピート再生イベント画面]

- **再生イベント画面**

  TIMER EVENT SETUP 画面で、**Event Type** ボタンの**PLAY** (►) ボタンを押すと、この画面に切り換わります。

＜Mode (時刻指定モード)＞

START TIME ボタン　：再生対象ファイルの再生を指定時刻に開始するイベントとして設定します。

END TIME ボタン　：再生対象ファイルの再生を指定時刻に完了するイベントとして設定します。

メ モ

END TIMEで登録されたイベントの開始時刻は、再生対象ファイルがカレントフォルダーに存在しない間は、ファイルの長さがゼロとして計算されます。

ダウンロードイベント等でファイルが追加されるとファイルの時間が反映されます。

＜Playback File ＞

このエリアをタッチすると**[再生対象ファイル選択画面]**に切り換わります。

- **リピート再生イベント画面**

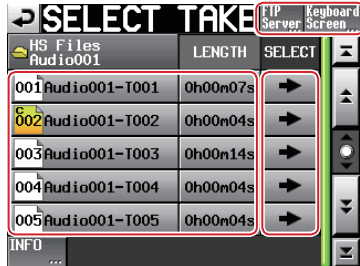
  TIMER EVENT SETUP 画面で、**Event Type** ボタンの**PLAY** (► ⟲) ボタンを押すと、この画面に切り換わります。

Mode (時刻指定モード)が無い以外は、**[再生イベント]**と同じです。

再生対象ファイル選択画面

[再生イベント/リピート再生画面]で、**Playback File**を押すと下記、3種類のいずれかの再生対象ファイル選択画面を表示します。

[テイク選択画面]

本体メディアにあるファイルを選択する画面です。

＜FTP Server / Keyboard Screen 切り換えボタン＞

FTP Server ボタン　：ボタンを押すと**[FTP Server BROWSE 画面]**に切り換わります。

Keyboard Screen ボタン：ボタンを押すと**[再生ファイル名入力画面]**に切り換わります。

＜再生対象ファイル＞

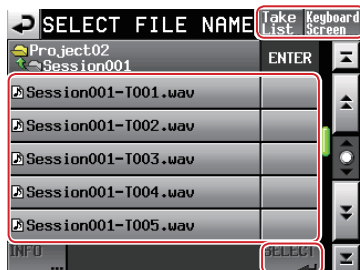
カレントフォルダー内の再生対象ファイルを表示します。

＜SELECT ボタン＞

[テイク選択画面]で、**SELECT (➡)** ボタンを押すと、画面左側の対象ファイルを再生対象として設定し、**Timer Event Setup**画面に戻ります。

[FTP Server BROWSE 画面]

FTPサーバーにあるファイルの名前を選択する画面です。

この画面では、まだダウンロードしておらず本体メディアにないファイル名を設定することができます。

＜Take List / Keyboard Screen 切り換えボタン＞

Take List ボタン　：テイク選択画面に切り換わります。

Keyboard Screen ボタン：ボタンを押すと**[再生ファイル名入力画面]**に切り換わります。

＜ファイル名リスト＞

FTP Server内のファイルを表示します。

ファイル名をタッチすると背景が黄色くなり、選択状態になります。

＜SELECT ボタン＞

ファイル名を選択中に、**SELECT (↵)** ボタンを押すと、選択ファイル名を再生対象として設定し、**Timer Event Setup**画面に戻ります。

メ モ

この画面では、まだダウンロードしておらず本体メディアにない日本語ファイル名を設定することができます。

[再生ファイル名入力画面]

再生対象ファイル名を文字入力する画面です。

＜Take List / FTP Server 切り換えボタン＞

Take List ボタン　：ボタンを押すとテイク選択画面に切り換わります。

FTP Server ボタン　：ボタンを押すと**[FTP Server BROWSE 画面]**に切り換わります。

＜再生対象ファイル入力＞

- **Enter**ボタンを押すと、入力したファイル名を再生対象ファイル名として設定し、**Timer Event Setup**画面に戻ります。
- **".wav"**が入力されていなくても自動的に**".wav"**を付加したファイル名を設定します。
- ファイル名が画面幅より広い場合、**"←"** / **"→"** キーでカーソルを移動すると、ファイル名が左右にスクロールして表示されます。左右端が表示されていない場合は、左右端に **"…"** が表示されます。

[ダウンロードイベント/削除後ダウンロードイベント画面]

● **ダウンロードイベント画面**

FTP Server内のダウンロード対象フォルダー/ファイルをダウンロードします。

TIMER EVENT SETUP 画面で、**Down-load (⬇)** ボタンを押すと、この画面に切り換わります。

● **削除後ダウンロードイベント画面**

カレントフォルダー内のオーディオファイルを全て削除後、FTPサーバーからダウンロード対象フォルダー/ファイルをダウンロードします。

TIMER EVENT SETUP 画面で、**Delete&DL (⬇)** ボタンを押すと、この画面に切り換わります。

＜Download Target ＞

ダウンロード対象ファイル/フォルダーのパスを表示します。

タッチすると**[ダウンロード対象選択画面]**に切り換わります。

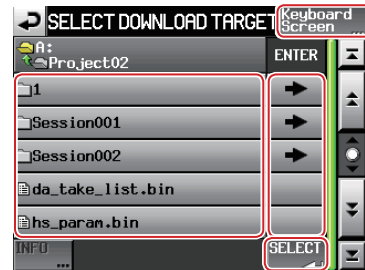
メ モ

ダウンロード先サーバーは、**REMOTE SETUP** 画面 / **FTP** タブ画面で設定されたサーバーです。

[ダウンロード対象選択画面]

[ダウンロードイベント/削除後ダウンロードイベント画面]で、**Download Target**のパス名をタッチすると下記２種類のいずれかのダウンロード対象選択画面を表示します。

[FTP Server BROWSE画面]

FTPサーバーにあるファイル/フォルダーのパスを選択する画面です。

＜パス名入力画面 切り換えボタン＞

Keyboard Screen ボタン：ボタンを押すと**[パス名入力画面]**に切り換わります。

＜ダウンロード対象ファイル/フォルダー＞

FTP Server内のファイル名/フォルダ名を表示します。

ファイル名/フォルダ名をタッチすると背景が黄色くなり、選択状態になります。

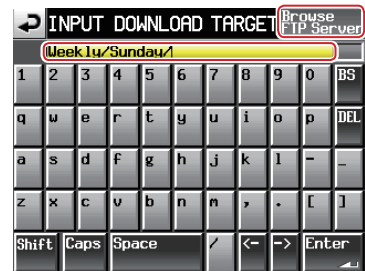
＜SELECT ボタン＞

ファイル名/フォルダ名を選択中に、**SELECT (↵)** ボタンを押すと、選択したファイル/フォルダのパスをダウンロード対象として設定し、**Timer Event Setup**画面に戻ります。

何も選択しないで**SELECT (↵)** ボタンを押すと、表示中のフォルダーのパスをダウンロード対象として設定し、**Timer Event Setup**画面に戻ります。

[パス名入力画面]

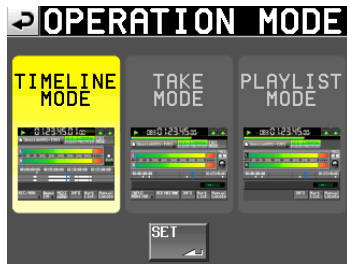
ダウンロード対象のパス名を文字入力する画面です。

＜Browse FTP Server 切り換えボタン＞

Browse FTP Server ボタン：ボタンを押すと**[FTP Server BROWSE画面]**に切り換わります。

＜ダウンロード対象ファイル/フォルダーのパス名入力＞

- フォルダーを指定する場合は、末尾に「/」を入力してください。
- パス名が画面幅より広い場合、**"←"** / **"→"** キーでカーソルを移動すると、パス名が左右にスクロールして表示されます。左右端が表示されていない場合は、左右端に **"…"** が表示されます。
- **"/"** ボタンは、FTPパス名の入力時にだけ表示されます。
  Shift 状態では **":"** 入力ボタンに切り換わります。

動作モード選択 (OPERATION MODE)

本機の動作モードを選択します。

選択後 **"SET"** ボタンを押すと動作モードが切り替わり、各モードでのホーム画面に戻ります。

TIMELINE MODE
本機がタイムラインモードになり、ホーム画面に戻ります。

TAKE MODE
本機がテイクモードになり、ホーム画面に戻ります。

PLAYLIST MODE
本機がプレイリストモードになり、ホーム画面に戻ります。

マーク機能

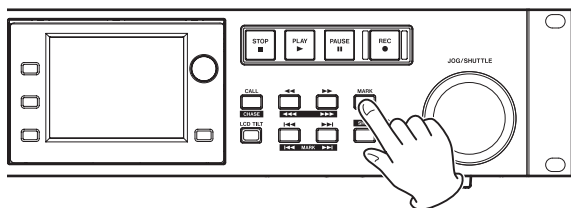
マークポイントを付ける

以下の方法でマークポイントを作成します。

マークポイントは、オートマーカーポイントと合わせて 1 つのタイムラインもしくは 1 つのテイクあたり、最大99個まで付けることができます。

● **フロントパネルにあるMARKキーを押す**

MARKキーを押すと、その時の再生 / 録音時刻にマークポイントを付けることができます。タイムラインモードでは、タイムラインにのみマークがつきます。ファイルにはつきません。

マークポイント名は、**"MARK xx"** となります。

● **オートマーカー機能を使う**

オートマーカー機能をオンにすると、オーディオオーバーが発生したとき、一定時間ごと、同期エラーが発生したとき、プリレック開始 / 録音の開始 / 終了時に、自動的にマークポイントを付けることができます。（→ 81 ページ「OPTIONSタブ画面」）

タイムラインモードではタイムラインとファイル自体にマークがつきます。

マークポイント名は、それぞれ以下のようになります。

オートマーカーの発生状態	マークポイント名表示
オーディオオーバー時	OVER xx
一定時間ごと	TIME xx
同期エラー時	UNLK xx

注 意

下記のオートマーカーは、ファイル（テイク）にのみ記録され、タイムラインモードのタイムラインには現れません。

オートマーカーの発生状態	マークポイント名表示
録音開始ポイント	REC xx
録音停止ポイント	END xx
プリレック開始ポイント	PRE xx

メ モ

- **"Audio Over"**（オーディオオーバー）とは、最大レベル（フルビット）からユーザーが設定した値を引いたレベルを超えることです。
  （上記の例では、最大レベルから0.20dB引いたレベルを超えた場合になります）
- パラレルコントロールのMARKイベントが入力されると、**MARK**キーを押した場合と同様のマークポイントが付きます。
- オーディオオーバーと同期エラーのオートマーカーを付けた後は、10秒経過するまで同一マークを付けません。

キー操作によるマークポイントへのロケート

SHIFTキーを押しながら、**⏮ [MARK ⏮]**キーまたは**⏭ [MARK ⏭]** キーを押すことにより、一つ手前または一つ先のマークポイントにロケートします。

メ モ

パラレルコントロールのMARK SKIP + / −イベントが入力されると、それぞれ一つ先または一つ手前のマークポイントにロケートします。

マークポイントリスト画面

ホーム画面で **"Mark List"** ボタンを押すと、**"MARK LIST"** 画面を表示します。

NAME ボタン

マークポイント名で降順、昇順にソートします。

マーク名で昇順にソートされているときは **"NAME"** ボタン内に **"△"** アイコンが、降順にソートされているときは **"▽"** アイコンが表示されます。

TIME ボタン

マークポイントの時間で降順、昇順にソートします。

時間で昇順にソートされているときは **"TIME"** ボタン内に **"△"** アイコンが、降順にソートされているときは **"▽"** アイコンが表示されます。

マークポイント(マークポイント名) ボタン

マークポイントを選択します。

LOCATE(" ") ボタン

そのマークポイントにロケートします。

LIST INFO ボタン

現在選択しているテイクのマークポイント種別ごとのマークポイント数を一覧表示するマークリストインフォメーション画面を表示します。

EDIT NAME ボタン

選択したマークの名前を変更する **"MARK NAME"** 画面を表示します。

EDIT TIME ボタン

選択したマークの位置を変更する **"MARK EDIT"** 画面を表示します。

MULTI SELECT ボタン

マークを複数選択できるモードにします。

DELETE ボタン

選択したマークを削除します。

スクロール ボタン

マークポイントリストの先頭、末尾、1ページ（5行）ずつのスクロールを行います。また、**DATA**ダイヤルを使っても、1行ずつマークリストをスクロールすることができます。

マークポイントにロケートする

“　” ボタンを押すと、該当するマークポイントにロケートします。

マークポイントの情報を見る

“MARK LIST” 画面の **“LIST INFO”** ボタンを押すと、マークリストインフォメーション画面を表示します。

この画面では、現在ロードしているテイクのマークポイント種別ごとのマークポイント数を一覧表示します。

再度 **“LIST INFO”** ボタンを押すと、**“MARK LIST”** 画面に戻ります。

MARK LIST 001:Session00-T001 TOTAL#8

TYPE	COUNT
TOTAL	8
MANUAL MARK	5
TIME	0
OVER	0
UNLK	0

LIST INFO　DELETE

[マークリストインフォメーション画面]

メモ

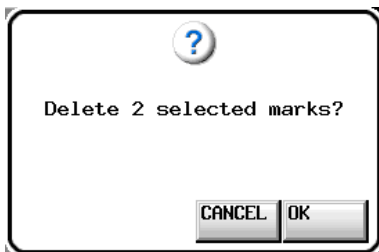
録音後、マークリストインフォメーション画面において、トータルのマークポイント数が **“MANUAL MARK”**、**“TIME”**、**“OVER”**、**“UNLK”** の合計よりも、2もしくは3多い場合があります。これは、録音時に作成される **“REC”**、**“END”**、**“PRE”**（プリレック時）のマークポイントが含まれているためです。

マークポイントを削除する

1. **“MARK LIST”** 画面で、削除したいマークポイントを選択します。

[MARK LIST画面]

2. **“MARK LIST”** 画面内の **“DELETE”** ボタンを押します。
3. 確認のポップアップウィンドウが表示されます。

   “OK” ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、マークポイントを削除します。

[MARK LIST画面で削除を行った場合]

メモ

マークリストインフォメーション画面で、削除したいマークポイントまたはマークポイント種を選択し、**“DELETE”** ボタンを押すことで、同じマークポイント種類のマークを全て削除することもできます。

このとき **“Delete all marks of this type?”** の確認ポップアップウィンドウが出ますので、**“OK”** ボタンまたは**DATA**ダイヤルを押すと、同一マークポイント種を全て削除します。

[マークリストインフォメーション画面]

[マークリストインフォメーション画面で削除を行った場合]

マークポイントの位置を編集する

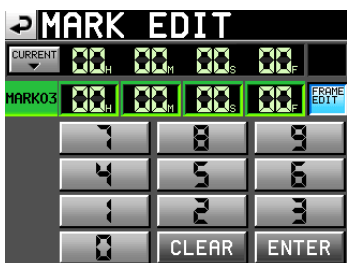
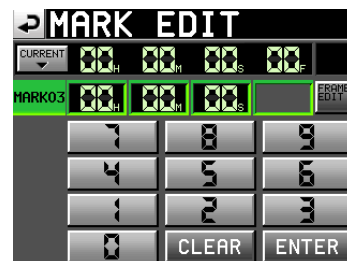
MARKキー操作で付けたマーク（マーク名が **“MARK xx”** のもの）は、マークポイントの位置（時刻）を編集することができます。

メ モ

オートマーカーのマークポイントは、編集できません。

1. **“MARK LIST”** 画面で、編集したいマークポイントを選択します。

2. **“EDIT TIME”** ボタンを押して、**“MARK EDIT”** 画面を表示します。

   “FRAME EDIT” ボタンでフレーム値まで編集するかどうか設定ができます。

［フレームエディットオン状態］

［フレームエディットオフ状態］

3. 画面内の数字ボタンでマークポイントを入力します。数字を選択して**DATA**ダイヤルを使って時間変更することもできます。

   “ENTER” ボタンを押して確定し、**“MARK LIST”** 画面に戻ります。

- 入力する桁を選択せずに入力すると、最下位桁から順に入力します。
- 入力する桁を選択する場合は、その桁を押し、背景を黄色に反転させ、数字ボタンもしくは**DATA**ダイヤルを使って、2桁ずつ入力します。
- **“CURRENT ▼”** ボタンを押すと、現在の再生位置を入力値にコピーすることができます。
- **“CLEAR”** ボタンを使うと入力値を全てゼロクリアすることができます。

ヒント

外付けキーボードを使っての編集も可能です。
キーボードの**Enter**キーを押すと確定し、**ESC**キーを押すと全てゼロクリアします。

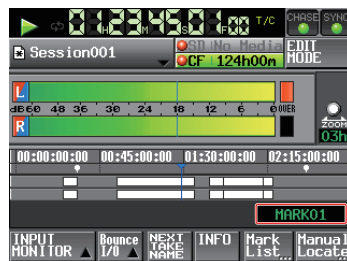
マークポイントの名前を編集する

1. **“MARK LIST”** 画面で、編集したいマークポイントを選択します。

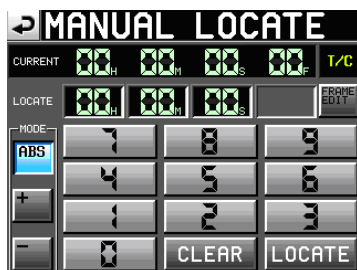
2. **“EDIT NAME”** ボタンを押して、**“MARK NAME”** 画面を表示します。

名前の入力方法は、32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」と同じです。

メ モ

ホーム画面のマーク名部分を押すことでも **“MARK NAME”** 画面を表示することができます。
ただし、オートマークされるマーク名の場合は名前を編集できないため、**“MARK NAME”** 画面は表示されません。

マニュアルロケート機能

時間を直接入力して、ロケートすることができます。
ホーム画面で **"Manual Locate"** ボタンを押すと、**"MANUAL LOCATE"** 画面を表示します。
"FRAME EDIT" ボタンを押して、フレーム単位での入力をするかしないかの設定ができます。

[フレームエディットオン状態]

[フレームエディットオフ状態]

ロケートモードには、以下の三つのモードがあります。

ABS : 実際にロケートする時間を入力してロケートする。
＋ : 現在時刻からどれだけ進めるのかを入力してロケートする。
－ : 現在時刻からどれだけ戻すのかを入力してロケートする。

画面内の数字ボタンで時間を入力します。
"LOCATE" 表示部の数字の桁を押し、**DATA**ダイヤルを使って時間変更することもできます。
"LOCATE" ボタンを押すとロケートを行い、ホーム画面に戻ります。
"CLEAR" ボタンを押すと、入力値を全てゼロクリアします。

ヒント

外付けキーボードを使っての編集も可能です。
キーボードの**Enter**キーを押すと確定し、**ESC**キーを押すと全てゼロクリアします。

第 12 章　その他の機能

フラッシュスタート機能

フラッシュスタート機能を使って、あらかじめ登録しておいたテイクを瞬時に再生開始することができます。

最大100テイクを、キーボードまたは本機のリモート端子（**REMOTE**端子、**PARALLEL**端子）に接続した外部機器からの操作で、瞬時に再生を開始することができます。

1. テイクモード時は、再生したいフォルダーを選びます。

（ → 34 ページ「フォルダーをロードする」）

プレイリストモード時は、プレイリストを選びます。

（ → 68 ページ「プレイリストをロードする」）

2. 再生したいテイクまたはエントリーの含まれているページをホーム画面のフラッシュページ操作 / 表示ノブをタッチして選択状態(黄色背景)にしてから**DATA**ダイヤルを使って選択します。

選択したフォルダーまたはプレイリストのなかの1番目〜 100番目までのテイクまたはエントリーのフラッシュスタート再生ができます。

ページ番号	テイク番号 / エントリー番号
1	1-20
2	21-40
3	41-60
4	61-80
5	81-100

3. フラッシュスタートキーを押すと、そのキーに対応したテイクまたはエントリーが瞬時に再生されます。

メモ

サンプリング周波数の異なるファイルをフラッシュスタートさせると、再生開始時にサンプリング周波数の切り替えが行われるため、瞬時に再生されません。

ただしくフラッシュスタートをさせるためには、テイクモードの場合、フォルダー内のファイルが **"REC Fs"** と同じサンプリング周波数のファイルだけになるようにして下さい。

プレイリストモードの場合、プレイリストへの登録ファイルが **"REC Fs"** と同じサンプリング周波数のファイルだけになるようにして下さい。

コンピューターキーボードを使った操作

IBM PC互換機用のPS/2インターフェースまたはUSBインターフェースのキーボードを使って本機を操作することができます。PS/2インターフェースのキーボードは本機フロントパネルの**KEYBOARD**端子に、USBインターフェースの場合は本機フロントパネルの**USB**端子に接続します。各種コントロールが可能ですが、特に名前の入力を効率的に行うことができます。

キーボードタイプの設定

接続するキーボードに合わせて、キーボードタイプを選択します。

"SYSTEM SETUP" 画面の **"PREFERENCES"** タブ画面で設定を変更してください。（ → 93 ページ「PREFERENCESタブ画面」）

キーボードを使って名前を入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、以下の項目で文字を編集 / 入力することができます。

- ルート内のフォルダー名
  （ → 32 ページ「ルート内のフォルダー名を編集する」）
- フォルダー名（ → 34 ページ「新規フォルダーを作成する」）
- テイク名（ → 62 ページ「テイク名を編集する」）
- NextTake名の前半部
- NextTake名の後半のアルファベット部

また、以下の項目で数値を入力することができます。

- T/C USER BITSの編集
- START TIMEの編集
- マークポイントを編集する
  （→ 110 ページ「マークポイントの位置を編集する」、→ 110 ページ「マークポイントの名前を編集する」）
- マニュアルロケートポイントの入力
  （ → 111 ページ「マニュアルロケート機能」）
- タイムコードオフセットの編集
  （ → 84 ページ「SYNCタブ画面」）
- プレイリスト名
  （ → 67 ページ「新規プレイリストを作成する」、→ 76 ページ「プレイリストを保存する」）
- AES31ファイル名
  （ → 42 ページ「新規AES31編集情報を作成する」）
- プレイリストエントリータイトル
  （ → 72 ページ「エントリーのタイトルを編集する」）
- バウンスファイル名
  （ → 55 ページ「バウンス」）

入力する文字種を選択するには :

パソコンでの操作と同じように、**Shift**キーと**Caps Lock**キーを使って入力する文字の種類を選択できます。

入力するには :

数字キー、文字キー、記号キーで直接入力します。

カーソルを移動するには :

← / →キーを使います。

HOME / ↑キーでカーソルを先頭に移動します。

END / ↓キーでカーソルを末尾に移動します。

文字を削除するには :

Deleteキー　　: カーソル位置の文字を削除します。

Back Spaceキー : カーソル手前の文字を削除します。

文字を挿入するには :

希望の位置で挿入する文字を入力します。

注 意

- 以下の記号や句読点は、名前に使うことができません。
  ¥ / : * ? " <> |
- カナ入力はできません。
- NextTake名の後半のアルファベット部では、アルファベットの大文字のみ入力できます。

キーボード操作一覧

名前の入力だけでなく、トランスポートコントロールなど、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。以下に、キーボードのキーの機能をまとめておきます。

キーボードのキー	動作
F1 キー	⏮キーと同じ
F2 キー	⏭キーと同じ
F3 キー	CALLキーと同じ
F4 キー	STOPキーと同じ
F5 キー	PLAYキーと同じ
F6 キー	PAUSEキーと同じ
F7 キー	Auto CueのON / OFFの切り換え
F8 キー	RECキーと同じ
F9 キー	Auto ReadyのON / OFFの切り換え
F10 キー	Repeat ModeのON / OFFの切り換え
F11 キー	Play Modeの切り換え
F12 キー	———
CTRL + F1 キー	FLASH 1
CTRL + F2 キー	FLASH 2
CTRL + F3 キー	FLASH 3
CTRL + F4 キー	FLASH 4
CTRL + F5 キー	FLASH 5
CTRL + F6 キー	FLASH 6
CTRL + F7 キー	FLASH 7
CTRL + F8 キー	FLASH 8
CTRL + F9 キー	FLASH 9
CTRL + F10 キー	FLASH 10
CTRL + F11 キー	FLASH 11
CTRL + F12 キー	FLASH 12

第 13 章　タイムコード同期運転

この章では、オプションのSY-2を装着することで可能となるタイムコード同期運転について説明します。

本機は、リアパネルに装着されたSY-2の**TIMECODE IN** 端子に入力されるSMPTE タイムコードまたは内蔵タイムコードジェネレーター(以下マスター・タイムコードと記す)に同期して録音や再生をすることができます。

タイムコード同期運転の動作は、オペレーションモードごとに異なります。

タイムコード同期再生について

タイムラインモード

タイムラインモードでは、マスター・タイムコードに同期して再生を行うことができます。

タイムコード同期再生では、再生を開始するとマスター･タイムコードに同期して再生を行います。

テイクモード

タイムコード同期再生には対応していません。

プレイリストモード

タイムコード同期再生には対応していません。

基本的な操作手順

1. タイムラインモードで、録音または再生するフォルダーをロードします。
2. 以下のいずれかの操作で同期運転をオンにします。
   - フロントパネルの**SHIFT**キーを押しながら**CALL [CHASE]**キーを押す。
   - **"SYNC T/C"** 画面の **"SYNC"** タブ画面で **"TC Chase"** を **"ON"** に設定する。

   このとき、ホーム画面の **"TC"** インジケーターが **"CHASE"** インジケーターに変わります。
3. **PLAYキー**を押すとタイムコード同期再生を開始し、**PLAYキー**と**RECキー**を押すとタイムコード録音を開始します。どちらの場合も、ホーム画面の **"CHASE"** インジケーターが緑色に点灯します。
4. タイムコード同期録音 / 再生中に **STOP**キーを押すと、録音や再生を停止します。このとき、ホーム画面の **"CHASE"** インジケーターが点滅します。
5. タイムコード同期録音 / 再生を再開するには、手順**3**. ～ **4**.の操作を行います。
6. 同期運転をオフにするには、以下のいずれかの操作をします。
   - フロントパネルの**SHIFT**キーを押しながら**CALL [CHASE]**キーを押す。
   - **"SYNC T/C"** 画面の **"SYNC"** タブ画面で **"TC Chase"** を **"OFF"** に設定する。
   - このとき、録音 / 再生中であれば動作を継続します。また、ホーム画面の **"CHASE"** インジケーターは、**"TC"** インジケーターに戻ります。

タイムコードオフセット

マスター・タイムコードに対して、オフセットを設定することができます。

オフセットを設定することで、マスター・タイムコードから一定時間ずれた時刻で同期再生することができます。（ → 84 ページ「SYNCタブ画面」）

リチェイス

本機の同期再生では、同期再生を開始した後もマスター･タイムコードの監視を続けます。そして、本機の再生時刻とマスター・タイムコードが何らかの理由で一致しなくなった際に、再びチェイスを行う(リチェイス)ことができます。

本機では、リチェイス動作の有無と、どの程度一致しなくなった段階でリチェイス動作を行うかの設定ができます。（ → 84 ページ「SYNCタブ画面」）

タイムコード同期録音について

タイムラインモード

タイムラインモードでは、マスター・タイムコードに同期して録音を行うことができます。

タイムコード同期録音では、録音を開始した瞬間のマスター・タイムコードをキャプチャーし、タイムライン上でのその時刻(タイムコード時刻)より録音を開始します。

テイクモード

チェイス、リチェイスはできません。

録音開始時に内蔵タイムコードジェネレーターのタイムコード時間をキャプチャーし、ファイルのスタート時間とします。

プレイリストモード

プレイリストモードではタイムコード同期の有無にかかわらず録音は
できません。

注 意

本機の同期録音では、録音開始時に一度だけマスター・タイムコードと同期します。同期再生のようなリチェイス動作は行いません。

以下の要件を満たす音声ファイルを取り込んで、再生することができます。
また、TASCAM HSシリーズで作成された以下の要件を満たすファイルは、そのまま再生することができます。

- ファイルフォーマット　: BWF / WAV
- サンプリング周波数　: 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz
- 量子化ビット数　: 16 / 24ビット
- トラック数　: 2トラック以下

注 意

サンプリング周波数の異なるファイルを再生する場合、自動的に本機のサンプリング周波数が切り換わります。その際1 ～ 3 秒ほど時間がかかりますので、できるだけ同じサンプリング周波数のファイルを用意することをおすすめします。

取り込み前の準備

本機で初めて使用するメディアの場合は、必ず本機でフォーマットを行ってください。本機でフォーマットされたメディアは性能向上のために最適化されています。
他の機器、パソコンなどでフォーマットしたメディアを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。

1. 本機のカードスロットにメディアを挿入します。
2. 26 ページ「SDカード / CFカードのフォーマット」の手順に従ってメディアをフォーマットします。
3. メディアの挿入されているスロットのインジケーターが早い点滅をしていないことを確認してメディアを取り出します。

メ モ

本機でフォーマットを行うと、自動でルートに《**HS Files**》フォルダー、その中に《**Audio001**》フォルダーを作成します。

4. メディアをパソコンなどのメディアスロットに挿入します。

   このメディアは、パソコンから本機でフォーマットした場合に《**HS-20**》というドライブとして認識されます。
   ここではドライブ名を《**HS-20**》であるとして説明します。
5. 取り込みたい音声ファイルを《**HS-20**》の下層にあるフォルダー《**HS Files**》の更に下層にあるフォルダー《**Audio001**》にコピーします。

注 意

メディアに書き込みを行っている間は、メディアを取り出さないでください。メディアのデータが壊れ、データを読み出すことができなくなることがあります。
詳しくは、お使いのパソコンなどの機器またはカードリーダーの取扱説明書をご参照ください。

6. メディアをパソコンなどのメディアスロットから取り出します。

取り込んだファイルを本機で扱う

1. 本機のカードスロットに、ファイルをコピーしたメディアを挿入します。
2. フロントパネルの**FILE LIST**キーを押してテイク選択画面を表示すると、HS Files /Audio001 /に書き込んだ音声ファイルが、テイクとして認識されます。

3. タイムラインモードの編集機能でタイムラインに登録して再生するか、テイクモードで再生するか、プレイリストモードでプレイリストに登録して再生することができます。

   タイムラインモードでの編集機能については38 ページ「第7章　タイムラインモード」、テイクモードでの再生については56 ページ「第8章　テイクモード」の「再生する」を、プレイリストモードは67 ページ「第9章　プレイリストモード」を参照してください。

第 15 章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

● 電源が入らない。

↓

- 電源プラグなどがしっかりと差し込まれているか確認してください。

● メディアを認識しない。

↓

- カードがしっかりと挿入されているか確認してください。
- 録音や再生を一度停止してください。

● 本体で操作できない。

↓

- パネルロック機能がオンになっていませんか？

● 再生できない。

↓

- 本機が対応しているサンプリング周波数(44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz)と量子化数(16ビットまたは24ビット)の音声ファイルかどうかを確認してください。

● 音が出ない。

↓

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。
- 別売の専用リモートコントローラー（TASCAM RC-HS20PD）のフェーダーが下がっていないか確認してください。
- 入力信号音が聞こえない場合は、インプットモニターをオンにしてください。
- 再生音が聞こえない場合は、インプットモニターをオフにしてください。

● 録音できない。

↓

- 接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルを調節してください。
- メディアの容量が不足している場合は、不要なデータを削除して空き容量増やすかメディアを変更してください。
- 記録可能な最大テイク数 / テイク番号に達している場合は、録音するフォルダーを変更してください。
- フォルダー内のファイル、フォルダー / ディレクトリーなどの総数が多い場合は、録音するフォルダーを変更してください。

● 設定を変えたのに記憶されていない。

↓

- 本機では、メディアの選択切り換え時、フォルダー / テイクのロード、再生、録音のタイミングで設定のバックアップを行っています。起動後、これらの操作をしなかった場合には、設定を変更してもバックアップされない場合があります。

● 雑音がする。

↓

- 接続ケーブルが接触不良になっていないか、確認してください。

● タッチパネルが正しく動作しない。

↓

- 市販の液晶画面保護フィルムは、使わないでください。
- パネルロック機能にて、ディスプレーにロックが掛けられていないか、確認してください。

● フォルダーが新規作成できない。

↓

- 同じ名前のフォルダーがすでに存在していないか、確認してください。
- メディアの残り容量が少ない場合は、フォルダー作成を行えません。不要なデータを削除してから、フォルダー作成を行ってください。

以下にポップアップウィンドウに表示されるメッセージの一覧表を示します。HS-20では、状況に応じてポップアップウィンドウが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。
リスト先頭にメッセージ先頭の内容が状況によって変化するものがまとめてあります。これ以降はアルファベット順に並んでいます。

メッセージ	内容と対処方法	備考
MM "vvvvvvvv" NUM OF FOLDERS : p USED SIZE : u FREE SIZE : f TOTAL SIZE : t	メディア情報表示	MM = SD または CF "vvvvvvvv" = ボリュームレベル p : フォルダー数、u : 使用容量 f : 未使用容量、t : メディア総容量
MM DEVICE ERROR	メディアが認識できません。	MM = SD、CF または USB Memory
MM Format failed	フォーマット中にエラーが発生し、フォーマットを完了できませんでした。	MM = SD、CF または USB Memory
MM has no folders. Please create a folder.	フォルダーが一つも無いメディアです。	MM = SD または CF
MM is not available	該当メディアがありません。	MM = SD、CF または USB Memory
MM is not usable	コピーできません。	MM = SD、CF または USB Memory
MM MEDIUM ERROR	メディアの読み込みに失敗しました。	MM = SD、CF または USB Memory
MM not recommended format for Recording / Playing. Format this card?	メディアが本機でフォーマットされていないため、正常な録音再生動作を保証できないため、フォーマットを行います。	MM = SD または CF 本機の規定よりも小さいクラスタサイズでフォーマットされている際に発生。
MM Read Error	読み取りエラーが発生しました。	MM = SD、CF または USB Memory
MM to MM' Copy failed.	メディア間への全体コピーが出来ませんでした。	MM = SD、CF または USB Memory MM' = SD、CF または USB Memory
MM unrecognized format Please Format this card.	FAT以外でフォーマットされたメディアです。 本機で使用する場合は、フォーマットを行ってください。	MM = SD、CF または USB Memory
MM unsupported type	このメディアは、システムの要求する仕様を満たさないため、使用できません。	MM = SD、CF または USB Memory
MM Write Error	書き込みエラーが発生しました。	MM = SD、CF または USB Memory
Copy N selected folder(s) to MM?	選択したフォルダーをエクスポートします。	N = 選択数 MM = SD または CF
Copy N selected Take(s) to MM?.	選択したテイクをエクスポートします。	N = 選択数 MM = SD または CF
"nnn" : "eeeeeee" "tttttttt" fs / bit / FileMode / NumOfTracks Entry LENGTH : *h**m**s**f START T/C : hh:mm:ss.ff	エントリー情報表示	"nnn" : エントリー番号 "eeeeeeee" : エントリー名 "tttttttt" : テイク名 fs : サンプリング周波数 bit : ビット数 FileMode : MONO or POLY NumOfTracks : Track数 Entry LENGTH : エントリーの長さ START T/C : エントリー先頭のタイムコード時刻
nnn : NNNNNNNN cannot be found.	表示された番号と名前のテイクが見つかりません。	nnn:テイク番号 NNNNNNNN : テイク名
"pppppppp" folder : n Fs : f TIMECODE : t	ルート内のフォルダー情報表示	"pppppppp" = ルート内のフォルダー n : フォルダー数 f : 録音時のサンプリング周波数 t : タイムコードフレームタイプ
"ssssssss" TAKES : n Fs : f TOTAL SIZE : u TOTAL TIME : t	フォルダー情報表示	"ssssssss" = フォルダー名 n : テイク数 f : 録音時のサンプリング周波数 u : 使用容量 t : 全テイクの合計時間
"tttttttt" date fs / bit / FileMode / NumOfTracks SIZE : u LENGTH : *h**m**s**f	テイク情報表示	"tttttttt" = テイク名 date : 年 / 月 / 日時 : 分 fs : サンプリング周波数 bit : ビット数 FileMode : MONO or POLY NumOfTracks : Track数 u : 使用容量

メッセージ	内容と対処方法	備考
"tttttttt" START T/C　: ** : ** : ** . ** END TC　　: ** : ** : ** . ** FRAME TYPE : **F	テイク情報表示	"tttttttt" ＝テイク名 START T/C : ファイル先頭のタイムコード時刻 END T/C : ファイル末尾のタイムコード時刻 FRAME TYPE : フレームタイプ
<AES31 ADL Info> "ffffffff" Size : **MB yyyy / mm / dd hh : mm	AES31編集情報ファイル情報	"ffffffff"＝編集情報ファイル名
Bounce Selected Area to file? "ffffffff"	選択された範囲をファイルにバウンスします。	"ffffffff"＝ファイル名
Canceled	処理をキャンセルしました。	
Cannot add timer event. Timer event limit reached.	制限に達したためタイマーイベントを追加できません。	
Timer event limit reached."	制限に達したためタイマーイベントを追加できません	** ="Playing"、"Chasing TC"または"Recording"
Cannot Change Now Fixed in current Fs.	現在のFsでは変更できません。	
Cannot Change Now Fixed in current mode.	現在のモードでは設定が固定されており、変更できません。	
Cannot Change Now Inc.Play cannot set to ON while Play Inhibit Time is Inf.	**"Play Inhibit Time"** 項目が **"Inf"** に設定されているため、**"Inc.Play"** 項目をオンにできません。	
Cannot Copy. "tttttttt" already exist in current folder.	別フォルダーのテイクをエントリーにアサインする際、カレントフォルダーにテイクをコピーします。その際､コピーテイク名と同名のファイルがカレントフォルダー内に存在しました。 [RENAME]ボタン　: 名前を変更してCopyを実施 [CANCEL]ボタン　: Copyを実施しない	"tttttttt"＝コピーするテイク名
Cannot Copy File. "ffffffff" already exist in Destination.	コピー先に選択したファイルが存在するためコピーできません。	ffffffff : ファイル名
Cannot Copy Folder. "ffffffff" already exist in Destination.	コピー先に選択したフォルダーが存在するためコピーできません。	ffffffff : フォルダー名
Cannot Copy for Insert. "ffffffff" already exist in current Folder.	カレントフォルダーに選択したファイルが存在するため、ファイル挿入のためのコピーができません。	ffffffff : ファイル名
Cannot Copy for Paste. "ffffffff" already exist in current Folder.	カレントフォルダーに選択したファイルが存在するため、ファイル貼り付けのためのコピーができません。	ffffffff : ファイル名
Cannot Copy. Source folder and Destination folder is same.	コピー元フォルダーとコピー先フォルダーが同じため、コピーできません。	
Cannot Copy. Destination folder is sub-folder of source folder.	コピー先フォルダーがコピー元フォルダーのサブフォルダーのため、コピーできません。	
Cannot create more than 100 folders	作成可能な最大ルートフォルダー数に達しているため、新規ルートフォルダーを作成できません。	
Cannot create new mark point. Mark point already exists at the same timestamp.	同一時刻にマークポイントが設定されようとしています。 マークポイントを同一時刻に設定できません。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Cannot create new folder. Media Full.	メディアの空き容量がないので新規フォルダーは、作成できません。	
Cannot edit this mark point. Mark point already exists at the same timestamp.	すでに同一時刻のマークポイントがあるため、マークを編集できません。	フレーム以上の時刻データが同じでも、画面に表示されないサブフレーム以下の値が違う場合には、編集できます。
Cannot execute bounce. Media Full.	メディアの空き容量がないのでバウンスができません。	
Cannot execute bounce. Bounce file size is over 2GB.	ファイルサイズが2GBを超えるためバウンスができません。	
Cannot execute combine. "aaaaaaaa" "bbbbbbbb" These property are not matched.	2つのテイクのプロパティが異なるため、結合できません。	"aaaaaaaa"　＝結合する前側のテイク名 "bbbbbbbb"　＝結合する後側のテイク名
Cannot execute combine. Combine file size is over MMM.	結合後のファイルサイズがREC SETUP画面 Formatタブ画面のMax File Size以上のため、結合できません。	MMM = 640MB、1GBまたは2GB
Cannot execute combine. Media Full.	メディアの空き容量が足りないため、結合できません。	
Cannot execute. File property is not matched to current setting.	ファイルのプロパティが現在の設定と一致しないため実行できません。	
Cannot execute. Media Full.	メディアの空き容量が足りないため、実行できません。	
Cannot Export. Not enough space on MM	エクスポート先のメディアの容量が不足しています。	MM = SD または CF
Cannot Export. Folder already exists on MM. Overwrite folder?	エクスポート先に同名フォルダーが存在します。上書きしますか？	MM = SD または CF
Cannot Export. Selected Take already exist in Export destination.	エクスポート先に選択テイクと同じ名前のテイクがあるため、エクスポートできません。	
Cannot increment Take. Interval is too short. Or Media almost full	録音開始から4秒未満で**REC**キーが押されたか、メディアがいっぱいのため、次のテイクの録音を開始できません。	
Cannot increment Take. System limit reached,Please make new folder.	フォルダー内のファイル、フォルダー / ディレクトリーなどの総数が多いため、次のテイクの録音を開始できません。	
Cannot make more than 1000 folders.	作成可能な最大フォルダー数に達しているため、新規フォルダーを作成できません。	
Cannot make new folder. Media Full.	メディアの空き容量がないので新規フォルダーが作成できません。	
Cannot RECORD. (Internal state error)	何らかの原因で録音ができません。	
Cannot RECORD. ABS time is over 24h	タイムラインモードのABS時刻が24時間を超えるため、録音を開始できません。	
Cannot RECORD. Media Full.	メディアの容量が不足しているため、録音が開始できません。	
Cannot RECORD System limit reached. Please make new folder.	フォルダー内のファイル、フォルダー / ディレクトリーなどの総数が多いため、録音を開始できません。	
Cannot RECORD. Take limit reached. Please change to another folder	記録可能な最大テイク数 / テイク番号に達しているため、録音ができません。 フォルダーを切り換えてください。	
Cannot set Mark point. Mark limit reached.	マークポイントは、99個までしか作成できません。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Cannot turn Fs convert On. D-In is already Master Clock.	クロックマスターに選択されているデジタル入力のサンプリングレートコンバーターをオンに設定しようとしています。	
Cannot use Bridge file because it is illegal.	ブリッジファイルが不正だったため使用できません。	
CF Media Full. SD　: Still RECORDING. CF　: Stopped.	CFの容量が不足したため、CFへの録音を停止しました。 SDへの録音は継続しています。	REC Mode設定がMirrorの際に発生。
CF not recommended for Recording / Playing. （not UltraDMA）	このメディアは、システムの要求する仕様を満たさないため、録音 / 再生用として推奨できません。	
CF Record Error. SD　: Still RECORDING. CF　: Stopped.	CFへの録音中にエラーが発生したため、CFへの録音を停止しました。 SDへの録音は継続しています。"	REC Mode設定がMirrorの際に発生。
Changing Fs ...	サンプリング周波数を切り替えています。	
Clear Current EDL and Import All Takes?	現在のAES31編集情報をクリアして、全てのテイクをインポートします。	
Clear In / Out Point?	IN点 / OUT点をクリアします。	
Combine these Takes? "aaaaaaaa" "bbbbbbbb"	2つのテイクを結合します。	"aaaaaaaa"　＝結合する前側のテイク名 "bbbbbbbb"　＝結合する後側のテイク名
Completed	作業が完了しました。	
Copy MM to MM'? This will erase all data on CFn'.	メディア間への全体コピー実行の確認	MM = SD、CF または USB Memory MM' = SD、CF または USB Memory
Copy selected Folder? "nnnnnnnn"	選択したフォルダーをコピーします。	"nnnnnnnn" = コピーするファイル名
Copy selected File? "nnnnnnnn"	選択したファイルをコピーします。	"nnnnnnnn" = コピーするファイル名
Copy selected Take?	選択したテイクをコピーします。	"n=テイク数nが２以上の場合はTakes"
Copying Folder ...	フォルダーをコピー中です。	
Copying File ...	ファイルをコピー中です。	
Copying Take ...	テイクをコピー中です。	コピーしているテイク数が複数の場合はTakes
Create EDL failed.	AES31編集情報ファイルの作成に失敗しました。	
Create new EDL? "eeeeeeee" TIMELINE Start Time : **h**m**s**f REC Fs : **kHz	新規AES31編集情報ファイルを作成します。	"eeeeeeee" = AES31編集情報ファイル名
Create new Playlist? "pppppppp"	新規プレイリストを作成します。	"pppppppp" = プレイリスト名
Creating EDL ...	AES31編集情報ファイルを作成中です。	
Delete all marks of this type? (Count : N)	選択されたタイプのマークを削除します。	N=選択したマークタイプのマーク数。
Delete N selected Event(s)?	選択したイベントを削除します。	N=選択イベント数
Delete N selected marks?	選択されたマークを削除します。	N=マーク数

メッセージ	内容と対処方法	備考
Delete N selected folder?	選択したフォルダーを削除します。	N = 選択数
Delete N selected take?	選択したテイクを削除します。	N = 選択数
Delete selected EDL?	選択したAES31編集情報ファイルを削除します。	
Delete selected playlist?	選択したプレイリストを削除します。	
Delete this Folder?	選択したフォルダーを削除します。	
Delete this File?	選択したファイルを削除します。	
Deleting EDL ...	AES31編集情報ファイルを削除中です。	
Deleting Event(s) ...	イベントを削除しています。	
Deleting Playlist···	プレイリストを削除中です。	
Deleting Folder ...	フォルダーを削除中です。	
Deleting File ...	ファイルを削除中です。	
Deleting Take···	テイクを削除中です。	
Deleting Uploaded File ...	アップロード済みファイルを削除しています。	
Digital Input Error (eeeeeeee)	入力信号として選択されているデジタル入力でエラーが発生しました。	eeeeeeee = Unlocked : システムと同期していない no signal : 信号が入力されていない not audio : 入力信号のCbit情報が非オーディオ unmatched Cbit : 入力信号のその他Cbit情報と実際の動作モードが違う
D-In : Fs convert On Cannot select as Master clock.	サンプリングレートコンバーターがオンになっているデジタル入力をクロックマスターに選択しようとしています。	
Directory contents changed. REBUILD required. REBUILD Now?	ディレクトリーの内容が変更されたため、再構築する必要があります。	
Directory contents changed via FTP. REBUILD required. REBUILD Now?	ディレクトリーの内容がFTPにより変更されたため、再構築する必要があります。	
Edit Completed	編集処理が完了しました。	
EDL Load completed but there are some wrong regions.	AES31編集情報のロードが完了しましたが、いつくか不正なリージョンがあります。	
--- error --- INFO WRITING	情報の書き込み中にエラーが発生しました。	
Export System Backup Data to MM?"	システムバックアップデータをメディアに書き出します。	MM = SD または CF
Exporting folder(s)...	フォルダーをエクスポート中です。	
Exporting Take(s) ...	テイクをエクスポート中です。	
External Clock Lost, Switched to Internal	外部クロック同期が外れたため、内部クロックに切り換えました。	
External Clock Regained Switch to External?	外部クロック同期が可能な状態になりました。	
EXTERNAL Control Locked	外部コントロール端子は、誤操作防止のためロックされています。	
Folder Copy Failed.	フォルダーのコピーに失敗しました。	
File Copy Failed.	ファイルのコピーに失敗しました。	
File List Screen is not available in Jog Mode	ジョグ動作モード中には、File List選択画面に切り換えできません。	
File List Screen is not available while Recording	録音中には、File List画面に切り換えできません。	
Folder Export failed	フォルダーのエクスポートに失敗しました。	
FTP Connection Test.	FTP接続テストを実施します。	
FTP Transfer Started.	FTP転送を開始します。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
--- FORMAT --- Completed	フォーマットが完了しました。	
--- FULL FORMAT --- FORMAT MM? This will erase all DATA on card	フルフォーマットをします。	MM = SD、CF または USB Memory
--- FULL FORMAT --- Formatting MM…	フルフォーマット中です。	MM = SD、CF または USB Memory
Import All System Backup Data from MM?"	システムバックアップデータ全てをメディアから取り込みます。	MM = SD または CF
Initializing …	初期化しています。	
Load Factory Preset?	工場出荷時設定をロードします。	
Load selected folder? "ssssssss"	選択したフォルダーをロードします。	"ssssssss" = ロードするフォルダー名
Load selected take? "tttttttt"	選択したテイクをロードします。	"tttttttt" = ロードするテイク名
Loading File ...	ファイルをロードしています。	
Loading Playlist …	プレイリストをロード中です。	
Loading Folder …	フォルダーをロード中です。	
Loading Take …	テイクをロード中です。	
Loading Timer Event List …	タイマーイベントリストを読み直しています。	
Make new Folder? "ssssssss"	新規フォルダーを作成します。	"ssssssss" = フォルダー名
Make Playlist failed	プレイリストの作成に失敗しました。	
Make folder failed	フォルダーの作成に失敗しました。	
Making Playlist …	プレイリスト作成中です。	
Making Folder …	フォルダー作成中です。	
Mark Point set	マークポイントが作成されました。	
Mirror REC is not available. (MM is not available)	メディアが使用できないため、ミラー録音は無効です。	REC Mode設定がMirrorの際に発生。 MM = SD または CF
Mirror REC is not available. CF not recommended type for Recording. (not UltraDMA)	このカードは、システムの要求する仕様を満たしておらず、正常な録音を保証できないため、ミラー録音は無効です。	REC Mode設定がMirrorの際に発生。
Mirror REC is not available. MM formatting not optimal for Recording.	メディアが本機でフォーマットされておらず、正常な録音を保証できないため、ミラー録音は無効です。 本機でフォーマットしてからご使用ください。	REC Mode設定がMirrorの際に発生。 MM = SD または CF
Network Control Locked	ネットワーク制御は、誤操作防止のためロックされています。	
New Folder Name must not start with "@"	フォルダー名が不適切です。フォルダー名の先頭に"@"は使えません。	
No Call Point	コールポイントが存在しません。 (フォルダーまたはテイクがロードされてから再生が、行われていないとき)	
No Mark Point	マークポイントが存在しません。	マークポイントが未登録状態でマークスキップ操作された。2秒で自動的に消える。
Now Working ... Do not remove Media.	処理中なのでメディアを抜かないで下さい。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
Operation failed.	何らかの原因で処理が実施できませんでした。	
Operation failed. Cannot find this ***. Please Rebuild.	指定されたフォルダー / テイクが見つからないため処理が実施できません。リビルドしてください。	*** = フォルダー名またはテイク名
Operation failed. Internal File / Folder limit reached.	作成可能な最大フォルダー数に達しているため、処理を実施できません。	
Operation failed. Path Name is too long.	規定文字数を超えるパス名のため、処理を実行できません。	パソコンで長いフォルダー名に変更されたあと、「NEW FOLDER」や「録音」を実施した際にフルパス名が255文字以上になる際に発生。
Operation Failed. Unmatched Fs.	Fsが一致しませんでした	
Play Error Buffer underrun	再生中、データ読み込み処理が間に合いませんでした。	
Play Error.	再生エラーが発生しました。	
Play Error. nnn : NNNNNNNN	表示された番号と名前のテイクで再生エラーが発生しました。	nnn　　　　: テイク番号 NNNNNNNN : テイク名
Playlist Import completed but there are some wrong entries.	プレイリストのインポートが完了しましたが、いくつか問題のあるエントリーがあります。	
<PlayList Info> "PPPPPPPP" Size : **MB yyyy / mm / dd hh : mm	プレイリスト情報表示	"PPPPPPPP"= プレイリスト名
Playlist Load completed but there are some wrong entries.	プレイリストのロードが完了しましたが、いくつか不正なエントリーがあります。	
PLEASE CONFIRM --- FULL FORMAT --- FORMAT MM? This will erase all data on card	Media Full Formatの再確認	MM = SD、CF または USB Memory
PLEASE CONFIRM --- QUICK FORMAT --- FORMAT MM? This will erase all data on card	Media Quick Formatの再確認	MM = SD、CF または USB Memory
PLEASE CONFIRM Copy MM to MM'? This will erase all data on MM'.	メディア間の全体コピー実行の再確認	MM = SD、CF または USB Memory MM' = SD、CF または USB Memory
PLEASE CONFIRM Delete this File? "nnnnnnnn"	選択したファイル削除の再確認。	"nnnnnnnn" = 削除するファイル名
PLEASE CONFIRM Delete this Folder? "nnnnnnnn"	選択したフォルダー削除の再確認。	"nnnnnnnn" = 削除するフォルダー名
PLEASE CONFIRM Delete N selected take?	テイク削除の再確認	N = 選択数
PLEASE CONFIRM Export System Backup Data to MM?	システムバックアップデータのメディアへの書き出しの再確認。	MM = SD または CF
PLEASE CONFIRM Import All System Backup Data? from MM?	システムバックアップデータ全てのメディアからの取り込みの再確認。	MM = SD または CF
PLEASE CONFIRM Load Factory Preset?	工場出荷時設定ロードの再確認。	
PLEASE CONFIRM Remaining Rec Time is less than N hour(s). Delete already uploaded takes?	再確認 録音可能時間がN時間以下になりました。 既にアップロード済みのテイクを削除します。	N=Auto SPACE Checkの残量チェック設定時間

メッセージ	内容と対処方法	備考
--- QUICK FORMAT --- FORMAT MM? This will erase all DATA on card	クイックフォーマットをします。	MM = SD、CF または USB Memory
--- QUICK FORMAT --- Formatting MM···	クイックフォーマット中です。	MM = SD、CF または USB Memory
Reading DATA...	データ読み込み中です。	
Reading Media ···	メディアを読み込み中です。	
Rebuild all Folders?	全てのフォルダーを再構築します。	
Rebuild changed Directory?	変更があったディレクトリーを再構築します。	FTPやBROWSE画面で本機のファイルを操作したあと、<⚠>マークが表示されているREBUILDボタンを押すと表示される。
Rebuild current folder and changed Directory?	カレントフォルダーと変更があったディレクトリーを再構築します。	FTPやBROWSE画面で本機のファイルを操作したあと、<⚠>マークが表示されているREBUILDボタンを押すと表示される。
Rebuild current Folder?	現在のフォルダーを再構築します。	
Rebuild failed	再構築に失敗しました。	
Rebuild selected folder and changed Directory?	選択したフォルダーと変更があったディレクトリーを再構築します。	FTPやBROWSE画面で本機のファイルを操作したあと、<⚠>マークが表示されているREBUILDボタンを押すと表示される。
Rebuild selected folder?	選択したフォルダーを再構築します。	
Rebuilding All folder ···	全てのフォルダーを再構築中です。	
Rebuilding folder ···	フォルダーを再構築中です。	
RECORD Error	録音中にエラーが発生しました。	
RECORD Error Buffer overflow	録音中に、録音バッファーが一杯になりました。 メディアへの書き込み処理が間にあっていません。	
RECORD stopped. ABS time is over 24h.	タイムラインモードのABS時刻が24時間を超えたため、録音を停止しました。	
RECORD stopped. Media Full.	メディアの容量が不足したため、録音を停止しました。	
Redo Completed	編集のやり直し(Redo)処理が完了しました	
Reload Timer Event List?	タイマーイベントリストを読み直します。	
Remaining Rec Time is less than N hour(s). Delete already uploaded takes?	録音可能時間がN時間以下になりました。 既にアップロード済みのテイクを削除します。	N=Auto SPACE Checkの残量チェック設定時間
REMOTE/KEYBOARD Locked	リモート端子とキーボードは、誤操作防止のためロックされています。	
Renaming Folder "pppppp" to "nnnnnn"	フォルダー名を変更しています。	"pppppp" = 旧フォルダー名 "nnnnnn" = 新フォルダー名

メッセージ	内容と対処方法	備考
Save changes in Current EDL "ssssssss"	現在のタイムラインへの変更を保存していいですか？	"ssssssss"＝AES31編集情報ファイル名
Save changes in Current Playlist "llllllll"	現在のプレイリストへの変更を保存していいですか？	"llllllll"
Save changes in Timer Event List?	タイマーイベントリストの変更内容を保存します。	
Save Failed.	ファイルの保存に失敗しました。	
Saving File ... Do not remove MM	ファイルを保存しています。メディアを抜かないでください。	MM = SD または CF
Screen Locked LCD Section Locked	LCDセクションの操作子は、誤操作防止のためロックされています。	
Screen Locked Touch Panel Locked Out	タッチパネルは、誤操作防止のためロックされています。	
SD Card Locked	SDカードがロックされています。	
SD Card Locked Cannot Record/Edit	SDカードがロックされているため、録音/編集はできません。	ロックされているSDカードを装着した際に表示
SD Media Full. SD : Stopped. CF : still RECORDING.	SDの容量が不足したため、SDへの録音を停止しました。 CFへの録音は継続しています。	REC Mode設定がMirrorの際に発生。
SD Record Error. SD : Stopped. CF : still RECORDING.	SDへの録音中にエラーが発生したため、SDへの録音を停止しました。 CFへの録音は継続しています。	REC Mode設定がMirrorの際に発生。
Select Insert Position [File T/C][Current Position]	ファイルの挿入位置を、ファイルT/C位置と現在位置から選択してください。	
Select Paste Position [File T/C][Current Position]	ファイルの貼り付け位置を、ファイルT / C位置と現在位置から選択してください。	
Sort all takes?	全テイクをソートします。	
Take Copy failed.	テイクのコピーができませんでした。	
Take Delete failed.	テイクの削除に失敗しました。	
Take Export failed.	テイクのエクスポートに失敗しました。	
Take Load failed.	テイクのロードに失敗しました。	
There is no Entry.	プレイリストにエントリーが無いため再生できない状態です。 エントリーがあるプレイリストを選択するか、エントリーを登録してください。	
There is no folders. Please make a folder.	フォルダーが無いため録音できない状態です。 フォルダーを作成してください。	
There is no Take.	テイクが無いため再生できない状態です。 テイクがあるフォルダーを選択してください。	
There are no uploaded takes to delete.	削除するアップロード済みテイクがありません。	
Timer Event List Screen is available only in Take mode.	タイマーイベントリスト画面はテイクモード以外では表示できません。	

メッセージ	内容と対処方法	備考
This file was converted to BWF format.	BWFフォーマットに変換しました。	WAVファイルのStart Timecodeを編集した際に表示される。
This name already exists.	すでに同じ名前のフォルダー、またはテイクが存在します。	
This name already exists. Overwrite this file? "nnnnnnnn"	すでに同じ名前のファイルが存在します。このファイルを上書きしますか？	"nnnnnnnn"= ファイル名
Transport Locked Transport Section Locked	トランスポートキーは、誤操作防止のためロックされています。	
Undo Completed	編集の取り消し(Undo)処理が完了しました。	
Unsupported File (too many tracks)	サポートされていないトラック数のファイルを再生しようとしました。またはプレイリストに登録しようとしました。	
Unsupported Fs	サポートされていないFsのファイルをプレイリストに登録しようとしました。	
Upload N selected take(s) to FTP server?	選択したテイクをFTPサーバーにアップロードします。	N=選択テイク数
Writing System File…	録音停止時に録音情報の書き込み中です。	

定格

記録メディア
SDカード / SDHCカード
CFカード（コンパクトフラッシュカード）

ファイルシステム
FAT32（4GB以上）
FAT16（2GB以下）

ファイルフォーマット
BWF (Broadcast Wave Format)
WAV (Waveform Audio Format)

チャンネル数
2チャンネル

量子化ビット数
16ビット、24ビット

サンプリング周波数
44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz

クロックリファレンス
INTERNAL、WORD IN、VIDEO IN、DIGITAL IN

タイムコードフレーム
23.976、24、25、29.97DF、29.97NDF、30DF、30NDF

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格
＊**PHONES**端子を除く各入出力端子について、規定レベルおよび最大レベルの誤差は、±1dB以内です。

ANALOG INPUTS L / R (BALANCED) 端子
コネクター : XLR-3-31（1 : GND、2 : HOT、3 : COLD）
入力インピーダンス : 4.3kΩ
規定入力レベル :
＋4dBu（1.23Vrms）±1dB
（Max ＋15dBu 設定時のみ＋6dBu）
(Digital Ref. Levelを－9 dBFSに設定時のみ＋6dBu)
最大入力レベル（切り換え）:

+15dBu (4.36Vrms) (D.Ref :－9dBFS, A.Input : +6dBu)
+18dBu (6.16Vrms) (D.Ref :－14dBFS, A.Input : +4dBu)
+20dBu (7.75Vrms) (D.Ref :－16dBFS, A.Input : +4dBu)
+22dBu (9.76Vrms) (D.Ref :－18dBFS, A.Input : +4dBu)
+24dBu (12.3Vrms) (D.Ref :－20dBFS, A.Input : +4dBu)

D.Ref : Digital Ref. Level 設定
A.Input : Analog Input Ref. Lvl 設定

ANALOG INPUTS L / R (UNBALANCED) 端子
コネクター : RCA PIN JACK
入力インピーダンス : 3.9kΩ
規定入力レベル : －10dBV (0.316Vrms)±1dB
最大入力レベル : ＋6dBV (2.0Vrms)±1dB

ANALOG OUTPUTS L / R (BALANCED) 端子
コネクター : XLR-3-32（ 1 : GND、2 : HOT、3 : COLD ）
出力インピーダンス : 100Ω以下
規定出力レベル :
＋4dBu（1.23Vrms）±1dB
(Digital Ref. Levelを－9 dBFSに設定時のみ＋6dBu)
最大出力レベル（切り換え）:

+15dBu (4.36Vrms) (D.Ref :－9dBFS, A.Output : +6dBu)
+18dBu (6.16Vrms) (D.Ref :－14dBFS, A.Output : +4dBu)
+20dBu (7.75Vrms) (D.Ref :－16dBFS, A.Output : +4dBu)
+22dBu (9.76Vrms) (D.Ref :－18dBFS, A.Output : +4dBu)
+24dBu (12.3Vrms) (D.Ref :－20dBFS, A.Output : +4dBu)

D.Ref : Digital Ref. Level設定
A.Output : Analog Output Ref. Level設定

ANALOG OUTPUTS L / R (UNBALANCED) 端子
コネクター : RCA PIN JACK
出力インピーダンス : 100Ω以下
規定出力レベル : －10dBV (0.32Vrms)±1dB
最大出力レベル : ＋6dBV (2.0Vrms)±1dB

PHONES 端子
コネクター : 6.3mm（1/4"）ステレオ標準ジャック
最大出力レベル :
45mW+45mW以上（THD+N 0.1%以下、32Ω負荷）

デジタルオーディオ入出力定格

DIGITAL IN (S / PDIF) 端子

コネクター : RCAピンジャック
入力信号電圧振幅 : 200mVp-p 〜 600mVp-p / 75Ω
入力インピーダンス : 75Ω
フォーマット : AES3-2003 / IEC60958-4(AES / EBU)
IEC60958-3(S / PDIF)
対応サンプリング周波数 :
44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz (Single / Double / Quad)
＊ SRC ON 時、32kHz 〜 192kHz の受信可能。

DIGITAL IN (AES/EBU) 端子

コネクター : XLR-3-31
入力信号電圧振幅 : 200mVp-p 〜 10Vp-p / 110Ω
入力インピーダンス 110Ω±20%
フォーマット : AES3-2003 / IEC60958-4(AES / EBU)
IEC60958-3(S / PDIF)
対応サンプリング周波数 :
44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz (Single / Double / Quad)
＊ SRC ON 時、32kHz 〜 192kHz の受信可能。

DIGITAL OUT (S / PDIF) 端子

コネクター : RCAピンジャック
出力電圧 : 0.5 Vpp±20% / 75Ω
出力インピーダンス : 75Ω
フォーマット : IEC60958-3(S / PDIF)
対応サンプリング周波数 :
44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz (Single / Double / Quad)

DIGITAL OUT (AES/EBU) 端子

コネクター : XLR-3-32
出力電圧 : 2 〜 5Vp-p / 110Ω
出力インピーダンス : 110Ω±20%
フォーマット : IEC60958-4（AES3-2003、AES / EBU）
対応サンプリング周波数 :
44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz (Single / Double / Quad)

コントロール入出力定格

RS-422端子 (オプションSY-2ボードに付属)

コネクター : D-sub 9ピン (メス型 インチ規格)

RS-232C端子

コネクター : D-sub 9ピン (メス型 インチ規格)

PARALLEL端子

コネクター : D-sub 25ピン (メス型 インチ規格)

TIME CODE IN端子 (オプションSY-2ボードに付属)

コネクター : BNCコネクター
信号電圧振幅 : 0.5 〜 5Vp-p
入力インピーダンス 10kΩ
フォーマット : SMPTE 12M-1999 準拠

TIME CODE OUT端子 (オプションSY-2ボードに付属)

コネクター : BNCコネクター
信号電圧振幅 : 2Vp-p
出力インピーダンス : 600Ω
フォーマット : SMPTE 12M-1999 準拠

WORD/VIDEO IN端子

コネクター : BNCコネクター
入力電圧 : 5V TTL相当（WORD IN）
信号電圧振幅 : 1Vp-p（VIDEO IN）
入力インピーダンス : 75Ω±10%
外部同期時の許容周波数偏差 : ± 100ppm
終端有り / 無し切り換えスイッチ付き
入力周波数（WORD）:
44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz
入力信号（VIDEO）:
24 / 25 / 29.97 / 30 Frame
（NTSC / PAL Black burst、HDTV Tri-Level）

WORD/VIDEO THRU/OUT端子

コネクター : BNCコネクター
信号電圧振幅 : 5V TTL 相当
出力インピーダンス 75Ω±10%
出力周波数（WORD）:
44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz
周波数安定度 ±10ppm 以下（Ta=20℃ ）
OUT / THRU切り換えスイッチ付き（OUTはWORD OUTのみ）

ETHERNET端子

コネクター　: RJ45
対応規格　　: 100BASE-TX、1000BASE-T

KEYBOARD 端子

コネクター : ミニDINコネクター（PS/2）

USB 端子

コネクター : USB Aタイプ 4ピン
プロトコル : USB2.0 HIGH SPEED（480Mbps）

REMOTE 端子

コネクター : RJ45
供給電圧 : 13V
信号 : LVDSシリアル

オーディオ性能

周波数特性

ANALOG IN → ANALOG OUT :

- 20Hz - 20kHz : ±0.5dB
  （Fs = 44.1k / 48kHz、JEITA）（記録・再生）
- 20Hz - 40kHz : ＋0.5dB / －2dB
  （Fs = 88.2 / 96kHz、JEITA）（記録・再生）
- 20Hz - 80kHz : ＋0.5 / －5dB
  (Fs = 176.4k / 192kHz、JEITA) (記録・再生)

歪率

ANALOG IN → ANALOG OUT : 0.005%以下（JEITA）（記録・再生）

S / N 比

ANALOG IN → ANALOG OUT : 100dB以上（JEITA）（記録・再生）

一般

電源

AC100-240V、50-60Hz

消費電力

22W

外形寸法

482.6 x 94 x 314.1 mm（幅 x 高さ x 奥行き、突起を含む）

質量

4.7kg

動作温度

5 ～ 35℃

寸法図

ブロックダイヤグラム

HS-20
Audio Block Diagram
Analog input
XLR(Balance)
RCA(Unbalance)
Digital input
XLR(AES/EBU)
RCA(S/PDIF)
Channel Strip
Reference Level
+6dBu/-9dBfs
+4dBu/-14dBfs
+4dBu/-16dBfs
+4dBu/-18dBfs
+4dBu/-20dBfs
by Electric Volume
-10dBV/-16dBfs
Signal Select
A/D
Record / Input Monitor
Play
Rec func.
Channel L
Channel R
Digital In DIR & SRC
Digital Source
DIR
SRC
SRC On / Off
Play Tracks
CF Card
SD Card
Track L
Track R
Record Tracks
Meter
D/A
DIT
Interface
AFL
PFL
Monitor Select
Analog output
Reference Level by Electric Volume
Digital output
Phones output
Phones level
Phones
Remote Monitor output
RJ-45 (to Remote)
e.g. TASCAM RC-HS20PD

無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。

3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
（1）ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（2）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
（4）接続している他の機器に起因する故障および損傷
（5）業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
（6）メンテナンス
（7）本書の提示がない場合
（8）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社　〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00〜12:00 ／ 13:00〜17:00 です。（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30〜17:00です。（日・祝日・弊社指定休日を除く）

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

保証書

品名および形名	HS-20	
機番		
保証期間	本体	1年

お買い上げ日		年　月　日
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
	）

見本